

# 主要施策の成果

令和7年度

令和8年9月



千代田区



# 令和7年度主要施策の成果

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、令和7年度における主要な施策の成果を報告します。

令和8年9月17日

千代田区長 樋口 高 顕



## は じ め に

本書は、地方自治法第 233 条第 5 項の規定に基づき、令和 7 年度決算における主要な施策の成果について報告するものです。

- 令和 7 年度予算は、「未来を拓き、区民生活の安心と幸せにつなげる予算」とし、「子ども・子育て支援施策」、「高齢者施策」、「持続的に発展するまちづくり」、「デジタル技術の活用」の 4 つをテーマとして編成。
- 令和 7 年度予算の主要な事業を示した「区の仕事のあらまし（予算の概要）」に掲載した全事業及び補正予算に計上した主な事業について、その事業実績を記載。
- 事業に要した経費を示すとともに、実績を踏まえた評価・課題、令和 8 年度の実行状況及び令和 9 年度予算への対応についても記載。
- 決算の「見える化」を進めるため、財務諸表による決算分析等についても掲載。

# 目 次

## I 令和7年度決算の状況

|             |    |
|-------------|----|
| ○各会計財政収支の状況 | 9  |
| ○一般会計決算の状況  | 10 |

## II 主要施策の成果

### 【子ども部】

|    |                           |    |
|----|---------------------------|----|
| 1  | 子どもの安全・安心【拡充】             | 16 |
| 2  | 子どもの権利推進【拡充】              | 17 |
| 3  | 産官学連携推進【拡充】               | 18 |
| 4  | 給付型奨学金【新規】                | 19 |
| 5  | 教材費補助【拡充】                 | 20 |
| 6  | 和泉小学校・いずみこども園等施設整備        | 21 |
| 7  | 番町小学校・幼稚園整備計画の検討【新規】      | 22 |
| 8  | 部活動の推進【拡充】                | 23 |
| 9  | 特別支援サポート【拡充】              | 24 |
| 10 | いじめ・不登校防止プロジェクト【拡充】       | 25 |
| 11 | I C T学校教育システムの推進【拡充】      | 26 |
| 12 | 学校行事【拡充】                  | 27 |
| 13 | 幼稚園給食【拡充】                 | 28 |
| 14 | 子どもの遊び場確保の取組み【拡充】         | 29 |
| 15 | 出産費用助成【新規】                | 30 |
| 16 | 中高生世代応援手当【新規】             | 31 |
| 17 | こども医療費助成【拡充】              | 32 |
| 18 | 私立保育所等への運営補助関連事業【拡充・補正予算】 | 33 |
| 19 | 病児・病後児保育室整備【補正予算】         | 34 |
| 20 | 私立学童クラブへの運営補助関連事業【拡充】     | 35 |
| 21 | 発達障害等の療育経費助成【拡充】          | 36 |
| 22 | 乳児等通園支援事業【補正予算】           | 37 |

|    |                |    |
|----|----------------|----|
| 23 | (仮称) 四番町公共施設整備 | 38 |
|----|----------------|----|

## 【保健福祉部】

|    |                              |    |
|----|------------------------------|----|
| 24 | 住居確保給付金【拡充】                  | 39 |
| 25 | 社会福祉協議会支援【拡充】                | 40 |
| 26 | 高齢者等住まい・生活支援【拡充】             | 41 |
| 27 | 高齢者補聴器購入費助成【拡充】              | 42 |
| 28 | 高齢者サービス事業所産休・育休等代替職員確保助成【拡充】 | 43 |
| 29 | 介護支援専門員研修費用助成【拡充】            | 44 |
| 30 | 介護従事者永年勤続表彰【拡充】              | 45 |
| 31 | 認知症支援サービス【拡充】                | 46 |
| 32 | (仮称) 神田錦町三丁目施設の整備【補正予算】      | 47 |
| 33 | 出産・子育て支援【拡充】                 | 48 |
| 34 | 不妊治療助成【拡充】                   | 49 |
| 35 | がん患者のウィッグ等購入費助成【拡充】          | 50 |

## 【地域振興部】

|    |                             |    |
|----|-----------------------------|----|
| 36 | 地域コミュニティ醸成支援【拡充】            | 51 |
| 37 | コミュニティ活動事業助成【拡充】            | 52 |
| 38 | ジェンダー平等推進行動計画改定に向けた調査検討【新規】 | 53 |
| 39 | 戦後80年平和事業【新規】               | 54 |
| 40 | 個人宅向け防犯機器等購入緊急補助【補正予算】      | 55 |
| 41 | 物価高騰対策区民の暮らし支援事業【補正予算】      | 56 |
| 42 | 内幸町ホール改修整備関連事業【新規】          | 57 |
| 43 | 融資事務費【拡充】                   | 58 |
| 44 | 地方との連携支援【拡充】                | 59 |
| 45 | 産業コミュニティ形成支援事業【拡充】          | 60 |
| 46 | 観光協会運営補助【拡充】                | 61 |
| 47 | 総合窓口の運営【拡充】                 | 62 |
| 48 | 文化芸術プランの改定【新規】              | 63 |
| 49 | ちよだアートスクエア改修整備【新規】          | 64 |
| 50 | (仮称) 新九段生涯学習館基本構想の策定【新規】    | 65 |

|    |                      |    |
|----|----------------------|----|
| 51 | 新スポーツセンター基本計画の策定【新規】 | 66 |
| 52 | スポーツ振興基本計画の改定        | 67 |
| 53 | 日比谷図書文化館整備の検討【新規】    | 68 |

## 【環境まちづくり部】

|    |                      |    |
|----|----------------------|----|
| 54 | コミュニティサイクル事業【拡充】     | 69 |
| 55 | 放置自転車対策【拡充】          | 70 |
| 56 | 地球温暖化対策の推進【拡充】       | 71 |
| 57 | 外濠の水質改善対策【拡充】        | 72 |
| 58 | ウォーカブルなまちづくりの検討【拡充】  | 73 |
| 59 | 歩道のセミフラット化           | 74 |
| 60 | まちづくり支援ステーションの構築【拡充】 | 75 |
| 61 | 地区の計画等の検討            | 76 |
| 62 | 秋葉原地域まちづくりの推進        | 77 |
| 63 | 飯田橋・富士見地域まちづくりの推進    | 78 |
| 64 | 神田駿河台地域まちづくりの推進      | 79 |
| 65 | 神田駅周辺地域まちづくりの推進      | 80 |
| 66 | 高齢者住まいサポート事業【拡充】     | 81 |
| 67 | マンション管理の適正化の推進【拡充】   | 82 |
| 68 | 衛生環境整備事業（ねずみ対策）【新規】  | 83 |
| 69 | 建物の耐震化等促進事業【拡充】      | 84 |
| 70 | 耐震改修促進計画の改定【新規】      | 85 |
| 71 | 電線類地中化の推進            | 86 |
| 72 | 歩道の設置・拡幅整備           | 87 |
| 73 | 橋梁の整備                | 88 |
| 74 | 自転車通行環境整備            | 89 |
| 75 | 公園・児童遊園の整備【拡充・補正予算】  | 90 |
| 76 | 東郷元帥記念公園の整備          | 91 |
| 77 | 事業系ごみ等対策【拡充】         | 92 |
| 78 | 食品ロス削減の推進【拡充】        | 93 |
| 79 | 食品ロス削減全国大会【新規】       | 94 |

## 【政策経営部】

|    |                          |     |
|----|--------------------------|-----|
| 80 | ホームタウンちよだ応援事業【新規】        | 95  |
| 81 | 組織変革の推進【新規】              | 96  |
| 82 | 旧箱根千代田荘・軽井沢少年自然の家の解体【新規】 | 97  |
| 83 | 全庁LANの保守管理【拡充】           | 98  |
| 84 | 情報セキュリティ対策の推進【拡充】        | 99  |
| 85 | 手続きの利便性向上【拡充】            | 100 |
| 86 | 地域のスマート化の推進【拡充】          | 101 |
| 87 | デジタル化の推進に向けた環境整備【拡充】     | 102 |
| 88 | デジタルチャレンジ支援【拡充・補正予算】     | 103 |
| 89 | 防災意識の普及・啓発【拡充】           | 104 |

## 【区議会事務局】

|    |                    |     |
|----|--------------------|-----|
| 90 | 議員控室改修に向けた調査検討【新規】 | 105 |
|----|--------------------|-----|

## Ⅲ 財政運営の状況

|                                |     |
|--------------------------------|-----|
| ○財務諸表で見る区の財政状況（統一的な基準による地方公会計） | 108 |
| ○財政指標で見る区の財政状況                 | 121 |

計数は、原則として表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合があります。

# 本書の見方（Ⅱ 主要施策の成果の見方）

●事業概要、事業決算額、事業実績、事業実績を踏まえた評価・課題と令和9年度予算への対応について記載しました。

新規事業には【新規】、拡充事業には【拡充】、補正予算による事業には【補正予算】の表記をしました。

令和7年度に実施した主要事務事業の名称です。原則として、各会計決算参考書の事務事業名で表記しました。

第4次基本構想のめざすべき姿等を表記しました。

令和7年度の将来像に向けた方向性の事項及び関連する主な分野別計画を表記しました。  
※分野別計画名は令和7年度当初時点のものです。

当該事業の内容を簡潔に表記しました。

当該事業の令和7年度決算額を表記しました。原則として、各会計決算参考書の決算額と一致します。

当該事務事業の令和7年度事業実績を表記しました。

事業実績を踏まえた評価・課題と当該事業の令和9年度予算への対応を表記しました。

事業所管部課の名称を、令和8年度の組織名で表記しました。

令和7年度 各会計決算参考書の掲載頁と予算の概要の掲載頁を表記しました。

## 26 高齢者等住まい・生活支援【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

### 将来像に向けた方向性

全ての区民が安心して健やかに日常生活を送れるよう、健康寿命の延伸に取り組むなど、適切な福祉サービスの提供が必要である。  
(関連する主な分野別計画：千代田区地域福祉計画2022)

**事業概要**  
内容  
高齢者など福祉的課題を抱える方々は、年齢や身体状況等を理由に住まいを探すことが難しいうえ、低廉な家賃の物件が少ない等の千代田区の地域特性から、住宅を確保することが困難な状況にあります。  
令和7年度は、住まいの確保にお困りの高齢者等に対してきめ細やかな相談体制を整備するとともに、物件の紹介や見学、契約への同行等を行う住み替え支援を居住支援法人に委託することで、民間賃貸住宅への円滑な入居に向けて支援します。

| 事業費 | 予算現額       | 決算額        | 執行率   |
|-----|------------|------------|-------|
|     | 5,487,000円 | 4,364,104円 | 79.5% |

**事業実績**  
○令和7年度実績  
令和7年8月から居住支援法人に高齢者等住み替え相談窓口の委託を開始しました。これにより、既存の支援内容（区職員による相談対応、協力不動産店への引き継ぎ）に加え、新たに協力不動産店及び物件見学への同行、契約手続き支援、入居後の生活支援を実施するとともに、最初のヒアリングから、協力不動産店を活用した物件紹介及び不動産店と相談者のマッチング、契約手続きに至るまで一貫した支援体制を構築し、相談件数が前年度より大幅に増加しました。

#### ■高齢者等住み替え相談窓口の相談件数

|      | 令和7年度 | 令和6年度 | 令和5年度 |
|------|-------|-------|-------|
| 相談件数 | 27件   | 10件   | 9件    |

**令和9年度予算への対応**  
実績を踏まえた評価・課題  
相談者の抱える背景や事情は一人ひとり異なるため、個々のニーズや生活課題に応じた関係機関と連携しながら支援を行うことが必要です。  
令和9年度は、令和8年度に引き続き、関係機関との連携を強化しつつ、住まいの確保にお困りの高齢者等に対してきめ細やかな相談支援を行い、一人でも多くの方の民間賃貸住宅への円滑な入居及び入居後の生活安定を図ります。

|                 |       |      |         |      |
|-----------------|-------|------|---------|------|
| 所管課 保健福祉部 福祉総務課 | 決算参考書 | 162頁 | R7予算の概要 | 122頁 |
|-----------------|-------|------|---------|------|



# I 令和7年度決算の状況



# 各会計財政収支の状況

## ■ 一般会計

(単位：円、%)

| 区 分               | 予算現額           | 決 算 額          | 予算現額に対する<br>決算額の比較増減 | 予算現額に対する<br>決算額の比率                                |
|-------------------|----------------|----------------|----------------------|---------------------------------------------------|
| 歳 入               | 85,301,898,000 | 79,297,985,038 | △6,003,912,962       | 93.0                                              |
| 歳 出               | 85,301,898,000 | 73,738,014,584 | 11,563,883,416       | 86.4                                              |
| 歳 入<br>歳 出<br>差引額 | 0              | 5,559,970,454  | 翌年度<br>へ繰越           | 繰越事業費繰越財源<br>充当額 985,931,000<br>剰余金 4,574,039,454 |

## ■ 国民健康保険事業会計

(単位：円、%)

| 区 分               | 予算現額          | 決 算 額         | 予算現額に対する<br>決算額の比較増減 | 予算現額に対する<br>決算額の比率                    |
|-------------------|---------------|---------------|----------------------|---------------------------------------|
| 歳 入               | 6,553,113,000 | 6,556,510,906 | 3,397,906            | 100.1                                 |
| 歳 出               | 6,553,113,000 | 5,807,243,177 | 745,869,823          | 88.6                                  |
| 歳 入<br>歳 出<br>差引額 | 0             | 749,267,729   | 翌年度<br>へ繰越           | 繰越事業費繰越財源<br>充当額 0<br>剰余金 749,267,729 |

## ■ 介護保険特別会計

(単位：円、%)

| 区 分               | 予算現額          | 決 算 額         | 予算現額に対する<br>決算額の比較増減 | 予算現額に対する<br>決算額の比率                    |
|-------------------|---------------|---------------|----------------------|---------------------------------------|
| 歳 入               | 5,190,760,000 | 4,892,988,337 | △297,771,663         | 94.3                                  |
| 歳 出               | 5,190,760,000 | 4,682,089,490 | 508,670,510          | 90.2                                  |
| 歳 入<br>歳 出<br>差引額 | 0             | 210,898,847   | 翌年度<br>へ繰越           | 繰越事業費繰越財源<br>充当額 0<br>剰余金 210,898,847 |

## ■ 後期高齢者医療特別会計

(単位：円、%)

| 区 分               | 予算現額          | 決 算 額         | 予算現額に対する<br>決算額の比較増減 | 予算現額に対する<br>決算額の比率                   |
|-------------------|---------------|---------------|----------------------|--------------------------------------|
| 歳 入               | 2,348,146,000 | 2,319,544,259 | △28,601,741          | 98.8                                 |
| 歳 出               | 2,348,146,000 | 2,223,457,637 | 124,688,363          | 94.7                                 |
| 歳 入<br>歳 出<br>差引額 | 0             | 96,086,622    | 翌年度<br>へ繰越           | 繰越事業費繰越財源<br>充当額 0<br>剰余金 96,086,622 |

# 一般会計決算の状況

## 1 歳 入

令和7年度一般会計歳入総額は、792億98百万円であり、対前年度比86億51百万円、12.2%の増となりました。

○特別区税は、262億70百万円で、対前年度比26億6百万円、11.0%の増となりました。これは、主に納税義務者及び課税標準額の増による特別区民税の増などによるものです。なお、入湯税については、観光の振興経費に活用しています。

○地方消費税交付金は、129億34百万円で、対前年度比9億57百万円、8.0%の増となりました。これは、主に消費税収が増となったことなどによるものです。なお、消費税率引き上げ分については、社会保障費に活用しています。

○特別区交付金は、71億50百万円で、対前年度比△7億72百万円、△9.7%の減となりました。これは、主に普通交付金が減となったことなどによるものです。

○分担金及び負担金は、2億32百万円で、対前年度比△8億円、△77.5%の減となりました。これは、主に橋梁補修事業費負担金の減などによるものです。

○使用料及び手数料は、89億74百万円で、対前年度比12億14百万円、15.6%の増となりました。これは、主に道路占用料の増などによるものです。

○国庫支出金は、52億66百万円で、対前年度比11億73百万円、28.7%の増となりました。これは、主に児童手当の増などによるものです。

○都支出金は、55億50百万円で、対前年度比10億44百万円、23.2%の増となりました。これは、主に物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増などによるものです。

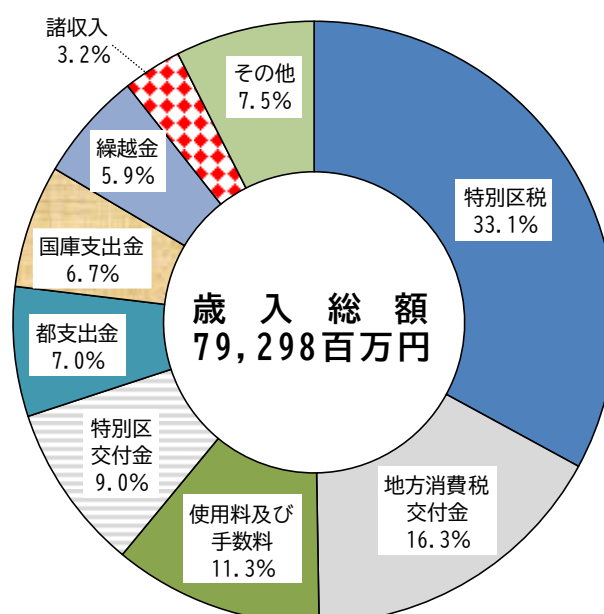
○寄附金は、21億17百万円で、対前年度比9億52百万円、81.8%の増となりました。これは、主にふるさと納税制度の活用による一般寄附金の増などによるものです。

○繰越金は、46億73百万円で、対前年度比19億44百万円、71.2%の増となりました。

# 一般会計 歳入決算一覧表

(単位：円、%)

| 科 目 ( 款 )   | 令和7年度          | 令和6年度          | 対前年度<br>増減額   | 対前年度<br>増減率 |
|-------------|----------------|----------------|---------------|-------------|
| 特 別 区 税     | 26,270,424,369 | 23,664,065,351 | 2,606,359,018 | 11.0        |
| 地 方 譲 与 税   | 329,763,000    | 325,780,000    | 3,983,000     | 1.2         |
| 利 子 割 交 付 金 | 209,338,000    | 110,716,000    | 98,622,000    | 89.1        |
| 配 当 割 交 付 金 | 633,362,000    | 573,355,000    | 60,007,000    | 10.5        |
| 株式等譲渡所得割交付金 | 957,277,000    | 841,099,000    | 116,178,000   | 13.8        |
| 地方消費税交付金    | 12,933,590,000 | 11,976,797,000 | 956,793,000   | 8.0         |
| 自動車取得税交付金   | 1,358          | 1,092,656      | △1,091,298    | △99.9       |
| 環境性能割交付金    | 92,011,151     | 118,048,000    | △26,036,849   | △22.1       |
| 地方特例交付金     | 18,264,000     | 315,112,000    | △296,848,000  | △94.2       |
| 特別区交付金      | 7,149,689,000  | 7,921,958,000  | △772,269,000  | △9.7        |
| 交通安全対策特別交付金 | 16,444,000     | 17,235,000     | △791,000      | △4.6        |
| 分担金及び負担金    | 232,439,831    | 1,032,236,074  | △799,796,243  | △77.5       |
| 使用料及び手数料    | 8,974,121,712  | 7,759,942,967  | 1,214,178,745 | 15.6        |
| 国 庫 支 出 金   | 5,266,214,128  | 4,092,849,908  | 1,173,364,220 | 28.7        |
| 都 支 出 金     | 5,550,410,398  | 4,506,519,274  | 1,043,891,124 | 23.2        |
| 財 産 収 入     | 713,956,469    | 405,383,728    | 308,572,741   | 76.1        |
| 寄 附 金       | 2,116,896,132  | 1,164,624,799  | 952,271,333   | 81.8        |
| 繰 入 金       | 637,578,506    | 755,024,509    | △117,446,003  | △15.6       |
| 繰 越 金       | 4,673,001,888  | 2,728,853,780  | 1,944,148,108 | 71.2        |
| 諸 収 入       | 2,523,202,096  | 2,336,150,944  | 187,051,152   | 8.0         |
| 歳 入 合 計     | 79,297,985,038 | 70,646,843,990 | 8,651,141,048 | 12.2        |



## 2 歳 出

令和7年度一般会計歳出総額は、737億38百万円であり、対前年度比77億64百万円、11.8%の増となりました。

○議会費は、4億92百万円で、対前年度比75百万円、18.1%の増となりました。これは、主に議会運営システム・設備の更新の増などによるものです。

○子ども費は、177億36百万円で、対前年度比14億68百万円、9.0%の増となりました。これは、主に児童手当の増などによるものです。

○保健福祉費は、83億7百万円で、対前年度比4億88百万円、6.2%の増となりました。これは、主に（仮称）神田錦町三丁目施設の整備の増などによるものです。

○地域振興費は、81億23百万円で、対前年度比19億60百万円、31.8%の増となりました。これは、主にちよだアーツスクエア改修整備の増などによるものです。

○環境まちづくり費は、90億20百万円で、対前年度比△4億87百万円、△5.1%の減となりました。これは、主に橋梁の整備の減などによるものです。

○総務費は、72億17百万円で、対前年度比6億40百万円、9.7%の増となりました。これは、主にふるさと納税制度の活用 of 増などによるものです。

○職員費は、132億17百万円で、対前年度比9億18百万円、7.5%の増となりました。これは、主に給与改定による職員給与費の増などによるものです。

○公債費は、986千円で、対前年度比833千円、542.9%の増となりました。これは、主に基金の繰替運用に係る利子の増によるものです。

○諸支出金は、96億25百万円で、対前年度比27億1百万円、39.0%の増となりました。これは、主に社会資本等整備基金の新規積立の増などによるものです。

## 3 決算収支

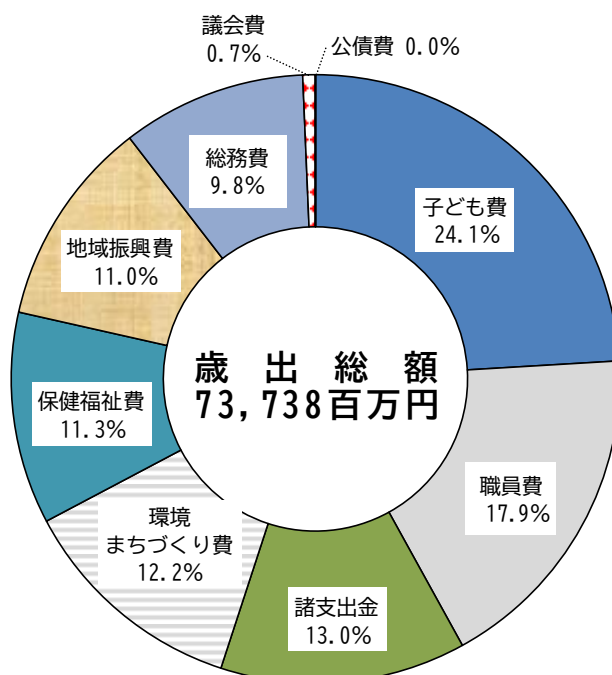
歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は、55億60百万円となりました。

この形式収支から、翌年度へ繰り越すべき財源9億86百万円を差し引いた実質収支は、45億74百万円となりました。

## 一般会計 歳出決算一覧表

(単位：円、%)

| 科 目 ( 款 )      | 令和7年度          | 令和6年度          | 対前年度<br>増減額   | 対前年度<br>増減率 |
|----------------|----------------|----------------|---------------|-------------|
| 議 会 費          | 492,032,949    | 416,649,819    | 75,383,130    | 18.1        |
| 子 ど も 費        | 17,736,214,043 | 16,267,925,889 | 1,468,288,154 | 9.0         |
| 保 健 福 祉 費      | 8,307,395,422  | 7,819,537,233  | 487,858,189   | 6.2         |
| 地 域 振 興 費      | 8,122,915,109  | 6,162,597,057  | 1,960,318,052 | 31.8        |
| 環 境 ま ち づ くり 費 | 9,019,551,781  | 9,506,624,343  | △487,072,562  | △5.1        |
| 総 務 費          | 7,216,642,448  | 6,576,904,709  | 639,737,739   | 9.7         |
| 職 員 費          | 13,216,792,466 | 12,298,821,964 | 917,970,502   | 7.5         |
| 公 債 費          | 986,301        | 153,424        | 832,877       | 542.9       |
| 諸 支 出 金        | 9,625,484,065  | 6,924,627,664  | 2,700,856,401 | 39.0        |
| 歳 出 合 計        | 73,738,014,584 | 65,973,842,102 | 7,764,172,482 | 11.8        |







## Ⅱ 主要施策の成果

# 1 子どもの安全・安心【拡充】

## 第4次基本構想のめざすべき姿等

人とのつながりが感じられ、支えあうことができます。

## 将来像に向けた方向性

区を構成する人々が互いに支えあう社会をつくる必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                  |       |              |
|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------|
| 事業概要                        | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 児童の登下校時における安全・安心については、地域住民（町会）・保護者・シルバー人材センターによる見守り活動等を行っている一方で、これまで見守り活動の中心だった地域住民の高齢化や夫婦共働き世帯の増加により担い手不足が課題となっています。<br>令和7年度は、区内大学生と連携した見守り事業の拡大を図るとともに、モデルケースとして1校の区立小学校の通学路上等へ防犯カメラの設置を行い、子どもの見守り体制の強化を図ります。 |       |              |
| 事業費                         | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 決算額                                                                                                                                                                                                              | 執行率   |              |
|                             | 9,568,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 6,956,641円                                                                                                                                                                                                       | 72.7% |              |
| 事業実績                        | ○令和7年度実績<br>地域住民の高齢化及び共働き世帯の増加等による、子どもの見守り活動の担い手不足を補うため、以下の活動を行いました。<br>（1）活動啓発物品の街頭配布<br>「ながら見守り」活動※の普及啓発のために、区内にキャンパスを有する大学（法政大学、明治大学）の学生18名の協力を得ながら、令和6年度に作成したキーホルダーの街頭配布を実施しました。<br>※「ながら見守り」活動：日常生活を送り「ながら」、防犯の視点を持って子どもたちを「見守る」ことで、登下校時等の安全・安心を確保する取組み<br>（2）通学路上等への防犯カメラの設置<br>モデルケースとして、区立昌平小学校の通学路上等に防犯カメラを計6台設置し、子どもの見守り体制を強化しました。 |                                                                                                                                                                                                                  |       |              |
| 令和9年度予算への対応<br>実績を踏まえた評価・課題 | 見守り活動の担い手不足を補うためには、「ながら見守り」活動を含め、区民・在勤者・在学者等と協力しながら見守り活動を推進する必要があります。<br>令和8年度は、区立小学校3校の通学路上等へ防犯カメラの設置を行うとともに、モデルケースとして設置した防犯カメラの効果検証を踏まえて、子どもの登下校時等の安全・安心を確保する取組みを進めるほか、見守り活動のさらなる推進に向けて、「ながら見守り」活動の普及啓発にも継続して取り組みます。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、区立小学校4校の通学路上等への防犯カメラの設置を行い、子どもの見守り体制の強化を図ります。                                                    |                                                                                                                                                                                                                  |       |              |
| 所管課 子ども部 子ども総務課             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 決算参考書                                                                                                                                                                                                            | 136頁  | R7予算の概要 118頁 |

## 2 子どもの権利推進【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

### 将来像に向けた方向性

多様な人々と関わり、未来を切り拓き、たくましく生きる人材を育てていくことが必要である。

(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                     |       |              |
|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------|
| 事業概要                                      | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 令和5年4月にこども基本法が施行されたことを踏まえ、子どもの権利の普及啓発、子ども等の意見聴取や政策への反映に係る取組みをさらに推進していく必要があります。<br>令和7年度は、区内在住の生徒等や保護者を対象としたアンケートの実施により、区が子ども・保護者に広く情報を発信する方法や、子どもが区に思いを伝えられる方法等について検討します。<br>また、区内在住の小学生を対象にワークショップを実施し、子どもたちが区政に対するアイデアを出し、意見表明をしてもらう機会を設け、子どもの区政に対する興味関心の向上を図ります。 |       |              |
| 事業費                                       | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 決算額                                                                                                                                                                                                                                                                 | 執行率   |              |
|                                           | 9,950,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 9,512,815円                                                                                                                                                                                                                                                          | 95.6% |              |
| 事業実績                                      | ○令和7年度実績<br>子ども・保護者向けのアンケート調査及びワークショップを実施し、子どもの意見表明の機会を設けるとともに、子どもの意見聴取及び政策反映に関する基礎的なデータの蓄積を図り、課題や方向性を整理しました。また、あわせて職員研修を行い、職員の理解促進を図りました。<br>(1) アンケート調査の実施<br>調査期間：令和7年6月20日～7月19日<br>調査対象：【子ども】小学校4年生から高校生世代の区民<br>【保護者】4歳～高校生世代の子どもがいる保護者<br>調査回答：【子ども】671件、【保護者】1,020件<br>(2) 子どもワークショップの実施<br>実施回数：2回<br>参加者数：計60名<br>(3) 職員研修<br>実施回数：2回<br>参加者数：計95名 |                                                                                                                                                                                                                                                                     |       |              |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度の取組状況<br>令和9年度予算への対応 | 今後さらに子ども等の意見聴取や政策への反映に係る取組みを推進していくためには、区としての統一的な考え方や指針の整理に加え、実践的なノウハウの共有・蓄積が必要です。<br>令和8年度は、これらの課題を踏まえ、引き続き子どもワークショップを実施するとともに、区独自のガイドラインの策定や、職員によるサポートメンバー会議の運営、職員研修を一体的に実施し、子どもへの意見聴取から政策反映までを担う職員の実践力向上を図ります。<br>令和9年度は、令和8年度に策定するガイドラインの定着を図るとともに、人材育成の推進及び意見聴取の機会を継続的に確保することで、子どもの意見の政策反映を着実に推進するための運用体制の充実を図ります。                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                     |       |              |
| 所管課 子ども部 子ども総務課                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                                               | 136頁  | R7予算の概要 111頁 |

### 3 産官学連携推進【拡充】

#### 第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

#### 将来像に向けた方向性

のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現していくことが必要である。

(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                |       |              |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------|
| 事業概要                                      | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 区は、令和5年度に策定した「今後の学校等のあり方基本構想」を基に、子どものより良い教育環境の充実にに向けた取組みを進めています。<br>令和7年度は、令和6年度に構築した学校と企業等の連携スキームを基に、学校と企業等をつなぐ橋渡し役としてコーディネーターを設置し、学校・企業等の連携をさらに進めることで、子どもたちの主体性や創造力を育むための実践的な学びの機会を創出していきます。 |       |              |
| 事業費                                       | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 決算額                                                                                                                                                                                            | 執行率   |              |
|                                           | 3,100,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 3,080,000円                                                                                                                                                                                     | 99.4% |              |
| 事業実績                                      | ○令和7年度実績<br>学校負担の軽減と連携の質の向上を図るとともに、産官学連携を継続的かつ安定的に推進するための基盤整備について進めました。<br>(1) 産官学連携コーディネーターの設置<br>新規連携先の開拓や学校と企業等との調整機能の強化により、25件のマッチングを実現し、職場体験等の連携授業を実施しました。また、企業アンケート等を実施し、学校と企業等との認識差や課題を整理しました。<br>(2) ちよだ学びフェスの開催(31団体出展、約550名来場)<br>広く地域の子どもたちに、実社会とつながる学びの機会を提供し、企業間の新たなネットワーク形成や、企業等と学校の連携機会の創出に寄与しました。 |                                                                                                                                                                                                |       |              |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度の取組状況<br>令和9年度予算への対応 | コーディネーターの設置により、企業等と学校間の調整機能が強化され、連携機会の創出や教員の負担軽減につながるなど一定の成果が見られました。今後は、教員への周知・定着をさらに進めることで、継続的かつ効果的な連携の実現をめざします。<br>令和8年度は、コーディネーター機能の継続・強化を図るとともに、学校現場でのさらなる活用促進や連携機会の創出に取り組みます。また、ちよだ学びフェスの内容充実や実施機会の拡大により、産官学連携のさらなる推進と子どもたちの学びの機会の充実を図ります。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、コーディネーター機能を維持・強化することで、持続可能な推進体制の確保を図ります。     |                                                                                                                                                                                                |       |              |
| 所管課 子ども部 子ども総務課                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 決算参考書                                                                                                                                                                                          | 136頁  | R7予算の概要 111頁 |

## 4 給付型奨学金【新規】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

### 将来像に向けた方向性

のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現していくことが必要である。

（関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン）

|                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                  |            |              |
|--------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--------------|
| 事業概要                                       | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 学業に意欲と能力を持ち、大学等への進学を希望する生徒が、個々の家庭環境等に関わらず望む教育を受けられるように支援をしていく必要があります。<br>令和7年度は、保護者が区内に住所を有する生徒を対象に、学業成績や学習意欲、進学目的等を踏まえて選考したうえで、給付型奨学金を支給することで、生徒の学びたい気持ちを支援します。 |            |              |
| 事業費                                        | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 決算額                                                                                                                                                              |            | 執行率          |
|                                            | 14,190,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 6,309,643円                                                                                                                                                       |            | 44.5%        |
| 事業実績                                       | ○令和7年度実績<br>選考（筆記試験、書類選考、面接）により奨学生として決定した者に対し、入学する大学等の学費（授業料等）及び入学料の実費相当額を奨学金として支給しました。<br>（1）奨学生決定者<br>10名<br>（2）奨学金支給額                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                  |            |              |
|                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 学費（授業料等）※1                                                                                                                                                       | 入学料※2      |              |
|                                            | 支給額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 2,642,880円                                                                                                                                                       | 1,600,000円 |              |
|                                            | ※1 上限80万円／年（前期40万円・後期40万円）<br>※2 上限20万円<br>※奨学生の決定人数及び支給額が当初の見込みを下回ったため、執行率が低くなりました。                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                  |            |              |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度予算への対応<br>令和9年度予算への対応 | 対象要件が十分に周知されていないこと等により申請に至っていないケースや、申請・選考手続きに対する負担感から申請を見送っているケースがあると想定されており、事業の認知度を高めていくことや、申請・選考スケジュールの見直しを図っていく必要があります。<br>令和8年度は、広報千代田や区ホームページ等を活用した周知を継続するとともに、私立高校や大手予備校等への周知依頼を行うなど、事業の認知度向上と制度理解の促進に取り組めます。あわせて、より多くの方が申請しやすい環境を整えるため、申請期間の延長や選考スケジュールの見直しを行います。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、事業周知の充実を図るとともに、必要に応じて対象要件や運用方法の見直しを行い、制度の定着を図っていきます。 |                                                                                                                                                                  |            |              |
|                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                  |            |              |
| 所管課 子ども部 子ども総務課                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 決算参考書                                                                                                                                                            | 136頁       | R7予算の概要 112頁 |

## 5 教材費補助【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

### 将来像に向けた方向性

のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現していくことが必要である。

（関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン）

|      |    |                                                                               |
|------|----|-------------------------------------------------------------------------------|
| 事業概要 | 内容 | 区立学校では、児童・生徒の学びを深めるとともに、学習内容の習熟を図るため、教科用図書以外にも様々な教材を活用しています。                  |
|      |    | 令和7年度は、公教育の充実を図るため、区立小学校・中学校・中等教育学校（前期課程）の児童・生徒が教室で使用する副読本やドリルなどの教材費を全額補助します。 |

|     |             |             |       |
|-----|-------------|-------------|-------|
| 事業費 | 予算現額        | 決算額         | 執行率   |
|     | 67,212,000円 | 55,329,747円 | 82.3% |

|      |                                                    |        |             |
|------|----------------------------------------------------|--------|-------------|
| 事業実績 | ○令和7年度実績                                           |        |             |
|      | 児童・生徒の保護者が負担する教材費を全額補助することで質の高い教育を受けられるよう支援を行いました。 |        |             |
|      |                                                    | 対象者数※  | 補助額         |
|      | 小学校                                                | 3,239人 | 31,606,983円 |
|      | 中学校                                                | 646人   | 11,036,351円 |
|      | 中等教育学校（前期課程）                                       | 473人   | 12,686,413円 |

※対象者数は令和7年5月1日時点の人数です。

|             |                                                                                                               |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和9年度予算への対応 | 実績を踏まえた評価・課題                                                                                                  |
|             | 全ての子どもが十分な教育を受けられる環境を整備することで、公教育の充実を図る必要があります。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、対象となる教材費の全額補助を行い、学校での教育環境のさらなる充実を図っていきます。 |

|              |       |      |         |      |
|--------------|-------|------|---------|------|
| 所管課 子ども部 学務課 | 決算参考書 | 136頁 | R7予算の概要 | 112頁 |
|--------------|-------|------|---------|------|

## 6 和泉小学校・いずみこども園等施設整備

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

### 将来像に向けた方向性

のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現していくことが必要である。

(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)

|                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                 |             |         |       |
|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------|-------|
| 事業概要                                       | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 和泉小学校・いずみこども園等施設は昭和62年の竣工から築38年が経過し、設備などの老朽化が進んでいることに加え、各階で利用者動線の混在などの課題を抱えていることから、建替えに向けた検討を進めています。<br>令和7年度は、令和6年度に引き続き、隣接する和泉公園との一体的な整備に向けた検討を進め、構想として取りまとめた後に、和泉公園の都市計画決定（変更）と施設・公園の基本計画の策定に取り組みます。<br>また、本件施設整備を踏まえた旧和泉町ポンプ所跡地の効果的な活用策について検討し、基本計画等へ反映します。 |             |         |       |
| 事業費                                        | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                 | 決算額         |         | 執行率   |
|                                            | 26,243,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                 | 25,825,450円 |         | 98.4% |
| 事業実績                                       | ○令和7年度実績<br>和泉小学校・いずみこども園等施設の建替えに向け、和泉公園も含め全体の機能が向上するよう施設関係者及び地域関係者等と意見交換を重ね、「和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備構想」を令和8年2月に策定しました。<br>(1) 施設関係者及び地域関係者等へのヒアリング（令和7年6月～令和8年2月）<br>(2) 公園と校庭の兼用事例（タイムシェア）に関するヒアリング調査<br>(3) 和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備に向けた検討会（令和7年9月19日、令和8年2月16日）<br>(4) 第2回オープンハウス型地域説明会（令和7年10月19日、20日）<br>(5) 千代田区都市計画審議会報告（令和7年12月16日、令和8年3月26日）<br>(6) パブリックコメントを実施<br>令和7年12月5日～22日の期間で実施（意見者数：5名（うち団体1）、意見：33件） |                                                                                                                                                                                                                                                                 |             |         |       |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度予算への対応<br>令和9年度予算への対応 | 整備にあたっては、児童・園児・周辺地域等に十分配慮して検討を進めていく必要があります。また、工事期間中の和泉公園機能の代替についても、旧和泉町ポンプ所跡地の効果的な活用を含めた検討が必要です。<br>令和8年度は、令和7年度に引き続き、施設関係者及び地域関係者等と連携を図りながら、工事期間中の和泉公園機能の代替を含め、一体的整備の検討を進めます。また、和泉公園の都市計画が決定（変更）され、基本計画を策定した後に、基本設計に着手します。<br>令和9年度は、新施設の基本設計の完了後、実施設計に着手します。                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                 |             |         |       |
| 所管課 子ども部 子ども施設課                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                                           | 138頁        | R7予算の概要 | 113頁  |

## 7 番町小学校・幼稚園整備計画の検討【新規】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

### 将来像に向けた方向性

のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現していくことが必要である。

(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                          |            |       |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|
| 事業概要        | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <p>築50年以上が経過している番町小学校・幼稚園については、老朽化が進んだ校舎の機能更新にあたり、良好な教育環境の確保に加え、防災拠点としての役割も踏まえ、効果的かつ効率的に整備を進める必要があります。</p> <p>令和7年度は、これまでの基礎調査を踏まえ、学校・園関係者等との意見交換等を行い、整備に向けた検討を行います。</p> |            |       |
|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                          |            |       |
| 事業費         | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                          | 決算額        | 執行率   |
|             | 5,815,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                          | 5,500,000円 | 94.6% |
| 事業実績        | <p>○令和7年度実績</p> <p>令和6年度に引き続き、仮校舎についての調査・検討を行い、今後の整備検討の前提として、必要となる部屋や規模の整理のほか、仮校舎の整備パターンの比較を行いました。</p> <p>また、令和8年度以降の検討会開催に向け、学校・園関係者等と意見交換を行いました。</p> <p>(1) 仮校舎についての調査・検討</p> <p>①仮校舎に求められる施設規模・部屋等の整理</p> <p>②仮校舎整備方法の類型化及び比較</p> <p>(2) 検討会に向けた学校・園関係者等との意見交換</p> <p>令和6年度までの基礎調査にて整理した、番町小学校・幼稚園の沿革、歴史及び現状の課題について、学校・園関係者等と意見交換しました。</p> |                                                                                                                                                                          |            |       |
|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                          |            |       |
| 令和9年度予算への対応 | <p>仮校舎の検討をさらに進めるとともに、一層の教育環境の充実と地域に根差した施設整備の実現のためには、学校・園関係者等と一体となって検討を行うことが必要です。</p> <p>令和8年度は、令和7年度に引き続き、これまでの基礎調査を踏まえ、学校・園関係者等との意見交換等を行い、整備に向けた検討を行います。</p> <p>令和9年度は、令和8年度の検討結果を踏まえ、基本構想の策定に取り組みます。</p>                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                          |            |       |

|                 |       |      |         |      |
|-----------------|-------|------|---------|------|
| 所管課 子ども部 子ども施設課 | 決算参考書 | 138頁 | R7予算の概要 | 113頁 |
|-----------------|-------|------|---------|------|

## 8 部活動の推進【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

### 将来像に向けた方向性

多様な人々と関わり、未来を切り拓き、たくましく生きる人材を育てていくことが必要である。

(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)

|      |    |                                                                                                                                                                                                       |
|------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業概要 | 内容 | 区は、国の「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」を踏まえ、令和5年度から部活動の一部について、外部委託による指導を平日も含めて試行的に実施しています。                                                                                                                        |
|      |    | 国は、令和5年度からの3年間で改革推進期間と定めていましたが、新たに令和8年度からの6年間で改革実行期間と位置付ける方向性を示しています。令和7年度は、改革推進期間の最終年度となることから、学校の意向を踏まえた外部委託による部活動をさらに拡大するとともに、試行実施で明らかとなった指導の質の向上や教員の働き方改革に対する成果を整理することで、部活動の地域展開等の本格実施に向けた準備を進めます。 |

|     |             |             |       |
|-----|-------------|-------------|-------|
| 事業費 | 予算現額        | 決算額         | 執行率   |
|     | 88,156,000円 | 80,639,616円 | 91.5% |

|      |                                                                   |                                                                                 |                                                                        |                                      |
|------|-------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 事業実績 | ○令和7年度実績<br>希望する教員による指導に加えて、地域人材を中心とした部活動指導員、部活動の外部委託による指導を行いました。 |                                                                                 |                                                                        |                                      |
|      |                                                                   | 麹町中学校                                                                           | 神田一橋中学校                                                                | 九段中等教育学校                             |
|      | 部活動の外部委託                                                          | 12部活動<br>(陸上、バレーボール、男子バドミントン、卓球、ダンス、男子バスケットボール、女子バスケットボール、家庭科、水泳、日本文化、吹奏楽、サッカー) | 12部活動<br>(硬式テニス、男子バドミントン、女子バドミントン、和太鼓、水泳、フットサル、家庭科、吹奏楽、陸上、茶道、競技かるた、美術) | 6部活動<br>(サッカー、吹奏楽、卓球、軟式野球、バドミントン、水泳) |

|             |                            |                                                                                                                                                                                                   |
|-------------|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和9年度予算への対応 | 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度の取組状況 | 指導者を継続的に確保できる部活動においては地域人材を活用し、難しい部活動においては外部委託を行い、ハイブリッド的に部活動の地域展開等を進めることで、平日も含めた部活動の実施・指導体制の充実、教員の働き方改革を実現していく必要があります。                                                                            |
|             |                            | 令和8年度は、改革実行期間の初年度として、九段中等教育学校（後期課程）の部活動にも外部委託を拡大するとともに、外部指導者及び部活動指導員を適切に配置し、専門的な技術指導を行うことで、部活動の指導の質の向上及び教員の業務軽減・働き方改革を推進します。また、有識者を含めた「（仮称）部活動のあり方検討会」を開催し、これまでの取組みを振り返るとともに、今後の部活動のあり方を検討していきます。 |

令和9年度は、令和8年度の検討結果を踏まえ、生徒、保護者、教職員等のニーズに一層的確に対応できるよう、部活動の推進を図ります。

|     |                        |       |      |         |      |
|-----|------------------------|-------|------|---------|------|
| 所管課 | 子ども部 指導課、九段中等教育学校経営企画室 | 決算参考書 | 138頁 | R7予算の概要 | 114頁 |
|-----|------------------------|-------|------|---------|------|

## 9 特別支援サポート【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

### 将来像に向けた方向性

多様性を認めあう社会の実現に向けた取組みを推進する必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン、千代田区障害福祉プラン)

|      |                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業概要 | <p>区は、特別な支援を要する子どもに対して、各種シート（はばたきプラン、保育支援シート、就学（園）支援シート、教育支援シート）を保護者とともに作成することで、発達段階に応じた切れ目のない支援を行っています。</p> <p>令和7年度は、就園・就学・進学の際に関係機関が迅速にシートの情報を共有し、それを踏まえた適切な支援が計画的に行われるようにするとともに、各種シート作成に係る保護者の負担を軽減するため、各種シートの情報を統合した（仮称）千代田区こどもカルテシステムを構築します。</p> |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|     |              |              |       |
|-----|--------------|--------------|-------|
| 事業費 | 予算現額         | 決算額          | 執行率   |
|     | 144,448,000円 | 112,289,700円 | 77.7% |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業実績 | <p>○令和7年度実績<br/>特別な支援を要する子どもに対して作成する複数のシートを統合し、0歳～18歳の支援情報を一元管理する「はぐくみ千代田」システムを構築し、円滑に情報共有できる環境を整備しました。</p> <p>(1) システムの設計<br/>導入機能や過去のシートの取り込みに向けた検討を行いました。</p> <p>(2) システム名称の決定<br/>教育委員会内で公募を実施し、親しみやすさや呼びやすさといった観点から、名称を「はぐくみ千代田」に決定しました。</p> <p>(3) 学校・園関係者による試験運用<br/>令和8年2月～3月の期間で試験運用を行い、児童の登録方法やシート作成機能を確認しました。</p> <p>(4) システムの運用開始<br/>令和8年4月からデータ移行等を含めた実運用を開始しました。</p> |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### ▲システム入力画面

|                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和8年度実績を踏まえた評価・課題<br>令和9年度予算への対応 | <p>「はぐくみ千代田」システムを活用することで、関係機関が情報を共有し連携を深め、子どもの特性に応じた支援をより早い段階で検討していくことが重要です。</p> <p>令和8年度は、過去シートのデータの追加・移行を行うとともに、ポータルサイトを通じて保護者による閲覧を可能とし、保護者あての通知機能及び同意確認機能を実装することで、各種シート作成に係る保護者の負担軽減を図ります。</p> <p>令和9年度は、健診情報との連携や生成AIの活用により、関係機関の情報共有を一層深め、利便性を向上することで、より早期の支援につなげます。</p> |
|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                          |       |              |      |
|--------------------------|-------|--------------|------|
| 所管課 子ども部 児童・家庭支援センター、指導課 | 決算参考書 | 140頁 R7予算の概要 | 117頁 |
|--------------------------|-------|--------------|------|

# 10 いじめ・不登校防止プロジェクト【拡充】

## 第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

## 将来像に向けた方向性

多様性を認めあう社会の実現に向けた取組みを推進する必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)

|      |    |                                                                                                                                                                                                |  |
|------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 事業概要 | 内容 | 区は、いじめ・不登校の未然防止や早期発見、早期対応に向けた取組みを進めるとともに、スクールソーシャルワーカーの派遣等により、児童・生徒の支援を行っています。また、区立小学校・中学校・中等教育学校全校にSSR（スペシャルサポートルーム）※を設置し、自分のクラスに入りづらい児童・生徒の居場所と学びの場を確保しています。                                 |  |
|      |    | 令和7年度は、SSRを利用する児童・生徒にとって居心地のよい場所となるように各校のSSRの環境づくりを進めます。また、モデル校において通常の教室とは異なる備品を設置し、利用する児童・生徒により適した環境整備と支援を検証します。<br>※SSR（スペシャルサポートルーム）：クラスに入りづらい児童・生徒が、落ち着いた空間の中で自分に合ったペースで学習・生活できるように設けられた教室 |  |

|     |             |            |       |
|-----|-------------|------------|-------|
| 事業費 | 予算現額        | 決算額        | 執行率   |
|     | 12,328,000円 | 9,958,246円 | 80.8% |

|      |                                                                                                                                       |  |  |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| 事業実績 | ○令和7年度実績<br>区立小学校・中学校・中等教育学校全校に設置しているSSRの環境づくりを進めました。また、モデル校である富士見小学校には、個別スペースや学習スペースを設置し、それらの活用による児童の安心感の向上や学習意欲の喚起等の効果について検証を行いました。 |  |  |
|      |  <p style="text-align: center;">▲整備後の教室</p>       |  |  |

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                          |  |  |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| 令和9年度予算への対応 | 本区におけるいじめの認知件数及び不登校児童・生徒数は、心理的要因等の多様化を背景として増加しており、引き続ききめ細やかな支援が必要です。                                                                                                                                                                                                     |  |  |
|             | 令和8年度は、アンケートや相談レター等による未然防止・早期対応に引き続き取り組むとともに、関係機関や専門職と連携し、支援体制の充実を図っています。また、統括心理アドバイザーの配置により各校への助言機能を強化するほか、神田一橋中学校にチャレンジクラス※を新設することで、不登校支援の充実に取り組みます。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、いじめ・不登校の未然防止や早期発見、早期対応に向けた取組みを継続し、支援の一層の充実を図ります。<br>※チャレンジクラス：不登校生徒が安心して過ごし、自分のペースで学べる学校内の教室 |  |  |

|              |       |      |         |      |
|--------------|-------|------|---------|------|
| 所管課 子ども部 指導課 | 決算参考書 | 140頁 | R7予算の概要 | 117頁 |
|--------------|-------|------|---------|------|

## 11 ICT学校教育システムの推進【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

### 将来像に向けた方向性

多様な人々と関わり、未来を切り拓き、たくましく生きる人材を育んでいくことが必要である。

(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                     |              |         |      |
|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|--------------|---------|------|
| 事業概要                        | 内容<br>区は、新たな時代を生き抜く人材の育成に向け、教育施設へのICT環境を整備し、教育活動で活用するほか、校務にも活用することで教職員の働き方改革を進めています。<br>令和7年度は、令和6年度に文部科学省の高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）の採択校となった九段中等教育学校において、区立校のモデルとして、デジタル等成長分野を支える人材育成の充実を図るための環境整備と、探究を軸とした数理・データサイエンス・AIなどを含むSTEAM教育※の学習を取り入れたプログラム学習を実施します。<br>※STEAM教育：科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、芸術・リベラルアーツ（Arts）、数学（Mathematics）の5つの領域を対象とした理数教育に創造性教育を加えた教育理念。知る（探究）とつくる（創造）のサイクルを生み出す、分野横断的な教育                                      |                     |              |         |      |
| 事業費                         | 予算現額<br>376,822,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 決算額<br>351,526,798円 | 執行率<br>93.3% |         |      |
| 事業実績                        | ○令和7年度実績<br>(1) 安定的かつ高速な通信環境整備と最先端の学びの場の提供<br>ネットワーク機器の更新のほか、PC・LL教室の環境整備と合わせて実習用端末を導入し、ICT環境の整備充実を図りました。<br>(2) DXハイスクール事業の推進<br>事業指定校として、実習機器の高性能カメラやセンサーのほか、デジタル測定器、特殊プリンター等を導入し、探究活動を軸としたSTEAM教育の学習に活用しました。また、指定校同士での情報交換や交流を図り、授業に生かすなどの取組みを実践しました。<br>(3) 区立小学校への展開<br>区立小学校の5、6年生を対象にドローンや3Dプリンターを活用した体験講座の実施や生成AIの利活用など先進的に行ってきた取組みを展開しました。<br>(4) 九段中等教育学校教員と区立小・中学校教員との交流<br>年4回実施している情報教育主任会において、九段中等教育学校における生成AIの利活用等、ICT学校教育に関する情報交換を行いました。 |                     |              |         |      |
| 令和9年度予算への対応<br>実績を踏まえた評価・課題 | デジタル等成長分野を支える人材育成の充実を図るためには、ICT環境の整備と探究を軸としたSTEAM教育の充実が必要です。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、生成AIの利活用の機会創出と区立小・中学校へと取組みを展開し、文理横断的な探究活動を推進していきます。また、情報の授業の履修率、探究コンテストなどへの応募数、大学進学実績などの向上をめざし、取組みを進めます。                                                                                                                                                                                                                                                               |                     |              |         |      |
| 所管課                         | 子ども部 九段中等教育学校経営企画室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 決算参考書               | 144頁         | R7予算の概要 | 114頁 |

## 12 学校行事【拡充】

|                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                   |
|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                   |
| すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                   |
| 将来像に向けた方向性                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                   |
| 多様な人々と関わり、未来を切り拓き、たくましく生きる人材を育てていくことが必要である。<br>(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                   |
| 事業概要                                                                        | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | <p>九段中等教育学校では、九段探究プランとして「STEAM」「グローバル」「アントレプレナーシップ※」の3つの領域や、各教科の教育活動を探究的な学びでつなぎ、生徒自らが進んで学び、自分らしさを確立するための教育を行っています。</p> <p>令和7年度は、グローバル（海外大学体験）の学習がメインであるUCLA海外研修旅行（選抜型）に加え、STEAM（モノづくり）の学習に重きを置いたシリコンバレー海外研修（選抜型）を実施します。研修では、最先端企業や研究所、科学博物館等を訪問し先進的なデジタル技術の発展に直接触れることで、STEAM教育を推進します。</p> <p>※アントレプレナーシップ：様々な困難や変化に対し、与えられた環境のみならず、自ら枠を超えて行動を起こし、新たな価値を生み出していく精神や姿勢</p> |                   |
| 事業費                                                                         | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 決算額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 執行率               |
|                                                                             | 45,418,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 34,895,491円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 76.8%             |
| 事業実績                                                                        | <p>○令和7年度実績</p> <p>(1) UCLA海外大学派遣研修（令和7年8月7日～15日）<br/>アメリカ・ロサンゼルスにあるカリフォルニア大学ロサンゼルス校の寮や施設を活用してプログラムを実施しました。他者の意見を尊重しながら自ら考え、英語で表現したり、仲間と協働する経験を通してリーダーシップと主体性を育む内容とし、生徒16名が参加しました。（事前学習8回、現地学習8日、事後学習4回）</p> <p>(2) シリコンバレー派遣研修（令和7年9月30日～10月5日）<br/>シリコンバレーというイノベーションの最前線で、自ら考え、課題に挑戦し、アイデアを形にする力を育むことを目的としたプログラムとなっており、事前に学んだデザイン思考のプロセスを活用し、社会問題の解決に取り組むことで、創造力やアントレプレナーシップを養う内容とし、生徒16名が参加しました。（事前学習21回、現地学習5日、事後学習6回）</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                   |
| 令和8年度実績を踏まえた評価・課題<br>令和9年度予算への対応                                            | <p>国際的な視野を持った人材育成の充実を図るためには、生徒自らが進んで学び、自分らしさを確立できる体験活動の充実が必要です。</p> <p>令和9年度は、令和8年度に引き続き、世界情勢の動向を注視しつつ、生徒が多様な文化背景を持つ人々や先進的なデジタル技術に触れる機会を確保し、探究的な学びを通じたグローバル人材の育成とSTEAM教育の推進を図ります。</p>                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                   |
| 所管課                                                                         | 子ども部 九段中等教育学校経営企画室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 144頁 R7予算の概要 115頁 |

### 13 幼稚園給食【拡充】

|                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                      |                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                      |                   |
| すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                      |                   |
| 将来像に向けた方向性                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                      |                   |
| <p>のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現していくことが必要である。</p> <p>(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)</p> |                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                      |                   |
| 事業概要                                                                                          | 内容                                                                                                                                                                                                                                                    | <p>区は、園児が食べる喜びや楽しさ、食べ物への興味や関心を通じて自ら進んで食べようとする気持ちが育つように食育を推進しています。</p> <p>令和7年度は、区立幼稚園に通う園児の健康の増進と食育の推進を図るとともに、保護者の負担を軽減するため、お茶の水幼稚園において給食提供を開始します。また、麴町幼稚園、九段幼稚園、番町幼稚園においては、引き続き給食提供に向けた検討を進め、給食提供が可能となるまでの間については、弁当を提供し、園児の食育の推進、保護者の負担軽減を図ります。</p> |                   |
| 事業費                                                                                           | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                  | 決算額                                                                                                                                                                                                                                                  | 執行率               |
|                                                                                               | 68,389,000円                                                                                                                                                                                                                                           | 62,988,095円                                                                                                                                                                                                                                          | 92.1%             |
| 事業実績                                                                                          | <p>○令和7年度実績</p> <p>(1) お茶の水幼稚園での給食提供開始(令和7年4月)</p> <p>(2) 麴町幼稚園、九段幼稚園、番町幼稚園での弁当給食提供開始(令和7年4月)</p> <p>(3) 給食提供未実施園での給食提供に向けた検討</p> <p>実施手法について、実施時期の見込みや経費の概算、実現可能性等を比較し、検討を行いました。</p>                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                      |                   |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度予算への対応                                                                   | <p>お茶の水幼稚園において、令和7年4月から給食提供を開始しました。一方で給食提供未実施の麴町幼稚園、九段幼稚園、番町幼稚園の3園については、弁当給食を提供するとともに、引き続き全ての園での給食提供に向けた検討を進める必要があります。</p> <p>令和9年度は、令和8年度に引き続き、既に給食を実施している幼稚園においては給食提供を継続するとともに、上記3園についての給食提供が可能となるまでの間は弁当給食を提供し、全ての園において園児の食育の推進、保護者の負担軽減を図ります。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                      |                   |
| 所管課 子ども部 学務課                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                       | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                                | 144頁 R7予算の概要 115頁 |

## 14 子どもの遊び場確保の取組み【拡充】

|                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                   |              |
|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                   |              |
| 多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。                             |                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                   |              |
| 将来像に向けた方向性                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                   |              |
| 子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。<br>(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン) |                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                   |              |
| 事業概要                                                              | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                | <p>区は、区内の様々な資源を子どもの遊び場としても活用できるよう積極的に取り組んでいます。また、区立公園等においては運用方法を工夫するなど、子どもが自由に外で遊ぶことができる環境づくりに努めています。</p> <p>令和7年度は、旧九段中学校の校庭・体育館を遊び場として使用できるようにし、子どもの遊び場のさらなる充実に取り組んでいきます。</p> <p>また、夏に猛暑日が続く異常気象が常態化しつつある中、夏場でも子どもが安全に遊べるように、旧九段中学校の体育館及び一部区立小学校の体育館を開放します。</p> |              |
| 事業費                                                               | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                              | 決算額                                                                                                                                                                                                                                                               | 執行率          |
|                                                                   | 63,478,000円                                                                                                                                                                                                                                                       | 49,923,432円                                                                                                                                                                                                                                                       | 78.6%        |
| 事業実績                                                              | <p>○令和7年度実績</p> <p>(1) 旧九段中学校の遊び場としての開放（通年）<br/>旧九段中学校の校庭及び体育館を子どもの遊び場として開放しました。<br/>利用実績 延べ7,175名<br/>①幼児及び小学生 延べ5,960名<br/>②中学生及び高校生 延べ1,215名</p> <p>(2) 夏季の小学校体育館の開放（令和7年7月22日～8月29日）<br/>区立小学校2校（九段小学校及びお茶の水小学校）の体育館を、夏場でも安全に遊べるよう開放しました。<br/>利用実績 延べ180名</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                   |              |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度取組への対応<br>令和9年度予算への対応                        | <p>子どもの遊び場事業については、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」報告書において「量の拡大から質の向上」の方向性が示され、今後は単なる施設数の確保だけでなく、天候に左右されない利用や幼児・小学生・中高生など年代に応じた利用への対応等に配慮する必要があります。</p> <p>令和9年度は、令和8年度に引き続き、報告書で示された方向性を踏まえつつ、区民ニーズや利用実態に応じて遊び場の充実を図るとともに、子どもが安心して楽しむことができる環境整備を継続します。</p>             |                                                                                                                                                                                                                                                                   |              |
| 所管課 子ども部 子育て推進課                                                   | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                                             | 148頁                                                                                                                                                                                                                                                              | R7予算の概要 107頁 |

## 15 出産費用助成【新規】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

### 将来像に向けた方向性

子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)

|                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |             |              |
|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------------|
| 事業概要                            | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                        | <p>国全体の合計特殊出生率が減少傾向にあり、東京都では合計特殊出生率が全国最低を記録するなど、少子化が一層進行する中、区の出生数においても、平成29年度をピークに増減を繰り返しながらも減少に転じています。</p> <p>令和5年に、出産育児一時金が42万円から50万円に引き上げられましたが、都内の公的・私的病院及び診療所における正常分娩費用の平均額は、出産育児一時金を上回っており、子どもを産み育てようとする世帯の負担となっています。</p> <p>令和7年度は、子どもを持つことを希望する人が、子どもを安心して産み育てられると前向きになれるように、出産費用について、出産育児一時金を上回り自己負担が生じた場合に助成（上限額：31万円）することで、経済的負担の軽減を図ります。</p> |             |              |
|                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |             |              |
| 事業費                             | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 決算額         | 執行率          |
|                                 | 186,000,000円                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 85,749,274円 | 46.1%        |
| 事業実績                            | ○令和7年度実績                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |             |              |
|                                 | 対象者数                                                                                                                                                                                                                                                                      | 助成人数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 助成額         | 1人あたり平均助成額   |
|                                 | 439人                                                                                                                                                                                                                                                                      | 328人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 85,749,274円 | 261,431円     |
| ※申請件数が想定を下回ったことにより、執行率が低くなりました。 |                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |             |              |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和9年度予算への対応     | <p>出産費用助成については、出産日から2年間申請を可能としたことにより、未申請者が一定数見込まれることから、制度の周知及び申請促進を図っていく必要があります。</p> <p>令和8年度は、より多くの対象者の利用につなげるため、申請状況の把握に努め、令和7年度の未申請者も含めた制度周知に取り組みます。</p> <p>また、国において出産費用の保険適用に向けた制度改正が進められていることを踏まえ、本区制度の方向性について検討を行います。</p> <p>令和9年度は、令和8年度の検討結果を踏まえ、必要な見直しを行います。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |             |              |
|                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |             |              |
| 所管課 子ども部 子育て推進課                 |                                                                                                                                                                                                                                                                           | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 148頁        | R7予算の概要 107頁 |

## 16 中高生世代応援手当【新規】

|                                                                   |                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                   |
|-------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等                                                   |                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                   |
| 多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。                             |                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                   |
| 将来像に向けた方向性                                                        |                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                   |
| 子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。<br>(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン) |                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                   |
| 事業概要                                                              | 内容                                                                                                                                                                                    | <p>区は、妊娠時から広く手当を支給し、家庭における生活の安定に寄与するとともに、次世代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的として、児童手当の対象とならない児童を養育する保護者等に次世代育成手当を支給してきました。</p> <p>児童手当法の改正により児童手当が拡充され、高校生等が支給対象となるとともに所得制限が撤廃されたことに伴い、次世代育成手当の支給要件に該当する児童がいなくなりました。</p> <p>中学生以降の子育てに係る経費が増大する実態を踏まえ、令和7年度からは、中学生・高校生等を養育する保護者等に対して、新たに中高生世代応援手当を支給（子ども1人あたり月額15,000円）し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。</p> |                   |
| 事業費                                                               | 予算現額                                                                                                                                                                                  | 決算額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 執行率               |
|                                                                   | 582,600,000円                                                                                                                                                                          | 516,930,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 88.7%             |
| 事業実績                                                              | ○令和7年度実績                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                   |
|                                                                   | 受給者数                                                                                                                                                                                  | 支給対象児童数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 支給総額              |
|                                                                   | 2,672人                                                                                                                                                                                | 3,355人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 516,930,000円      |
| 令和8年度実績を踏まえた評価・課題<br>令和9年度予算への対応                                  | <p>子どもの成長とともに増加する教育費、食費等の経済的負担の軽減を図り、中高生世代が安心して暮らすことのできる生活の実現に向けた支援が必要です。</p> <p>令和8年度は、手当受給者に対し手当の用途等についてのアンケートを実施し、効果検証を行います。</p> <p>令和9年度は、効果検証の結果を踏まえて、子育て世帯への経済的な支援を図っていきます。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                   |
| 所管課 子ども部 子育て推進課                                                   |                                                                                                                                                                                       | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 148頁 R7予算の概要 108頁 |

## 17 こども医療費助成【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

### 将来像に向けた方向性

子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)

|                                      |                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                |              |              |       |
|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|--------------|-------|
| 事業概要                                 | 内容                                                                                                                                                | 区は、18歳に達した日以降最初の3月31日までの間にある子どもが、医療機関で治療を受けた際の保険診療の自己負担分について全額助成しています。<br>令和7年度は、これまで助成の対象外だった入院時の食事療養標準負担額についても全額助成することで、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。 |              |              |       |
|                                      |                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                |              |              |       |
| 事業費                                  | 予算現額                                                                                                                                              |                                                                                                                                                | 決算額          | 執行率          |       |
|                                      | (1) 乳幼児医療費助成                                                                                                                                      |                                                                                                                                                | 173,483,000円 | 147,643,138円 | 85.1% |
|                                      | (2) 義務教育就学児医療費助成                                                                                                                                  |                                                                                                                                                | 288,643,000円 | 257,435,567円 | 89.2% |
|                                      | (3) 高校生等医療費助成                                                                                                                                     |                                                                                                                                                | 83,270,000円  | 75,554,047円  | 90.7% |
| 事業実績                                 | ○令和7年度実績                                                                                                                                          |                                                                                                                                                |              |              |       |
|                                      | 入院時食事療養費助成実績                                                                                                                                      |                                                                                                                                                |              |              |       |
|                                      | 区分                                                                                                                                                | 食数                                                                                                                                             | 金額           |              |       |
|                                      | 乳幼児                                                                                                                                               | 2,417食                                                                                                                                         | 996,960円     |              |       |
|                                      | 義務教育就学児                                                                                                                                           | 988食                                                                                                                                           | 503,880円     |              |       |
|                                      | 高校生等                                                                                                                                              | 532食                                                                                                                                           | 231,720円     |              |       |
|                                      | 合計                                                                                                                                                | 3,937食                                                                                                                                         | 1,732,560円   |              |       |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度<br>令和9年度予算への対応 | 入院時の食事療養標準負担額について、新たに助成対象としたことにより、子育て世帯の経済的負担の軽減につながりました。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、保険診療に係る医療費の自己負担分及び入院時食事療養標準負担額の全額助成を行い、子どもが安心して医療を受けられる環境の確保を図ります。 |                                                                                                                                                |              |              |       |
|                                      |                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                |              |              |       |
| 所管課 子ども部 子育て推進課                      |                                                                                                                                                   | 決算参考書                                                                                                                                          | 148頁         | R7予算の概要      | 108頁  |

## 18 私立保育所等への運営補助関連事業【拡充・補正予算】

|                                                                                                      |                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等                                                                                      |                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                |
| 多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。                                                                |                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                |
| 将来像に向けた方向性                                                                                           |                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                |
| <p>子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。<br/>         (関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン、千代田区子ども・子育て支援事業計画)</p> |                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                |
| 事業概要                                                                                                 | 内容                                                                                                                                                                                         | <p>私立保育所等の安定的な運営を継続していくため、保育事業者に対し、栄養士や看護師など専門職を配置した場合等の人材確保に係る経費や、家賃補助等の運営に係る経費を助成しています。</p> <p>令和7年度は、認可保育所・認定こども園において、特に支援などを要する乳幼児に対応するため、国の職員配置の基準を超えて保育士等を配置した場合の加算額単価を増額することで、保育の質の向上を図ります。</p> <p>また、認証保育所等においては、障害児の受入促進補助や、地域の需要に応じた保育サービスの提供に係る補助を拡充することで、多様なニーズに応えるとともに、地域の子育て支援を強化します。</p> |                |
| 事業費                                                                                                  | 予算現額                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 決算額            |
|                                                                                                      | (1) 私立保育所等運営補助<br>(認可保育所)                                                                                                                                                                  | 4,404,326,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 4,204,973,567円 |
|                                                                                                      | (2) 私立保育所等運営補助<br>(認定こども園)                                                                                                                                                                 | 409,948,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 395,840,239円   |
|                                                                                                      | (3) 認証保育所等運営補助                                                                                                                                                                             | 1,085,260,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 820,791,994円   |
| 事業実績                                                                                                 | <p>○令和7年度実績</p> <p>下表の施設に対して、次の内容を含め、運営に係る補助を実施しました。</p> <p>(1) 基準外職員配置加算 347,493,600円</p> <p>(2) 障害児受入促進加算 8,102,060円</p> <p>(3) ICT化推進事業加算 1,875,542円</p> <p>(4) 人材確保事業加算 1,047,500円</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                |
|                                                                                                      | 種別                                                                                                                                                                                         | 施設数                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 定員             |
|                                                                                                      | 認可保育所                                                                                                                                                                                      | 18施設                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1,279人         |
|                                                                                                      | 認定こども園                                                                                                                                                                                     | 1施設                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 105人           |
| 令和9年度予算への対応                                                                                          | 実績を踏まえた評価・課題                                                                                                                                                                               | 令和8年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 令和9年度          |
|                                                                                                      | 令和8年度                                                                                                                                                                                      | 令和9年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 令和9年度          |
|                                                                                                      | 令和9年度                                                                                                                                                                                      | 令和9年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 令和9年度          |
|                                                                                                      | 令和9年度                                                                                                                                                                                      | 令和9年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 令和9年度          |
| 所管課 子ども部 子ども支援課                                                                                      |                                                                                                                                                                                            | 決算参考書 150、152頁                                                                                                                                                                                                                                                                                          | R7予算の概要 109頁   |

## 19 病児・病後児保育室整備【補正予算】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

### 将来像に向けた方向性

子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区子ども・子育て支援事業計画)

|                             |                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                               |             |      |           |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|-----------|
| 事業概要                        | 内容                                                                                                                                                                                   | 区は、保護者の子育てと就労の両立を支援するため、病気の回復期に至らないが、当面の症状の急変が認められない場合又は病気の回復期にある乳幼児を一時的に預かる病児・病後児保育を実施しています。<br>令和7年度は、新たに神田地域で病児・病後児保育室の開設をめざし、民間事業者の協力を得ながら施設整備に取り組んでいきます。 |             |      |           |
| 事業費                         | 予算現額                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                               | 決算額         |      | 執行率       |
|                             | 16,200,000円                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                               | 13,922,000円 |      | 85.9%     |
| 事業実績                        | ○令和7年度実績<br>神田地域での病児・病後児保育室開設に向けて、施設改修費等の補助を行いました。                                                                                                                                   |                                                                                                                                                               |             |      |           |
|                             | 施設名                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                               | 保育内容        | 利用定員 | 開設日       |
|                             | 千代田加賀クリニック かいふく子ルーム<br>(神田神保町一丁目103番地)                                                                                                                                               |                                                                                                                                                               | 病児・病後児      | 3名   | 令和8年4月10日 |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度予算への対応 | 麹町地域に加えて、神田地域にも病児・病後児保育室を開設したことで、保護者が安心して就労できる環境の整備と供給量の確保を図りました。<br>令和8年度は、既存施設における必要な改修工事等について補助を行います。<br>今後は千代田区子ども・子育て支援事業計画を踏まえつつ、利用状況を注視しながら、保護者の子育てと就労の両立への支援に向けた取組みを行っていきます。 |                                                                                                                                                               |             |      |           |
| 所管課 子ども部 子育て推進課             |                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                               | 決算参考書       | 152頁 | R7予算の概要 - |

## 20 私立学童クラブへの運営補助関連事業【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

### 将来像に向けた方向性

子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。

(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン、千代田区子ども・子育て支援事業計画)

|                                      |                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                       |                        |              |
|--------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|--------------|
| 事業概要                                 | 内容                                                                                                                                                                      | 区は、保護者の就労等の理由により、放課後等に適切な保育を受けられない小学生に遊びと生活の場を提供するため、民間事業者が運営する学童クラブ事業や拡大型を含む一時預かり保育事業等の運営支援を行い、子どもたちの健全な育成と子育て家庭の支援を行っています。<br>令和7年4月に、私立学童クラブ2か所を新たに開設しました。<br>令和7年度も引き続き、民間が運営する学童クラブの運営を支援することで、保護者の就労支援の充実を図ります。 |                        |              |
| 事業費                                  | 予算現額                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                       | 決算額                    | 執行率          |
|                                      | (1) 富士見わんぱくひろば事業運営                                                                                                                                                      | 150,634,000円                                                                                                                                                                                                          | 115,484,000円           | 76.7%        |
|                                      | (2) 私立学童クラブ運営補助                                                                                                                                                         | 647,948,000円                                                                                                                                                                                                          | 589,903,452円           | 91.0%        |
| 事業実績                                 | ○令和7年度実績<br>学童クラブ需要が高い地域における受入体制の確保を目的に、令和7年4月に私立学童クラブ2か所を新たに開設し、当該地域における受入定員の拡充を図りました。                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                       |                        |              |
|                                      | 施設名                                                                                                                                                                     | 定員                                                                                                                                                                                                                    | 所在地                    |              |
|                                      | 富士見わんぱくひろば学童クラブ分室                                                                                                                                                       | 40人                                                                                                                                                                                                                   | 富士見一丁目1番6号 旧九段中学校敷地内建物 |              |
|                                      | スターチャイルド学童クラブ和泉橋                                                                                                                                                        | 40人                                                                                                                                                                                                                   | 東神田二丁目6番5号 東神田ビル1階     |              |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度<br>令和9年度予算への対応 | 学童クラブは、保護者の就労を支える重要な社会基盤であり、その安定的な運営を確保するため、継続的な支援を講じていくことが必要です。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、運営事業者との相互連携の下、学童クラブの安定的な事業運営に対する支援を実施し、待機児童ゼロの堅持及び学童クラブを必要とする全ての保護者の就労支援の充実を図ります。 |                                                                                                                                                                                                                       |                        |              |
| 所管課 子ども部 児童・家庭支援センター                 |                                                                                                                                                                         | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                 | 154頁                   | R7予算の概要 110頁 |

## 21 発達障害等の療育経費助成【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

### 将来像に向けた方向性

多様性を認めあう社会の実現に向けた取組みを推進する必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区障害福祉プラン)

|                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |            |             |            |              |            |            |
|------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------------|------------|--------------|------------|------------|
| 事業概要                                     | 内容<br>区は、発達障害等の子どもが安心して過ごすことができるとともに、保護者の経済的・精神的な負担を軽減できるよう、専門の療育機関等で相談や検査及び療育指導等を受けた場合に係る経費を助成しています。<br>令和7年度は、より支援が必要な子どもたち（障害者手帳所持者又は通所受給者証所持者）に対して助成上限額を月1万円から2万円に引き上げ、経済的負担をさらに軽減します。                                                                                                                                                                    |            |             |            |              |            |            |
| 事業費                                      | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |            | 決算額         |            | 執行率          |            |            |
|                                          | 17,945,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |            | 17,790,590円 |            | 99.1%        |            |            |
| 事業実績                                     | ○令和7年度実績<br>本事業の申請人数208人のうち、障害者手帳所持者又は通所受給者証所持者は113人であり、そのうち、上限引上げの適用者は77人でした。また、引上げによる追加助成額（1万円超過分）の合計は4,056,882円でした。                                                                                                                                                                                                                                        |            |             |            |              |            |            |
|                                          | 申請月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 令和7年度      |             | 令和6年度      |              | 令和5年度      |            |
|                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 申請件数       | 助成額         | 申請件数       | 助成額          | 申請件数       | 助成額        |
|                                          | 6月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 92件        | 4,737,490円  | 84件        | 3,955,279円   | 64件        | 2,699,257円 |
|                                          | 10月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 105件       | 5,726,603円  | 87件        | 3,664,942円   | 58件        | 2,056,494円 |
|                                          | 2月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 137件       | 7,326,497円  | 96件        | 4,113,513円   | 74件        | 3,136,078円 |
|                                          | 合計                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 334件(208人) | 17,790,590円 | 267件(198人) | 11,733,734円  | 196件(133人) | 7,891,829円 |
| ※かっこ内は、本事業を利用した児童数（実人員）を記載しています。         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |            |             |            |              |            |            |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度取組状況<br>令和9年度予算への対応 | 障害者手帳又は通所受給者証を所持する子どもに対して助成上限額の引上げを行ったことにより、より支援を必要とする層に対する保護者負担の軽減に寄与しています。申請件数及び助成額はいずれも年々増加しており、年齢層の広がりや障害特性の多様化に応じた支援ニーズが高まる中、引き続き子どもの発達課題を早期に把握し、療育へとつなぐ支援を継続していくことが必要です。<br>令和8年度は、申請者が利用しやすい制度となるよう、申請期間など手続きの改善に向けた検討を進めていきます。<br>令和9年度は、令和8年度の検討結果を踏まえて必要な見直し等を実施します。また、早期発見・早期療育を一層推進するため制度周知などを行うとともに、保護者の経済的及び精神的負担の軽減を図り、子どもの心身の発達を継続的に支援していきます。 |            |             |            |              |            |            |
| 所管課 子ども部 児童・家庭支援センター                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 決算参考書      |             | 156頁       | R7予算の概要 118頁 |            |            |

## 22 乳児等通園支援事業【補正予算】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

### 将来像に向けた方向性

子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区子ども・子育て支援事業計画)

|      |    |                                                                                                                                                                      |
|------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業概要 | 内容 | 令和6年6月に成立した子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律により、月一定時間まで、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる新たな制度として、乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）が創設されました。<br>令和7年度は、令和8年度からの制度の本格実施に向けて、ニーズや課題等を把握するため、試行的に事業を実施します。 |
|------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|     |             |            |       |
|-----|-------------|------------|-------|
| 事業費 | 予算現額        | 決算額        | 執行率   |
|     | 12,079,000円 | 4,454,580円 | 36.9% |

| 事業実績           | <p>○令和7年度実績</p> <p>(1) 試行的事業の実施</p> <p>令和8年度からの本格実施に向けて、令和8年1～3月の期間で区内在住の保育園等に通っていない0歳6か月から満3歳未満の乳児等を対象に、区内5つの施設（保育園、幼稚園、こども園）において試行的に通園支援事業を実施しました。また、利用者及び運営事業者へのアンケートを実施し、効果を検証しました。<br/>※主なアンケート結果：全体としての満足度は、「とても満足」（43%）、「おおむね満足」（50%）となっており、子どもの変化については「施設の先生や他園児と過ごすことができるようになった」（71%）、「新しいことに取り組む機会が増えた」（43%）といった回答がありました。</p> <p>(2) 利用人数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>試行的事業の受入施設</th><th>受入児童の年齢</th><th>利用人数<br/>(カッコ内は内訳)</th><th>延べ<br/>利用時間</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クレアナーサリー市ヶ谷</td><td>1歳</td><td>2人（1歳児2人）</td><td>53時間</td></tr> <tr> <td>あい・ぼーと「小さな家」麹町</td><td>1歳</td><td>3人（1歳児3人）</td><td>84時間30分</td></tr> <tr> <td>千代田せいが保育園</td><td>0～2歳</td><td>2人（0歳児1人・1歳児1人）</td><td>48時間</td></tr> <tr> <td>神田寺幼稚園</td><td>0～2歳</td><td>9人（0歳児4人・1歳児4人・2歳児1人）</td><td>110時間</td></tr> <tr> <td>区立いずみこども園</td><td>1・2歳</td><td>4人（1歳児3人・2歳児1人）</td><td>80時間</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>—</td><td>20人</td><td>375時間30分</td></tr> </tbody> </table> <p>※受入施設数が当初の見込みより少なかったため、執行率が低くなりました。</p> |                       |            | 試行的事業の受入施設 | 受入児童の年齢 | 利用人数<br>(カッコ内は内訳) | 延べ<br>利用時間 | クレアナーサリー市ヶ谷 | 1歳 | 2人（1歳児2人） | 53時間 | あい・ぼーと「小さな家」麹町 | 1歳 | 3人（1歳児3人） | 84時間30分 | 千代田せいが保育園 | 0～2歳 | 2人（0歳児1人・1歳児1人） | 48時間 | 神田寺幼稚園 | 0～2歳 | 9人（0歳児4人・1歳児4人・2歳児1人） | 110時間 | 区立いずみこども園 | 1・2歳 | 4人（1歳児3人・2歳児1人） | 80時間 | 合計 | — | 20人 | 375時間30分 |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|------------|------------|---------|-------------------|------------|-------------|----|-----------|------|----------------|----|-----------|---------|-----------|------|-----------------|------|--------|------|-----------------------|-------|-----------|------|-----------------|------|----|---|-----|----------|
| 試行的事業の受入施設     | 受入児童の年齢                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 利用人数<br>(カッコ内は内訳)     | 延べ<br>利用時間 |            |         |                   |            |             |    |           |      |                |    |           |         |           |      |                 |      |        |      |                       |       |           |      |                 |      |    |   |     |          |
| クレアナーサリー市ヶ谷    | 1歳                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 2人（1歳児2人）             | 53時間       |            |         |                   |            |             |    |           |      |                |    |           |         |           |      |                 |      |        |      |                       |       |           |      |                 |      |    |   |     |          |
| あい・ぼーと「小さな家」麹町 | 1歳                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 3人（1歳児3人）             | 84時間30分    |            |         |                   |            |             |    |           |      |                |    |           |         |           |      |                 |      |        |      |                       |       |           |      |                 |      |    |   |     |          |
| 千代田せいが保育園      | 0～2歳                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 2人（0歳児1人・1歳児1人）       | 48時間       |            |         |                   |            |             |    |           |      |                |    |           |         |           |      |                 |      |        |      |                       |       |           |      |                 |      |    |   |     |          |
| 神田寺幼稚園         | 0～2歳                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 9人（0歳児4人・1歳児4人・2歳児1人） | 110時間      |            |         |                   |            |             |    |           |      |                |    |           |         |           |      |                 |      |        |      |                       |       |           |      |                 |      |    |   |     |          |
| 区立いずみこども園      | 1・2歳                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 4人（1歳児3人・2歳児1人）       | 80時間       |            |         |                   |            |             |    |           |      |                |    |           |         |           |      |                 |      |        |      |                       |       |           |      |                 |      |    |   |     |          |
| 合計             | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 20人                   | 375時間30分   |            |         |                   |            |             |    |           |      |                |    |           |         |           |      |                 |      |        |      |                       |       |           |      |                 |      |    |   |     |          |

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和9年度予算への対応 | <p>子どもが家族以外の人と関わる機会を通じて成長・発達に資する豊かな経験を得るとともに、保護者の育児に対する孤立感や不安感を解消するため、保護者の就労要件を問わず柔軟に保育施設を利用できる環境を整える必要があります。</p> <p>令和8年度は、受入施設数を10施設に拡大するとともに、利用実績や利用ニーズの分析を進めることで、より利用しやすい事業運営に努めます。</p> <p>令和9年度は、子ども・子育て支援事業計画を踏まえ、引き続き乳児等の発達の促進と保護者の孤立感や不安感の解消に向けた取組みを進めます。</p> |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                 |       |      |         |   |
|-----------------|-------|------|---------|---|
| 所管課 子ども部 子育て推進課 | 決算参考書 | 158頁 | R7予算の概要 | - |
|-----------------|-------|------|---------|---|

## 23（仮称）四番町公共施設整備

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

### 将来像に向けた方向性

のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現していくことが必要である。

（関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン）

|                    |                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |              |        |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|--------|
| 事業概要               | 内容                                                                                                                                                                                        | <p>四番町保育園・児童館等施設は、四番町図書館、住宅等も含めた一体的な施設整備を行っています。</p> <p>新たな施設は安全・安心をベースとし、子育て機能の拡充と住みよい住環境の実現をコンセプトに、バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮とともに、自然エネルギー・再生可能エネルギー利用の促進など、居住者・利用者と環境に配慮した施設をめざしています。</p> <p>令和8年度の竣工に向けて、令和7年度も引き続き、新築工事を進めていきます。</p> <p>※工事費及び工事監理委託料の金額は、地域振興部、環境まちづくり部、政策経営部分を含む合計金額です。</p> |              |        |
|                    |                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |              |        |
| 事業費                | 予算現額                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 決算額          | 執行率    |
|                    | (1) 工事費                                                                                                                                                                                   | 901,000,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 901,000,000円 | 100.0% |
|                    | (2) 工事監理委託料                                                                                                                                                                               | 38,000,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 37,000,000円  | 97.4%  |
|                    | (3) 事務費                                                                                                                                                                                   | 7,448,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 1,765,604円   | 23.7%  |
| 事業実績               | <p>○令和7年度実績</p> <p>(1) 新築工事<br/>令和6年度に引き続き、新築工事を進めています。</p> <p>(2) 施設開設に向けた準備<br/>庁内検討会において、新施設への引っ越しのスケジュールや初度調弁の見通し等について確認・検討を行いました。</p> <p>※事務費については、設計修正業務が発生しなかったため、執行率が低くなりました。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |              |        |
| 実績を踏まえた令和9年度予算への対応 | <p>整備にあたっては、児童・園児・周辺地域等に十分配慮しながら工事を進めていくことが必要です。</p> <p>令和8年度は、令和7年度に引き続き、竣工に向けて新築工事を実施するとともに、施設開設に向けた準備を進めます。</p> <p>供用開始後は、児童・園児等が安全・安心に利用できるよう、施設の管理・運営に努めていきます。</p>                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |              |        |

所管課 子ども部 子ども施設課

決算参考書 158、202、210、218、236頁

R7予算の概要

116頁

## 24 住居確保給付金【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

### 将来像に向けた方向性

全ての区民が安心して健やかに日常生活を送れるよう、健康寿命の延伸に取り組むなど、適切な福祉サービスの提供が必要である。

|                                      |                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                             |            |              |
|--------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--------------|
| 事業概要                                 | 内容                                                                                                                                                                                   | 区は、離職等による収入の減少から住居を喪失又は失う恐れが高い方が、安定的に就職活動を行うことができるよう、家賃相当額を一定期間家主に対し支給しています。<br>令和7年度は、生活困窮者自立支援法の改正に伴い、家賃が低廉な住宅への転居のための初期費用を補助し、安定した住まいの確保と経済的自立に向けて支援します。 |            |              |
|                                      |                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                             |            |              |
| 事業費                                  | 予算現額                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                             | 決算額        | 執行率          |
|                                      | 8,559,000円                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                             | 1,813,800円 | 21.2%        |
| 事業実績                                 | ○令和7年度実績                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                             |            |              |
|                                      |                                                                                                                                                                                      | 令和7年度                                                                                                                                                       | 令和6年度      | 令和5年度        |
|                                      | 家賃補助                                                                                                                                                                                 | 5人                                                                                                                                                          | 8人         | 9人           |
|                                      | 転居費用補助                                                                                                                                                                               | 0人                                                                                                                                                          |            |              |
|                                      | ※家賃補助の申請件数が想定を下回ったことに加え、家賃が低廉な住宅への転居費用補助については、相談はあるものの収入の対象要件に該当しない等の理由で利用がなかったこと等により、執行率が低くなりました。                                                                                   |                                                                                                                                                             |            |              |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度<br>令和9年度予算への対応 | 住居確保給付金については、離職などで生活に困窮している方の住居の喪失を防止し、安定した就職活動の支援が目的であることから、ハローワーク等関係機関と連携して本事業を周知していくことが必要です。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、関係機関と連携し事業周知を継続することにより本事業の利用を促し、生活に困窮している方の生活の安定と福祉の向上を図っていきます。 |                                                                                                                                                             |            |              |
|                                      |                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                             |            |              |
| 所管課 保健福祉部 生活支援課                      |                                                                                                                                                                                      | 決算参考書                                                                                                                                                       | 160頁       | R7予算の概要 121頁 |

## 25 社会福祉協議会支援【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

### 将来像に向けた方向性

全ての区民が安心して健やかに日常生活を送れるよう、健康寿命の延伸に取り組むなど、適切な福祉サービスの提供が必要である。

(関連する主な分野別計画：千代田区地域福祉計画2022)

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                |               |              |              |                |                |               |              |              |      |      |      |      |     |     |        |        |      |      |      |     |             |      |      |     |     |   |
|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------|--------------|--------------|----------------|----------------|---------------|--------------|--------------|------|------|------|------|-----|-----|--------|--------|------|------|------|-----|-------------|------|------|-----|-----|---|
| 事業概要                                      | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 千代田区社会福祉協議会は、地域住民、ボランティア団体、企業等と協働し、区と連携しながら、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉活動に取り組んでいます。近年、ひとり暮らし高齢者の増加や地域を支える町会等の高齢化に伴う地域福祉活動の担い手不足などが課題となる中で、様々な地域福祉活動を支援している社会福祉協議会の役割が重要になっています。<br>令和7年度は、地域につながっていなかった方が気軽にに関わり合いを持ち、地域活動への参加意欲を持つきっかけとなるよう、住み慣れた生活圏域で講座やボランティア参加の場などを定期的に行うための運営補助等を行います。 |                |               |              |              |                |                |               |              |              |      |      |      |      |     |     |        |        |      |      |      |     |             |      |      |     |     |   |
|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                |               |              |              |                |                |               |              |              |      |      |      |      |     |     |        |        |      |      |      |     |             |      |      |     |     |   |
| 事業費                                       | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 決算額            |               | 執行率          |              |                |                |               |              |              |      |      |      |      |     |     |        |        |      |      |      |     |             |      |      |     |     |   |
|                                           | 305,701,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 299,293,719円   |               | 97.9%        |              |                |                |               |              |              |      |      |      |      |     |     |        |        |      |      |      |     |             |      |      |     |     |   |
| 事業実績                                      | ○令和7年度実績<br>(1) 新たな地域の居場所・つながりづくり<br>課題を抱えている方や地域で孤独・孤立を感じている区民が活躍できる機会を創出するための居場所づくりを行うとともに、ボランティア養成講座を開催し、ボランティア活動への参加促進を行いました。<br>①区民の居場所づくりイベント 全27回 参加者数：延べ214人<br>②居場所づくり講座（ボランティア養成） 全3回 参加者数：延べ74人<br>(2) サロン事業<br>地域の方々が公共施設や自宅などを活用して実施する、高齢者・障害者・子育て中の親子などを対象とした区民間の交流、居場所・生きがいづくり、健康増進などを目的とするサロン活動に対し、支援を行いました。                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                |               |              |              |                |                |               |              |              |      |      |      |      |     |     |        |        |      |      |      |     |             |      |      |     |     |   |
|                                           | <table><tr><td>名称</td><td>一番町<br/>みんなのサロン</td><td>アキバ<br/>みんなのサロン</td><td>三崎町<br/>はあとサロン</td><td>和泉<br/>はあとサロン</td><td>ちよだんご<br/>サロン</td></tr><tr><td>実施回数</td><td>100回</td><td>102回</td><td>114回</td><td>92回</td><td>42回</td></tr><tr><td>延べ参加者数</td><td>1,228人</td><td>796人</td><td>597人</td><td>771人</td><td>74人</td></tr><tr><td>延べボランティア活動数</td><td>300人</td><td>282人</td><td>57人</td><td>78人</td><td>—</td></tr></table> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                |               |              | 名称           | 一番町<br>みんなのサロン | アキバ<br>みんなのサロン | 三崎町<br>はあとサロン | 和泉<br>はあとサロン | ちよだんご<br>サロン | 実施回数 | 100回 | 102回 | 114回 | 92回 | 42回 | 延べ参加者数 | 1,228人 | 796人 | 597人 | 771人 | 74人 | 延べボランティア活動数 | 300人 | 282人 | 57人 | 78人 | — |
|                                           | 名称                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 一番町<br>みんなのサロン                                                                                                                                                                                                                                                                                     | アキバ<br>みんなのサロン | 三崎町<br>はあとサロン | 和泉<br>はあとサロン | ちよだんご<br>サロン |                |                |               |              |              |      |      |      |      |     |     |        |        |      |      |      |     |             |      |      |     |     |   |
|                                           | 実施回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 100回                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 102回           | 114回          | 92回          | 42回          |                |                |               |              |              |      |      |      |      |     |     |        |        |      |      |      |     |             |      |      |     |     |   |
| 延べ参加者数                                    | 1,228人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 796人                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 597人           | 771人          | 74人          |              |                |                |               |              |              |      |      |      |      |     |     |        |        |      |      |      |     |             |      |      |     |     |   |
| 延べボランティア活動数                               | 300人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 282人                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 57人            | 78人           | —            |              |                |                |               |              |              |      |      |      |      |     |     |        |        |      |      |      |     |             |      |      |     |     |   |
|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                |               |              |              |                |                |               |              |              |      |      |      |      |     |     |        |        |      |      |      |     |             |      |      |     |     |   |
|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                |               |              |              |                |                |               |              |              |      |      |      |      |     |     |        |        |      |      |      |     |             |      |      |     |     |   |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度の取組状況<br>令和9年度予算への対応 | 地域とのつながりのない方をはじめ、より多くの方が気軽に地域と関わる機会を創出するためには、サロン事業等の地域福祉活動のさらなる充実を図る必要があります。<br>令和8年度は、区民同士の交流につなげる場の充実に向けて、居場所・つながりづくり事業の区民への認知度向上を図るため、町会と連携した周知活動を実施しています。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、地域との関わりのきっかけづくりに取り組みます。また、支援を必要とする方を早期に把握し、適切な支援へつなげることができるよう、地域における支援機能の強化を図ります。<br>なお、令和8年度から「社会福祉協議会支援」の“新たな地域の居場所・つながりづくり”は「包括的相談支援体制の整備」として実施しています。                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                |               |              |              |                |                |               |              |              |      |      |      |      |     |     |        |        |      |      |      |     |             |      |      |     |     |   |
|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                |               |              |              |                |                |               |              |              |      |      |      |      |     |     |        |        |      |      |      |     |             |      |      |     |     |   |
| 所管課 保健福祉部 福祉総務課                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 決算参考書 162頁                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                | R7予算の概要 122頁  |              |              |                |                |               |              |              |      |      |      |      |     |     |        |        |      |      |      |     |             |      |      |     |     |   |

## 26 高齢者等住まい・生活支援【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

### 将来像に向けた方向性

全ての区民が安心して健やかに日常生活を送れるよう、健康寿命の延伸に取り組むなど、適切な福祉サービスの提供が必要である。

(関連する主な分野別計画：千代田区地域福祉計画2022)

|                             |                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                |            |              |
|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--------------|
| 事業概要                        | 内容                                                                                                                                                                                                                               | 高齢者など福祉的課題を抱える方々は、年齢や身体状況等を理由に住まいを探すことが難しいうえ、低廉な家賃の物件が少ない等の千代田区の地域特性から、住宅を確保することが困難な状況にあります。<br>令和7年度は、住まいの確保にお困りの高齢者等に対してきめ細やかな相談体制を整備するとともに、物件の紹介や見学、契約への同行等を行う住み替え支援を居住支援法人に委託することで、民間賃貸住宅への円滑な入居に向けて支援します。 |            |              |
| 事業費                         | 予算現額                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                | 決算額        | 執行率          |
|                             | 5,487,000円                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                | 4,364,104円 | 79.5%        |
| 事業実績                        | ○令和7年度実績<br>令和7年8月から居住支援法人に高齢者等住み替え相談窓口の委託を開始しました。これにより、既存の支援内容（区職員による相談対応、協力不動産店への引き継ぎ）に加え、新たに協力不動産店及び物件見学への同行、契約手続き支援、入居後の生活支援を実施するとともに、最初のヒアリングから、協力不動産店を活用した物件紹介及び不動産店と相談者のマッチング、契約手続きに至るまで一貫した支援体制を構築し、相談件数が前年度より大幅に増加しました。 |                                                                                                                                                                                                                |            |              |
|                             | ■高齢者等住み替え相談窓口の相談件数                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                |            |              |
|                             |                                                                                                                                                                                                                                  | 令和7年度                                                                                                                                                                                                          | 令和6年度      | 令和5年度        |
|                             | 相談件数                                                                                                                                                                                                                             | 27件                                                                                                                                                                                                            | 10件        | 9件           |
| 令和9年度予算への対応<br>実績を踏まえた評価・課題 | 相談者の抱える背景や事情は一人ひとり異なるため、個々のニーズや生活課題に応じて、関係機関と連携しながら支援を行うことが必要です。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、関係機関との連携を強化しつつ、住まいの確保にお困りの高齢者等に対してきめ細やかな相談支援を行い、一人でも多くの方の民間賃貸住宅への円滑な入居及び入居後の生活安定を図ります。                                                     |                                                                                                                                                                                                                |            |              |
| 所管課 保健福祉部 福祉総務課             |                                                                                                                                                                                                                                  | 決算参考書                                                                                                                                                                                                          | 162頁       | R7予算の概要 122頁 |

## 27 高齢者補聴器購入費助成【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

### 将来像に向けた方向性

全ての区民が安心して健やかに日常生活を送れるよう、健康寿命の延伸に取り組むなど、適切な福祉サービスの提供が必要である。

(関連する主な分野別計画：千代田区高齢者プラン)

|                                           |                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                  |  |       |      |      |         |     |          |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-------|------|------|---------|-----|----------|
| 事業概要                                      | 内容                                                                                                                                                                            | 区では、身体障害者手帳の交付対象とならない難聴の方を対象に、コミュニケーションの支援や福祉の増進を図るため、補聴器の購入費の一部を助成しています。<br>令和7年度は、難聴が認知症の危険因子とされていることを踏まえ、60歳以上の方を対象に、これまでの50,000円の助成上限額を引き上げ（住民税課税世帯：上限額72,450円／住民税非課税世帯：上限額144,900円）、高齢者のさらなる認知症リスク軽減につなげます。 |  |       |      |      |         |     |          |
| 事業費                                       | 予算現額                                                                                                                                                                          | 決算額                                                                                                                                                                                                              |  | 執行率   |      |      |         |     |          |
|                                           | 12,000,000円                                                                                                                                                                   | 8,753,650円                                                                                                                                                                                                       |  | 72.9% |      |      |         |     |          |
| 事業実績                                      | ○令和7年度実績<br>チラシの作成・配布による周知と加齢性難聴に関する普及啓発に取り組むとともに、区民健診との連携を図り、難聴検査の受診結果を医師意見書に代替できる取扱いとすることで、文書料の負担軽減を図るなど、利用しやすい環境整備を行いました。                                                  |                                                                                                                                                                                                                  |  |       |      |      |         |     |          |
|                                           | <table><tr><td>助成対象</td><td>助成件数</td></tr><tr><td>住民税課税世帯</td><td>73件</td></tr><tr><td>住民税非課税世帯</td><td>25件</td></tr></table>                                                 |                                                                                                                                                                                                                  |  |       | 助成対象 | 助成件数 | 住民税課税世帯 | 73件 | 住民税非課税世帯 |
| 助成対象                                      | 助成件数                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                  |  |       |      |      |         |     |          |
| 住民税課税世帯                                   | 73件                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                  |  |       |      |      |         |     |          |
| 住民税非課税世帯                                  | 25件                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                  |  |       |      |      |         |     |          |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度の取組状況<br>令和9年度予算への対応 | 難聴が認知症の危険因子とされていることを踏まえ、聴力の低下により日常生活に支障がある高齢者に対し、補聴器購入費用を助成することでコミュニケーションを支援し、認知症リスクの低減を図る必要があります。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、本事業の周知を図り、着実な事業の実施に努めるとともに、再交付を含めた制度の方向性などの検討をしていきます。 |                                                                                                                                                                                                                  |  |       |      |      |         |     |          |

|                 |       |      |         |      |
|-----------------|-------|------|---------|------|
| 所管課 保健福祉部 在宅支援課 | 決算参考書 | 166頁 | R7予算の概要 | 122頁 |
|-----------------|-------|------|---------|------|

## 28 高齢者サービス事業所産休・育休等代替職員確保助成【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

### 将来像に向けた方向性

全ての区民が安心して健やかに日常生活を送れるよう、健康寿命の延伸に取り組むなど、適切な福祉サービスの提供が必要である。

(関連する主な分野別計画：千代田区高齢者プラン)

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                              |            |         |       |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------|-------|
| 事業概要            | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                        | 区は、平成27年度から高齢者福祉サービスの質・量を安定的に供給するため、事業所に対して産休等を取得する介護職員等の代替職員雇用経費を助成することで、職員が安心して休暇を取得できる環境を整えています。<br>事業開始後9年以上が経過した現在、介護職員等の平均給与が事業開始時と比べて上昇している状況を踏まえ、令和7年度から助成上限額（月額）を20万円から25万円に引き上げます。 |            |         |       |
|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                              |            |         |       |
| 事業費             | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                              | 決算額        |         | 執行率   |
|                 | 7,000,000円                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                              | 2,500,000円 |         | 35.7% |
| 事業実績            | ○令和7年度実績<br>区内介護サービス事業所へ事業案内を郵送するとともに、介護サービス事業所に対する集団指導において、制度概要及び申請手続きについて説明を行い、制度の周知及び利用促進を図りました。                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                              |            |         |       |
|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                           | 令和7年度                                                                                                                                                                                        | 令和6年度      | 令和5年度   |       |
|                 | 助成件数                                                                                                                                                                                                                                                                      | 2件                                                                                                                                                                                           | 4件         | 2件      |       |
|                 | ※申請件数が想定を下回ったことにより、執行率が低くなりました。                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                              |            |         |       |
| 令和9年度予算への対応     | 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度の取組状況<br>高齢者福祉サービスの質・量を安定的に供給するためには、介護職員の離職防止と職場環境の安定化を図ることが重要です。<br>令和8年度は、区内介護サービス事業所への調査により制度の認知・利用状況を把握するなど、事業所の状況について分析を行うとともに、介護サービス事業所に対する集団指導及び介護サービス推進協議会において、制度を必要とする事業所への周知の強化に取り組んでいます。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、代替職員確保助成を行い、介護人材の定着促進を図ります。 |                                                                                                                                                                                              |            |         |       |
|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                              |            |         |       |
| 所管課 保健福祉部 高齢介護課 |                                                                                                                                                                                                                                                                           | 決算参考書                                                                                                                                                                                        | 170頁       | R7予算の概要 | 123頁  |

## 29 介護支援専門員研修費用助成【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

### 将来像に向けた方向性

全ての区民が安心して健やかに日常生活を送れるよう、健康寿命の延伸に取り組むなど、適切な福祉サービスの提供が必要である。

（関連する主な分野別計画：千代田区高齢者プラン）

|                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                           |         |       |              |
|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------|--------------|
| 事業概要                            | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 区は、平成30年度から介護支援専門員及び主任介護支援専門員の資格更新等に係る研修費用の一部助成（助成率：3／4）を開始し、経済的負担の軽減による人材の定着及び質の高いケアマネジメントの確保を図っています。<br>令和6年度に東京都が同様の事業を開始したことに伴い、区の助成額を見直し、都の助成額を差し引いた自己負担額を区独自に助成することで、介護支援専門員の人材確保及び定着のさらなる促進をめざします。 |         |       |              |
|                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                           |         |       |              |
| 事業費                             | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                           | 決算額     |       | 執行率          |
|                                 | 391,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                           | 60,000円 |       | 15.3%        |
| 事業実績                            | ○令和7年度実績<br>都事業による助成額への上乗せにより研修費用の全額を補助対象としたことから、区内介護サービス事業所へ事業案内を郵送するとともに、介護サービス事業所に対する集団指導において都制度との関係等の制度概要及び申請手続きについて説明を行い、制度の周知及び利用促進を図りました。                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                           |         |       |              |
|                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 令和7年度                                                                                                                                                                                                     | 令和6年度   | 令和5年度 |              |
|                                 | 補助件数                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 9件                                                                                                                                                                                                        | 13件     | 30件   |              |
| ※申請件数が想定を下回ったことにより、執行率が低くなりました。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                           |         |       |              |
| 令和9年度予算への対応<br>実績を踏まえた評価・課題     | 介護支援専門員の研修は資格更新サイクルに応じて受講者数が年度ごとに変動するため、年度間で偏りが生じますが、申請があった全件について交付決定を行いました。引き続き、介護人材の定着と質の高いケアマネジメントの実施を確保することが重要です。<br>令和8年度は、区内介護サービス事業所への調査により制度の認知・利用状況を把握するなど、事業所の状況について分析を行うとともに、介護サービス事業所に対する集団指導及び介護サービス推進協議会において、制度を必要とする事業所への周知の強化に取り組んでいます。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、研修費用助成を行い、介護支援専門員の確保及び定着促進を図ります。 |                                                                                                                                                                                                           |         |       |              |
|                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                           |         |       |              |
| 所管課 保健福祉部 高齢介護課                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                           | 決算参考書   | 170頁  | R7予算の概要 123頁 |

### 30 介護従事者永年勤続表彰【拡充】

|                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                |            |              |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--------------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                |            |              |
| お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                |            |              |
| 将来像に向けた方向性                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                |            |              |
| 全ての区民が安心して健やかに日常生活を送れるよう、健康寿命の延伸に取り組むなど、適切な福祉サービスの提供が必要である。<br>(関連する主な分野別計画：千代田区高齢者プラン) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                |            |              |
| 事業概要                                                                                    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 区は、長年にわたり区内の介護事業所に勤務している介護職員を表彰し、介護従事者を慰労するとともに勤務意欲を高め、質の高い介護サービスの提供や従事者の定着を図っています。<br>令和5年度に区内介護事業所に対して実施した介護人材実態調査によると、50歳代・20歳代の離職率が最も多い結果であったことから、令和7年度は、従来の勤続年数10年・20年の表彰に加え、新たに5年・30年の勤続年数を表彰対象として追加します。 |            |              |
|                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                |            |              |
| 事業費                                                                                     | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                | 決算額        | 執行率          |
|                                                                                         | 1,450,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                | 1,243,581円 | 85.8%        |
| 事業実績                                                                                    | ○令和7年度実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                |            |              |
|                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 令和7年度                                                                                                                                                                                                          | 令和6年度      | 令和5年度        |
|                                                                                         | 30年表彰                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 5名                                                                                                                                                                                                             | —          | —            |
|                                                                                         | 20年表彰                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 12名                                                                                                                                                                                                            | 6名         | 0名           |
|                                                                                         | 10年表彰                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 22名                                                                                                                                                                                                            | 11名        | 8名           |
|                                                                                         | 5年表彰                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 40名                                                                                                                                                                                                            | —          | —            |
|                                                                                         | 合計                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 79名                                                                                                                                                                                                            | 17名        | 8名           |
| 令和9年度予算への対応                                                                             | 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度の取組状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                |            |              |
|                                                                                         | 従来の勤続10年・20年表彰に加え、新たに5年・30年の表彰枠を設け、計79名の介護職員を表彰しました。新設区分を含む幅広い勤続年数の職員を対象としたことで、これまで以上に長年介護に従事してきた職員が自らの仕事に誇りを持つ契機となる表彰制度となりました。介護職員の確保・定着は区内介護サービスの質を維持するうえで継続して取り組むべき課題であるため、表彰制度を継続し勤務意欲を高めていくことが必要です。<br>令和8年度は、区内介護サービス事業所への調査により制度の認知・利用状況を把握するなど、事業所の状況について分析を行っています。<br>令和9年度は、令和8年度の分析結果を踏まえて必要な見直しを行いつつ、引き続き介護従事者永年勤続表彰の実施など、介護人材の定着促進を図ります。 |                                                                                                                                                                                                                |            |              |
| 所管課 保健福祉部 高齢介護課                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 決算参考書                                                                                                                                                                                                          | 170頁       | R7予算の概要 123頁 |

## 31 認知症支援サービス【拡充】

|                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                               |                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                               |                   |
| お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                               |                   |
| 将来像に向けた方向性                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                               |                   |
| 全ての区民が安心して健やかに日常生活を送れるよう、健康寿命の延伸に取り組むなど、適切な福祉サービスの提供が必要である。<br>(関連する主な分野別計画：千代田区高齢者プラン) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                               |                   |
| 事業概要                                                                                    | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <p>区内の認知症高齢者数は令和4年4月1日現在1,886人、軽度認知障害（MCI）高齢者は1,751人いると推計されています。今後、MCI相当の高齢者等の増加が予想される中、こうした方々の支援体制を充実させる必要があります。</p> <p>令和7年度は、令和6年度に引き続き、認知症やMCIの人にも自ら主体的に関わることができる「認知症とともによりよく生きるためのプログラム」（参加型アートプログラム）を、東京都健康長寿医療センター及び九段坂病院と三者共同で研究・開発し、令和9年度からの地域実装に向けて実証実験に取り組めます。</p> |                   |
| 事業費                                                                                     | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 決算額                                                                                                                                                                                                                                                                           | 執行率               |
|                                                                                         | 17,598,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 16,671,818円                                                                                                                                                                                                                                                                   | 94.7%             |
| 事業実績                                                                                    | <p>○令和7年度実績</p> <p>「認知症とともによりよく生きるためのプログラム」（参加型アートプログラム）三者共同研究・開発事業を実施しました。</p> <p>参加者：54人（認知症の診断あり14人、診断なし40人）※プログラム開始時点</p> <p>内 容：（1）アートプログラム先行コース：1回120分×6回<br/>五感を刺激し脳が活性化されることが期待される臨床美術の要素を盛り込んだプログラム及び認知症に対する理解を深めるための教育や心理的負担軽減などを目的とした参加者同士の交流等を実施しました。</p> <p>（2）健康講話先行コース：1回80分×6回<br/>認知症に関連する内容以外の健康に役立つ講話（運動・栄養・歯科口腔など）を実施しました。</p>                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                               |                   |
| 令和9年度予算への対応                                                                             | <p>実績を踏まえた評価・課題</p> <p>令和8年度は、プログラム参加者へのインタビュー調査の結果から、アート活動は「新しい挑戦の機会」や「自己表現の喜び」につながることが示唆されました。また、参加者同士の交流を通じて「認知症への理解や偏見の解消」や「相互理解の促進」に寄与することがうかがえました。さらに、認知症やMCIの診断後に生じやすい心理的不安や社会的孤立の軽減につながる可能性もうかがえ、診断後支援の一助となることが期待されます。</p> <p>令和8年度も参加型アートプログラムを継続的に実施して効果を検証するとともに、地域実装に向けたプログラムの構築を進めます。</p> <p>令和9年度は、令和6年度から3か年にわたり実施した実証実験の結果を基に、本プログラムを地域資源として活用することで、認知機能低下予防や社会参加を促します。また、九段坂病院をはじめとする医療機関との連携体制を強化し、診断直後の心理的不安の軽減や適切な支援の提供等を行い、診断後支援として機能させていきます。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                               |                   |
| 所管課 保健福祉部 在宅支援課                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                                                         | 172頁 R7予算の概要 124頁 |

## 32（仮称）神田錦町三丁目施設の整備【補正予算】

|                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                           |              |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                           |              |
| お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                           |              |
| 将来像に向けた方向性                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                           |              |
| 全ての区民が安心して健やかに日常生活を送れるよう、健康寿命の延伸に取り組むなど、適切な福祉サービスの提供が必要である。<br>（関連する主な分野別計画：千代田区高齢者プラン、千代田区障害福祉プラン） |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                           |              |
| 事業概要                                                                                                | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | <p>区は、障害等のある方や要介護高齢者などの増加を見据え、旧千代田保健所敷地において、障害者支援施設、高齢者施設及び地域交流機能を有する施設の整備を進めています。</p> <p>令和7年度は、既存施設の解体工事及び新施設の設計を行うとともに、建設工事に着手します。</p> <p>※事業費は、高齢介護課、障害者福祉課の合計です。</p> |              |
| 事業費                                                                                                 | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                           | 決算額          |
|                                                                                                     | (1) 解体工事                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                           | 執行率          |
|                                                                                                     | 334,646,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                           | 334,645,000円 |
|                                                                                                     | 100.0%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                           |              |
| 事業費                                                                                                 | (2) 実施設計                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                           | 51,786,000円  |
|                                                                                                     | 51,785,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                           | 100.0%       |
| 事業費                                                                                                 | (3) 事務費                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                           | 21,990,000円  |
|                                                                                                     | 20,381,700円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                           | 92.7%        |
| 事業実績                                                                                                | <p>○令和7年度実績</p> <p>(1) 既存施設の解体工事及び新施設の設計<br/>令和7年9月に解体工事及び新施設の実施設計を完了させ、新施設の建設に着手しました。</p> <p>(2) 施設の概要（予定）</p> <p>①整備地・敷地面積：神田錦町三丁目10番地 695.1㎡<br/>高さ：地上8階建て 31.69m（塔屋含む）<br/>延床面積：3,856.8㎡ 構造：RC造（免震）</p> <p>②主な機能<br/>高齢者施設：認知症対応型共同生活介護、看護小規模多機能型居宅介護、訪問看護ステーション<br/>障害者支援施設：日中サービス支援型共同生活援助、短期入所、移動支援、就労継続支援B型、障害者よろず相談、障害者就労支援センター<br/>共用施設：地域交流機能、福祉避難所、防災備蓄倉庫</p> |                                                                                                                                                                           |              |
| 令和9年度予算への対応                                                                                         | <p>当該施設は、区が初めてDBO方式で整備する複合施設です。地域に根付いた施設とするため、引き続き計画内容等について地域住民や関係者へ丁寧に説明を行うとともに、高齢者施設や障害者支援施設の運営事業者、DBO事業者と協議しながら、施設を整備します。</p> <p>令和8年度は、令和7年度に引き続き、新施設の建設工事を実施し、令和9年度の竣工・開設をめざすとともに、開設準備に必要な人材確保等の経費を区が補助することで、開設当初から安定した質の高いサービスの提供が行われるよう支援します。</p>                                                                                                                  |                                                                                                                                                                           |              |
| 所管課 保健福祉部 高齢介護課、障害者福祉課                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 決算参考書 178、180頁                                                                                                                                                            | R7予算の概要 125頁 |

### 33 出産・子育て支援【拡充】

#### 第4次基本構想のめざすべき姿等

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

#### 将来像に向けた方向性

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、環境整備を行う必要がある。（関連する主な分野別計画：千代田区子ども・子育て支援事業計画）

|      |    |                                                                          |
|------|----|--------------------------------------------------------------------------|
| 事業概要 | 内容 | (1) 妊婦のための支援給付<br>子ども・子育て支援法改正を受け、妊婦のための支援給付を開始します。                      |
|      |    | (2) バースデーサポート事業<br>アンケート回答者に支給するデジタルギフトを子ども一人あたり1万円分から6万円分に拡充します。        |
| 事業概要 | 内容 | (3) 産後ケア事業<br>デジタルクーポンシステムを導入し、さらなる利便性の向上を図ります。                          |
|      |    | (4) 卵子凍結費用等助成<br>卵子凍結に係る費用及び凍結卵子を使用した生殖補助医療に係る費用について助成を実施します。            |
| 事業概要 | 内容 | (5) 母子保健事業のデジタル化に向けた調査検討<br>電子母子健康手帳の試行導入や、集団健診のデジタル化に向けた課題整理・調査検討を進めます。 |

|     |              |              |       |
|-----|--------------|--------------|-------|
| 事業費 | 予算現額         | 決算額          | 執行率   |
|     | 212,724,000円 | 159,387,997円 | 74.9% |

| 事業実績               | ○令和7年度実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                   |        |     |     |     |        |                    |                   |                   |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|--------|-----|-----|-----|--------|--------------------|-------------------|-------------------|
|                    | <p>(1) 妊婦のための支援給付<br/>妊婦支援給付金を、妊娠時に5万円を697人へ、出産時に子ども一人あたり5万円を481人へ支給しました。</p> <p>(2) バースデーサポート事業<br/>2歳を迎える子どもを養育する家庭に、子育て支援の情報提供と育児に関するアンケートを行い、回答した468人へ、デジタルギフト6万円分を支給しました。</p> <p>(3) 産後ケア事業<br/>産後ケア事業を実施するとともに、利用の際に、自己負担を最大2,500円減額できるクーポンを一人あたり5枚配付しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>宿泊型</th><th>通所型</th><th>訪問型</th><th>減免クーポン</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実利用人数 175人 延べ 914日</td><td>実利用人数 80人 延べ 173日</td><td>実利用人数 68人 延べ 106日</td><td>741枚利用</td></tr> </tbody> </table> <p>(4) 卵子凍結費用等助成<br/>卵子凍結費用について、都助成後の自己負担に対し、1回10万円を上限に助成する事業を開始し、8件の助成を実施しました。</p> <p>(5) 母子保健事業のデジタル化に向けた調査検討<br/>デジタル化の推進に向け、令和8年度以降の方向性と取組内容を整理しました。</p> |                   |        | 宿泊型 | 通所型 | 訪問型 | 減免クーポン | 実利用人数 175人 延べ 914日 | 実利用人数 80人 延べ 173日 | 実利用人数 68人 延べ 106日 |
| 宿泊型                | 通所型                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 訪問型               | 減免クーポン |     |     |     |        |                    |                   |                   |
| 実利用人数 175人 延べ 914日 | 実利用人数 80人 延べ 173日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 実利用人数 68人 延べ 106日 | 741枚利用 |     |     |     |        |                    |                   |                   |

|             |                                                                                                                                                                                                                                                     |  |  |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| 令和9年度予算への対応 | 実績を踏まえた評価・課題                                                                                                                                                                                                                                        |  |  |
|             | <p>妊婦支援給付等により経済的支援の充実を進めた一方、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援のさらなる充実に向け、引き続き支援体制を強化する必要があります。</p> <p>令和8年度は、こども家庭センターを設置するとともに、妊娠後期における訪問支援を開始し、相談支援の体制を拡充します。</p> <p>令和9年度は、令和8年度に引き続き、こども家庭センターによる相談支援の充実を図るとともに、デジタル技術を活用しながら、伴走型相談支援と経済的支援を一体的に推進していきます。</p> |  |  |

|                   |       |      |         |      |
|-------------------|-------|------|---------|------|
| 所管課 保健福祉部 保健サービス課 | 決算参考書 | 182頁 | R7予算の概要 | 120頁 |
|-------------------|-------|------|---------|------|

## 34 不妊治療助成【拡充】

|                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                           |              |      |    |     |     |     |          |      |    |     |     |     |            |
|--------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|------|----|-----|-----|-----|----------|------|----|-----|-----|-----|------------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                           |              |      |    |     |     |     |          |      |    |     |     |     |            |
| 多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                           |              |      |    |     |     |     |          |      |    |     |     |     |            |
| 将来像に向けた方向性                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                           |              |      |    |     |     |     |          |      |    |     |     |     |            |
| 全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、環境整備を行う必要がある。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                           |              |      |    |     |     |     |          |      |    |     |     |     |            |
| 事業概要                                       | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 令和4年4月から体外受精などの特定不妊治療が保険適用となりましたが、これと併用して保険適用外の先進医療による治療を行っている方もいます。<br>令和7年度は、保険適用の治療と併用して実施された先進医療に係る費用について、都の助成額を差し引いた自己負担額を区独自に助成（上限額：5万円）することで、不妊治療に係る経済的負担の軽減を図ります。 |              |      |    |     |     |     |          |      |    |     |     |     |            |
| 事業費                                        | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 決算額                                                                                                                                                                       | 執行率          |      |    |     |     |     |          |      |    |     |     |     |            |
|                                            | 7,125,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 2,203,630円                                                                                                                                                                | 30.9%        |      |    |     |     |     |          |      |    |     |     |     |            |
| 事業実績                                       | ○令和7年度実績<br>(1) 特定不妊治療費（先進医療）助成<br>保険適用の特定不妊治療と併用して自費で実施した先進医療に係る費用について、都の助成額を差し引いた自己負担額に対し、1回50,000円を上限に助成しました。 <table><tr><td>申請者数</td><td>件数</td><td>助成額</td></tr><tr><td>33人</td><td>48件</td><td>978,130円</td></tr></table><br>(2) 不妊検査及び一般不妊治療費助成<br>不妊検査及び一般不妊治療に係る費用について、都の助成額を差し引いた自己負担額に対し、25,000円を上限に助成しました。 <table><tr><td>申請者数</td><td>件数</td><td>助成額</td></tr><tr><td>54人</td><td>54件</td><td>1,225,500円</td></tr></table><br>※申請件数が想定を下回ったことにより、執行率が低くなりました。 |                                                                                                                                                                           |              | 申請者数 | 件数 | 助成額 | 33人 | 48件 | 978,130円 | 申請者数 | 件数 | 助成額 | 54人 | 54件 | 1,225,500円 |
|                                            | 申請者数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 件数                                                                                                                                                                        | 助成額          |      |    |     |     |     |          |      |    |     |     |     |            |
| 33人                                        | 48件                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 978,130円                                                                                                                                                                  |              |      |    |     |     |     |          |      |    |     |     |     |            |
| 申請者数                                       | 件数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 助成額                                                                                                                                                                       |              |      |    |     |     |     |          |      |    |     |     |     |            |
| 54人                                        | 54件                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 1,225,500円                                                                                                                                                                |              |      |    |     |     |     |          |      |    |     |     |     |            |
| 令和9年度予算への対応<br>実績を踏まえた評価・課題                | 不妊治療助成の実施により、子どもを望む夫婦の経済的な負担軽減につながっている一方、さらなる制度の周知や対象者への適切な情報提供が必要です。<br>令和8年度は、対象者に対し制度の理解が促進されるよう、引き続き周知の充実を図るとともに、制度の利用状況を踏まえた運用の改善について検討します。<br>令和9年度は、令和8年度の検討状況や都の不妊治療助成の動向を踏まえ、より効果的な支援内容の充実に努めていきます。                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                           |              |      |    |     |     |     |          |      |    |     |     |     |            |
| 所管課 保健福祉部 保健サービス課                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 決算参考書 182頁                                                                                                                                                                | R7予算の概要 121頁 |      |    |     |     |     |          |      |    |     |     |     |            |

### 35 がん患者のウィッグ等購入費助成【拡充】

#### 第4次基本構想のめざすべき姿等

衛生的な環境のもと、いきいきと健康に暮らしています。

#### 将来像に向けた方向性

まちの衛生環境や健康危機の予防・対応体制の整備を推進するとともに、区民がいきいきと健康で生活し続けられるようにする必要がある。  
(関連する主な分野別計画：第三次健康千代田21)

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                |       |            |                                                                                                                                                                             |  |       |       |       |      |     |     |
|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-------|-------|-------|------|-----|-----|
| 事業概要                                      | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                             |       |            | 区は、がんの治療に伴う外見の変化に悩みを抱えている区民に対し、心理的及び経済的負担の軽減や療養生活の質の向上を図るため、ウィッグ（かつら）や胸部補整具等の購入費用の一部を助成しています。<br>令和7年度は、助成上限額を3万円から10万円に引き上げるとともに、申請回数を1回から2回に増やし、がん患者がより良い療養生活を送れるよう支援します。 |  |       |       |       |      |     |     |
| 事業費                                       | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                           |       | 決算額        | 執行率                                                                                                                                                                         |  |       |       |       |      |     |     |
|                                           | 6,033,000円                                                                                                                                                                                                                                                                     |       | 3,961,649円 | 65.7%                                                                                                                                                                       |  |       |       |       |      |     |     |
| 事業実績                                      | ○令和7年度実績<br>(1) 助成件数<br>46件（うち、2回目申請者6名）<br>＜内訳＞<br>・ウィッグ 38件<br>・胸部補整具 6件<br>・ウィッグと胸部補整具の両方 2件                                                                                                                                                                                |       |            |                                                                                                                                                                             |  |       |       |       |      |     |     |
|                                           | <table><tr><td></td><td>令和7年度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>助成件数</td><td>46件</td><td>18件</td><td>33件</td></tr></table><br>(2) 平均助成額<br>86,047円（1件あたり）                                                                                                           |       |            |                                                                                                                                                                             |  | 令和7年度 | 令和6年度 | 令和5年度 | 助成件数 | 46件 | 18件 |
|                                           | 令和7年度                                                                                                                                                                                                                                                                          | 令和6年度 | 令和5年度      |                                                                                                                                                                             |  |       |       |       |      |     |     |
| 助成件数                                      | 46件                                                                                                                                                                                                                                                                            | 18件   | 33件        |                                                                                                                                                                             |  |       |       |       |      |     |     |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度の取組状況<br>令和9年度予算への対応 | 助成金額及び申請回数を拡充したことにより、申請件数が伸びた一方で、アピアランスケアの多様なニーズに対応するため、対象品目を拡充していく必要があります。<br>令和8年度は、新たに頭皮冷却用キャップ、冷却用グローブ・ソックス、弾性着衣、エピテーゼ（補整用人工物、義眼等）を対象品目に追加するとともに、対象者を、がん以外の疾病や外傷により外見の変化に悩む方まで拡大しています。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、広報千代田や区のホームページ、がん拠点病院等を通じて対象者への制度周知を行い、がん患者等のより良い療養生活の支援を図ります。 |       |            |                                                                                                                                                                             |  |       |       |       |      |     |     |

|                 |       |      |         |      |
|-----------------|-------|------|---------|------|
| 所管課 保健福祉部 健康推進課 | 決算参考書 | 184頁 | R7予算の概要 | 126頁 |
|-----------------|-------|------|---------|------|

## 36 地域コミュニティ醸成支援【拡充】

|                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |       |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |       |
| 人とのつながりが感じられ、支えあうことができます。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |       |
| 将来像に向けた方向性                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |       |
| 地域の伝統的、文化的活動が継承される必要がある。  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |       |
| 事業概要                      | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <p>町会や連合町会は、防犯・防災、環境美化、高齢者や子どもの見守り、レクリエーションなど、身近な暮らしに関わる活動とともに住民相互の交流や災害時の助け合いなど、良好な地域社会の維持・形成に重要な役割を担う地域コミュニティの中核であり、区はこれまで様々な支援を行ってきました。一方で、ライフスタイルや価値観が多様化する中、町会加入率の低下や、町会活動への負担感に伴う担い手不足、役員の高齢化が課題となっており、地域のつながりの希薄化や組織の持続性が懸念されています。</p> <p>こうした状況を踏まえ、令和7年度は、町会関係者への聞き取りを行うなど、現状の課題を整理し、近隣・先進自治体の事例を調査します。</p> <p>調査・分析結果を基に、地域の特性や特徴に合わせた支援プログラムを作成し、各町会のニーズに応じたサポートを提供するほか、地域コミュニティ醸成と祭礼文化の継承に関する調査研究に取り組みます。</p> |       |
| 事業費                       | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 決算額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 執行率   |
|                           | 26,209,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 23,301,673円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 88.9% |
| 事業実績                      | <p>○令和7年度実績</p> <p>(1) コミュニティ醸成支援事業<br/>コミュニティ活動を行う団体間の連携や協働をテーマとした交流会等（計5回・89名参加）のほか、コミュニティ活動の魅力発信や参加促進に向けた町会関係者、活動団体等による意見交換（計5回・25名参加）、交流イベントとして「ちよだコミュニティラボライブ！」（76名参加）を実施しました。</p> <p>(2) 町会アンケート等の実施・分析及び支援プログラムの構築<br/>町会アンケートの実施・分析とヒアリング、先進事例の調査を踏まえ、「町会支援プログラム」を構築し、3団体の支援を開始しました。</p> <p>(3) 祭礼文化の調査研究<br/>本区の祭礼が有する文化的価値、コミュニティ的価値の分析を通じて、地域コミュニティにおける祭礼の役割を確認しました。また、その成果をシンポジウムや報告書により取りまとめ、発信しました。</p>                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |       |
| 令和9年度予算への対応               | <p>実績を踏まえた評価・課題<br/>令和8年度の取組状況</p> <p>区は、コミュニティ活動を行う多様な団体の関係構築や連携推進の支援を行うとともに、地域コミュニティの中核を担う町会や連合町会の持続可能性を高めるため、運営支援を行いつつ、若年・ミドル世代、とりわけ単身者の地域参画促進に取り組んでいます。</p> <p>令和8年度は、コミュニティ活動団体への支援手法の見直しを行うとともに、町会支援プログラムの対象として20団体を目途に運営改善や加入促進に向けた伴走支援を実施します。あわせて、若年・ミドル世代の単身者向け参画促進施策と、江戸文化の普及啓発施策を展開し、幅広い区民の地域への理解と愛着を育みます。</p> <p>令和9年度は、令和8年度の見直しを踏まえた新たな支援手法により、地域活動を始めたい区民の後押しや仲間づくりを進めるとともに、引き続き町会支援や祭礼文化継承支援に関する取組みを行いながら、若年・ミドル世代の継続的な地域参画を促し、地域コミュニティの活性化を図ります。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |       |
| 所管課                       | 地域振興部 コミュニティ総務課                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 192頁  |
|                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | R7予算の概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 135頁  |

### 37 コミュニティ活動事業助成【拡充】

#### 第4次基本構想のめざすべき姿等

人とのつながりが感じられ、支えあうことができます。

#### 将来像に向けた方向性

地域の伝統的、文化的活動が継承される必要がある。

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                       |                |             |             |
|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-------------|-------------|
| 事業概要                        | 内容<br>区は、コミュニティの活性化を目的に、町会や商店街等の地域の団体が行う、区民・昼間区民等誰もが参加できるイベント等のコミュニティ活動に対し、事業費の一部を助成金として交付しています。<br>夏期に実施するイベントについては、熱中症等の防止や暑さ対策が課題となっています。<br>令和7年度は、納涼大会や子どもまつり等の夏期のイベントにおいて、熱中症対策備品の購入・レンタル代などの酷暑対策に要する費用を助成（助成率：2／3、上限額：3万5千円）し、安全に実施できるよう支援します。 |                |             |             |
| 事業費                         | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                  | 決算額            | 執行率         |             |
|                             | 16,400,000円                                                                                                                                                                                                                                           | 12,576,424円    | 76.7%       |             |
| 事業実績                        | ○令和7年度実績                                                                                                                                                                                                                                              |                |             |             |
|                             | ■助成実績                                                                                                                                                                                                                                                 |                |             |             |
|                             |                                                                                                                                                                                                                                                       | 令和7年度          | 令和6年度       | 令和5年度       |
|                             | 助成事業数<br>（うち酷暑対策事業数）                                                                                                                                                                                                                                  | 58事業<br>（36事業） | 62事業        | 54事業        |
|                             | 延べ助成団体数                                                                                                                                                                                                                                               | 100団体          | 95団体        | 84団体        |
|                             | 助成額                                                                                                                                                                                                                                                   | 12,576,424円    | 11,868,783円 | 10,365,735円 |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和9年度予算への対応 | 助成金の交付団体数・交付額はいずれも増加し、新たに区民となった方や事業所の参画、子どもたちの行事参加などを通じて、地域コミュニティの活性化に寄与しました。酷暑対策費用助成も、対象期間中の多くの事業で活用され、熱中症対策の定着に効果が見られました。一方で、物価・光熱費の高騰により団体側の事業コスト上昇への対応が課題となっています。                                                                                 |                |             |             |
|                             | 令和8年度は、助成限度額を引き上げ（1団体での実施20万円／2団体以上での実施40万円／3団体以上での実施60万円）、コミュニティ活動支援を拡充します。あわせて、地域団体等が実施する祭礼文化関連の啓発イベントを新たに助成対象に加え、祭礼文化の継承を後押しします。<br>令和9年度も、令和8年度に引き続き、地域コミュニティの活性化と担い手の裾野拡大を図ります。                                                                  |                |             |             |

|                     |       |      |         |      |
|---------------------|-------|------|---------|------|
| 所管課 地域振興部 コミュニティ総務課 | 決算参考書 | 192頁 | R7予算の概要 | 135頁 |
|---------------------|-------|------|---------|------|

## 38 ジェンダー平等推進行動計画改定に向けた調査検討【新規】

|                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                      |            |              |      |     |     |     |                   |        |      |       |                      |        |      |       |       |        |      |       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--------------|------|-----|-----|-----|-------------------|--------|------|-------|----------------------|--------|------|-------|-------|--------|------|-------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                      |            |              |      |     |     |     |                   |        |      |       |                      |        |      |       |       |        |      |       |
| 基本構想の実現に向けて（（2）多様性を尊重し認めあう社会づくり）                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                      |            |              |      |     |     |     |                   |        |      |       |                      |        |      |       |       |        |      |       |
| 将来像に向けた方向性                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                      |            |              |      |     |     |     |                   |        |      |       |                      |        |      |       |       |        |      |       |
| ジェンダー平等社会、人権尊重社会を実現する必要がある。<br>（関連する主な分野別計画：第6次千代田区ジェンダー平等推進行動計画）                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                      |            |              |      |     |     |     |                   |        |      |       |                      |        |      |       |       |        |      |       |
| 事業概要                                                                                                            | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 区は、令和4年3月に「第6次千代田区ジェンダー平等推進行動計画」を策定し、「性別による不平等がなく、だれもが自分で生き方を選ぶことができ、その選択が認められて参画できる社会の実現」を基本理念に掲げ、ジェンダー平等に関する理解の促進や、配偶者暴力防止、LGBTQへの支援、女性の活躍推進など、様々な施策に取り組んできました。<br>令和7年度は、第6次計画が令和8年度で終了するため、区民・事業所を対象に、これまでの取り組みの成果や意識の変化等を調査・分析したうえで、男女平等推進区民会議において次期計画の検討を行います。 |            |              |      |     |     |     |                   |        |      |       |                      |        |      |       |       |        |      |       |
| 事業費                                                                                                             | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                      | 決算額        | 執行率          |      |     |     |     |                   |        |      |       |                      |        |      |       |       |        |      |       |
|                                                                                                                 | 8,490,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                      | 7,496,500円 | 88.3%        |      |     |     |     |                   |        |      |       |                      |        |      |       |       |        |      |       |
| 事業実績                                                                                                            | ○令和7年度実績<br>（1）千代田区ジェンダーに関する意識・実態調査の実施<br>区民のジェンダー平等や男女共同参画についての考え方及び区内事業所における育児・介護休業や女性の活躍推進に向けた取組状況等を把握し、第7次計画の策定に向けた基礎資料とすることを目的にアンケート調査を実施しました。                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                      |            |              |      |     |     |     |                   |        |      |       |                      |        |      |       |       |        |      |       |
|                                                                                                                 | <table><tr><td>調査対象</td><td>配布数</td><td>回答数</td><td>回答率</td></tr><tr><td>区民<br/>（満18歳以上の区民）</td><td>1,500件</td><td>385件</td><td>25.7%</td></tr><tr><td>青少年<br/>（満13歳～17歳の区民）</td><td>1,500件</td><td>335件</td><td>22.3%</td></tr><tr><td>区内事業所</td><td>1,100件</td><td>197件</td><td>17.9%</td></tr></table> |                                                                                                                                                                                                                                                                      |            |              | 調査対象 | 配布数 | 回答数 | 回答率 | 区民<br>（満18歳以上の区民） | 1,500件 | 385件 | 25.7% | 青少年<br>（満13歳～17歳の区民） | 1,500件 | 335件 | 22.3% | 区内事業所 | 1,100件 | 197件 | 17.9% |
|                                                                                                                 | 調査対象                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 配布数                                                                                                                                                                                                                                                                  | 回答数        | 回答率          |      |     |     |     |                   |        |      |       |                      |        |      |       |       |        |      |       |
|                                                                                                                 | 区民<br>（満18歳以上の区民）                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 1,500件                                                                                                                                                                                                                                                               | 385件       | 25.7%        |      |     |     |     |                   |        |      |       |                      |        |      |       |       |        |      |       |
|                                                                                                                 | 青少年<br>（満13歳～17歳の区民）                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 1,500件                                                                                                                                                                                                                                                               | 335件       | 22.3%        |      |     |     |     |                   |        |      |       |                      |        |      |       |       |        |      |       |
| 区内事業所                                                                                                           | 1,100件                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 197件                                                                                                                                                                                                                                                                 | 17.9%      |              |      |     |     |     |                   |        |      |       |                      |        |      |       |       |        |      |       |
| （2）男女平等推進区民会議の開催（令和7年6月18日、11月17日、令和8年1月28日、3月9日）<br>第6次計画の進捗状況、千代田区ジェンダーに関する意識・実態調査の結果報告等、第7次計画策定に向けた検討を行いました。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                      |            |              |      |     |     |     |                   |        |      |       |                      |        |      |       |       |        |      |       |
| 第7次計画策定にあたっては、ジェンダー平等の意識づくりや女性の活躍推進、DV・ハラスメント等の相談・支援等の関連施策を庁内横断的に検討する必要があります。                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                      |            |              |      |     |     |     |                   |        |      |       |                      |        |      |       |       |        |      |       |
| 令和8年度は、国や都の動向や令和7年度の調査結果及び区民会議からの意見を踏まえ、第7次計画を策定します。                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                      |            |              |      |     |     |     |                   |        |      |       |                      |        |      |       |       |        |      |       |
| 令和9年度は、第7次計画で定める目標の達成に向け、ジェンダー平等施策を推進します。                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                      |            |              |      |     |     |     |                   |        |      |       |                      |        |      |       |       |        |      |       |
| 令和9年度予算への対応                                                                                                     | 実績を踏まえた評価・課題                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                      |            |              |      |     |     |     |                   |        |      |       |                      |        |      |       |       |        |      |       |
| 所管課 地域振興部 国際平和・男女平等・人権課                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                                                | 194頁       | R7予算の概要 136頁 |      |     |     |     |                   |        |      |       |                      |        |      |       |       |        |      |       |

### 39 戦後80年平和事業【新規】

#### 第4次基本構想のめざすべき姿等

基本構想の実現に向けて（（2）多様性を尊重し認めあう社会づくり）

#### 将来像に向けた方向性

国際交流・協力や平和活動、多文化共生施策を推進する必要がある。

|                                           |                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                  |            |                       |
|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----------------------|
| 事業概要                                      | 内容                                                                                                                             | 区は、平成7年3月に「国際平和都市千代田区宣言」を行い、平和意識の醸成のための啓発活動や事業に取り組んできました。<br>戦争経験者が高齢化し、戦争の記憶を語り継げる人々が年々減少している中で、若い世代に伝え、戦争体験を風化させることなく平和への意識を高めていくことは、喫緊の課題です。<br>令和7年度は、戦後80年の機を捉え、平和に関する動画の制作や戦跡マップの改訂、企画展などを実施し、戦争の悲惨さ、平和の尊さを考える機会を提供していきます。 |            |                       |
| 事業費                                       | 予算現額                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                  | 決算額        | 執行率                   |
|                                           | 2,772,000円                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                  | 1,992,750円 | 71.9%                 |
| 事業実績                                      | ○令和7年度実績<br>(1) 戦後80年平和事業動画の制作<br>戦争体験者及び平和使節団員へのインタビュー等を収録し、区ホームページ・春の平和イベント展示会場で公開しました。<br>(2) 平和（戦跡）マップの改訂<br>(3) 平和イベントの実施 |                                                                                                                                                                                                                                  |            |                       |
|                                           |                                                                                                                                | 夏の平和イベント                                                                                                                                                                                                                         |            | 春の平和イベント              |
|                                           | 開催日                                                                                                                            | 令和7年8月9日～<br>8月17日<br>(シールラリーは9月14日まで)                                                                                                                                                                                           |            | 令和8年3月3日～<br>3月15日    |
|                                           | 来場者数                                                                                                                           | 477名                                                                                                                                                                                                                             |            | 529名                  |
|                                           | 実施内容                                                                                                                           | 平和展示会、展示解説会、シールラリー                                                                                                                                                                                                               |            | 平和展示会、映画上映会「この世界の片隅に」 |
|                                           |                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                  |            |                       |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度の取組状況<br>令和9年度予算への対応 | 本事業は、戦後80年平和事業のため、令和7年度で完了しました。<br>今後も幅広い世代の方々の平和意識の醸成につながるよう、啓発活動や事業に取り組んでいきます。                                               |                                                                                                                                                                                                                                  |            |                       |

所管課 地域振興部 国際平和・男女平等・人権課

決算参考書

194頁

R7予算の概要

136頁

## 40 個人宅向け防犯機器等購入緊急補助【補正予算】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

### 将来像に向けた方向性

安全で快適なまちづくりを進める必要がある。

|                        |                                                                                             |                                                                                                                                                 |            |            |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|
| 事業概要                   | 内容                                                                                          | 近年、凶悪な侵入窃盗事件等が全国で発生しており、区民の防犯意識が高まっています。<br>令和7年度は、侵入窃盗被害を防止し、区民の安全・安心確保の観点から、個人宅への防犯カメラ・カメラ付きインターホンなどの防犯機器購入・設置に係る補助（補助率10/10、補助限度額：4万円）を行います。 |            |            |
|                        |                                                                                             |                                                                                                                                                 |            |            |
| 事業費                    | 予算現額                                                                                        |                                                                                                                                                 | 決算額        | 執行率        |
|                        | 10,000,000円                                                                                 |                                                                                                                                                 | 9,196,000円 | 92.0%      |
| 事業実績                   | ○令和7年度実績<br>269世帯への補助を実施しました。                                                               |                                                                                                                                                 |            |            |
|                        | ■補助実績                                                                                       |                                                                                                                                                 |            |            |
|                        |                                                                                             | 対象品目                                                                                                                                            | 品目数        | 補助額        |
|                        | 1                                                                                           | カメラ付きインターホン                                                                                                                                     | 159件       | 5,336,400円 |
|                        | 2                                                                                           | 防犯カメラ                                                                                                                                           | 81件        | 2,461,500円 |
|                        | 3                                                                                           | 人感センサー（センサーカメラ・センサーライト）                                                                                                                         | 35件        | 545,300円   |
|                        | 4                                                                                           | 補助錠                                                                                                                                             | 26件        | 531,800円   |
|                        | 5                                                                                           | 防犯フィルム                                                                                                                                          | 14件        | 269,000円   |
|                        | 6                                                                                           | その他（面格子・センサーアラーム・ダミーカメラ）                                                                                                                        | 7件         | 52,000円    |
| 令和8年度実績<br>令和9年度予算への対応 | ※1件の申請で複数品目の申請があった場合を含めます。                                                                  |                                                                                                                                                 |            |            |
|                        | 令和8年度は、令和7年度に引き続き、個人宅における防犯機器購入・設置に係る補助を行い、安全・安心の確保を促進します。<br>本事業は、時限事業であるため、令和8年度で完了となります。 |                                                                                                                                                 |            |            |

所管課 地域振興部 安全生活課

決算参考書

194頁

R7予算の概要

-

## 41 物価高騰対策区民の暮らし支援事業【補正予算】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

### 将来像に向けた方向性

全ての区民が安心して健やかに日常生活を送れるよう、健康寿命の延伸に取り組むなど、適切な福祉サービスの提供が必要である。

|      |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業概要 | 内容 | 令和7年度も令和6年度に引き続き国の補正予算が成立したことを受け、追加で措置された「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、プリペイド型ギフトカードを配付します。<br>(1) 第1弾（令和6年度繰越分）<br>【対象者】令和7年3月17日現在において区の住民基本台帳に記録されている者等<br>【内容】区民1人につきプリペイド型ギフトカード5,000円分を配付<br>(2) 第2弾（令和7年度補正予算分）<br>【対象者】令和8年1月1日現在において区の住民基本台帳に記録されている者等<br>【内容】区民1人につきプリペイド型ギフトカード10,000円分を配付 |
|      |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

|     |                |              |       |
|-----|----------------|--------------|-------|
| 事業費 | 予算現額           | 決算額          | 執行率   |
|     | 1,262,238,000円 | 407,799,760円 | 32.3% |

|      |                                                                 |                                                                         |                     |
|------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 事業実績 | ○令和7年度実績                                                        |                                                                         |                     |
|      |                                                                 | 第1弾<br>(令和6年度繰越分)                                                       | 第2弾<br>(令和7年度補正予算分) |
|      | 予算額                                                             | 490,720千円                                                               | 771,518千円           |
|      | 事業実績                                                            | 令和7年7月30日 発送<br>令和7年8月29日 再発送<br>令和7年12月19日 コールセンター終了<br>令和8年3月31日 事業終了 | 区民周知用の広報物作成等        |
|      | 配付数                                                             | 66,372件                                                                 | —                   |
|      | 決算額                                                             | 407,233,260円                                                            | 566,500円            |
|      | ※第2弾事業は、令和8年度にかけて事業を実施することに伴い、執行率が低くなりました（予算の一部を令和8年度に繰り越しました）。 |                                                                         |                     |

|             |                                                                                                                                                                                                      |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和9年度予算への対応 | 令和7年度に実施した物価高騰対策（第1弾事業）では、コールセンターやセキュリティ体制を新たに構築し、ギフトカードを円滑に配付しました。一方で、制度内容や配付方法に関する問い合わせ・ご意見が多く寄せられ、周知方法の改善が課題となりました。                                                                               |
|             | 令和8年度は、物価高騰対策（第2弾事業）として、4月から段階的にギフトカードを配付します。第1弾で構築した運営・セキュリティ体制を引き続き活用し、効率的な実施と経費の圧縮を図ります。あわせて、令和7年度に寄せられた意見を踏まえ、同封チラシやポスター等に必要な情報を明記するなど、広報内容を見直し、わかりやすさの向上に努めます。<br>なお、本事業は時限事業であるため、令和8年度で完了します。 |

|     |                                   |       |      |         |   |
|-----|-----------------------------------|-------|------|---------|---|
| 所管課 | 地域振興部 コミュニティ総務課<br>(コミュニティ政策担当課長) | 決算参考書 | 196頁 | R7予算の概要 | — |
|-----|-----------------------------------|-------|------|---------|---|

## 42 内幸町ホール改修整備関連事業【新規】

|                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                          |              |              |
|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|--------------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                          |              |              |
| 伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。                            |                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                          |              |              |
| 将来像に向けた方向性                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                          |              |              |
| 歴史、文化、芸術活動を身近に感じる機会を提供することが必要である。<br>(関連する主な分野別計画：千代田区文化芸術プラン（第四次）) |                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                          |              |              |
| 事業概要                                                                | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                     | <p>文化芸術拠点施設の一つである内幸町ホールは、築後28年が経過し、設備の老朽化が進んでいることから、令和6年度は大規模改修工事に向けた基本・実施設設計を行いました。</p> <p>令和7年度は、令和8年度の供用開始をめざし、施設の改修工事に着手します。</p> <p>なお、内幸町ホールの閉館中は、区民団体等が継続して文化活動を行えるよう、民間ホール等を使用する際の使用料を補助（上限額：1団体につき24万円）します。あわせて、民間ホールとの連携協力を進め、区民団体等が民間ホールを利用しやすい環境を整えていきます。</p> |              |              |
| 事業費                                                                 | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                          | 決算額          | 執行率          |
|                                                                     | (1) 工事費                                                                                                                                                                                                                                                                | 601,841,000円                                                                                                                                                                                                                                                             | 535,100,000円 | 88.9%        |
|                                                                     | (2) 工事監理委託料                                                                                                                                                                                                                                                            | 19,545,000円                                                                                                                                                                                                                                                              | 13,865,000円  | 70.9%        |
|                                                                     | (3) 事務費                                                                                                                                                                                                                                                                | 4,215,000円                                                                                                                                                                                                                                                               | 2,414,165円   | 57.3%        |
|                                                                     | (4) 内幸町ホール代替施設利用補助                                                                                                                                                                                                                                                     | 2,380,000円                                                                                                                                                                                                                                                               | 240,000円     | 10.1%        |
| 事業実績                                                                | <p>○令和7年度実績</p> <p>(1) 改修工事<br/>ホール内の備品の整理を行ったのち、令和7年8月から改修工事に着手しました。なお、入札不調による工期延長に伴い、供用開始を令和8年度から令和9年度に変更しました。</p> <p>(2) 内幸町ホール代替施設利用補助<br/>補助実績：1件</p> <p>※事務費については、改修工事に係る廃棄物の収集運搬及び処分業務の契約差金により、内幸町ホール代替施設利用補助については、10団体の申請を想定していましたが、1団体となったため、執行率が低くなりました。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                          |              |              |
| 令和9年度予算への対応<br>実績を踏まえた評価・課題                                         | <p>改修にあたっては、ホール利用者・周辺地域等に十分配慮しながら工事を進めていく必要があります。</p> <p>令和8年度は、令和7年度に引き続き、令和9年度の竣工をめざして改修工事を実施するとともに、再開に向けた準備を進めます。</p>                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                          |              |              |
| 所管課 地域振興部 文化振興課                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                        | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                                                    | 196頁         | R7予算の概要 130頁 |

## 43 融資事務費【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。

### 将来像に向けた方向性

企業の持続的な成長によって地域を活性化する必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区産業振興基本計画)

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                       |             |                   |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------------|
| 事業概要        | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 区は、中小企業者の経営安定化を支援するため、中小企業診断士による経営相談を行っています。<br>令和7年度は、Web予約やオンライン相談を可能とするため、新たなシステムを導入します。予約時に相談内容に応じた相談員の選択もでき、利用者のさらなる利便性の向上を図ります。 |             |                   |
|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                       |             |                   |
| 事業費         | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                       | 決算額         | 執行率               |
|             | 17,657,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                       | 12,296,936円 | 69.6%             |
| 事業実績        | <p>○令和7年度実績</p> <p>経営相談受付システムを導入しました。</p> <p>(1) 相談予約のWeb受付開始</p> <p>相談予約をWebで受け付けることで、開庁時間外でも予約が可能になり、利用者の利便性が向上しました。また、予約時に相談内容に応じた専門性を有する相談員の選択も可能になりました。</p> <p>(2) オンライン相談の開始</p> <p>利用者の都合に合わせて、オンラインでの相談も選択可能になり、利用者の利便性が向上しました。</p>                                                                                          |                                                                                                                                       |             |                   |
| 令和9年度予算への対応 | <p>実績を踏まえた評価・課題</p> <p>令和8年度の取組状況</p> <p>Web予約、相談員の選択、オンライン相談の3機能が利用可能となり、利便性が大きく向上したことから、相談予約・実施件数も着実に推移し、相談機会の裾野拡大に成果が表れています。</p> <p>一方で、利用者の相談ニーズや利用環境は多様であることから、オンライン相談対応に係る環境整備と体制強化が必要です。</p> <p>令和8年度は、令和7年度に引き続き、経営相談を実施するとともに、利用者が希望する相談方法を円滑に選択できるよう環境整備と相談員の対応力向上を進めます。</p> <p>令和9年度は、利用状況やニーズを踏まえ、必要な機能改修を計画的に実施します。</p> |                                                                                                                                       |             |                   |
| 所管課         | 地域振興部 商工観光課<br>(産業企画担当課長)                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                       | 決算参考書       | 200頁 R7予算の概要 133頁 |

## 44 地方との連携支援【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。

### 将来像に向けた方向性

区内の魅力ある資源を効果的に発信するとともに、地方との連携を進める必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区産業振興基本計画)

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |              |                |                |               |              |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|----------------|----------------|---------------|--------------|
| 事業概要        | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 都市と地方は、人材はもとより、食料品や電気や水などのライフラインに係る資源について、深く関わり合いながら活動しています。区は、共生の理念に基づき地方と共に発展していくため、平成30年に「千代田区における地方との連携のあり方」を策定しました。<br>令和7年度は、中央区との共催で、地方都市を応援するスタンプラリーを実施します。スタンプラリーでは、謎解きゲームを楽しみながら、区内の各アンテナショップを巡ることができます。<br>同時に、有楽町駅前広場で連携自治体等によるマルシェを開催し、より多くの区民等が地方の魅力に触れられる機会を創出し、地方と都市の連携を図ります。 |              |                |                |               |              |
| 事業費         | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 決算額          |                | 執行率            |               |              |
|             | 20,109,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 17,065,059円  |                | 84.9%          |               |              |
| 事業実績        | ○令和7年度実績<br>(1) 千代田区×中央区アンテナショップスタンプラリー2025の実施<br>中央区及び株式会社東京交通会館と連携し、令和7年9月26日～10月23日の期間で各種イベントを開催しました。<br>①スタンプラリー：参加者数5,486名<br>②謎解きラリー：参加者数783名<br>③スイーツ人気投票：参加者数120名<br>④物産展（令和7年9月27日 有楽町駅前広場）：延べ来場者数115,662名<br>(2) ちよだ地方連携ネットワーク事業の実施<br>①地域体験ツアー（区内在住親子対象）<br>西伊豆町：参加者8組16名、五城目町：参加者4組8名<br>②食セミナー（6回） |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |              |                |                |               |              |
|             | テーマ                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | おやき<br>（親子）                                                                                                                                                                                                                                                                                   | がんづき<br>（親子） | くりきんとん<br>（親子） | 味噌仕込み<br>（多世代） | しおかつお<br>（大人） | あんこう<br>（大人） |
|             | 参加人数                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 7組14名                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 3組6名         | 6組12名          | 56名            | 16名           | 16名          |
| 令和9年度予算への対応 | 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度の取組状況<br>他区や事業者とも連携し大規模なイベントを開催したことで、効果的に地方への関心を喚起することができましたが、生まれた関心を実際の訪問や交流など次の行動につなげることが必要です。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、物産展や地域体験ツアーにより地方との連携強化につながる機会を提供するとともに、連携自治体の意向や特色を活かした連携を推進します。                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |              |                |                |               |              |

|                 |       |      |         |      |
|-----------------|-------|------|---------|------|
| 所管課 地域振興部 商工観光課 | 決算参考書 | 200頁 | R7予算の概要 | 133頁 |
|-----------------|-------|------|---------|------|

## 45 産業コミュニティ形成支援事業【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。

### 将来像に向けた方向性

企業の持続的な成長によって地域を活性化する必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区産業振興基本計画)

|                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |             |              |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------------|
| 事業概要                          | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <p>区は、区内における新産業・スタートアップ振興の一環として、令和5年12月に、産業コミュニティ「千代田CULTURE×TECH」を立ち上げ、参加企業間でのコミュニティ形成をオフライン・オンラインの両面から支援する取組みを推進しています。</p> <p>令和7年度は、コミュニティ内の企業を対象に、専門家による助言・指導や、企業とのマッチング支援を行うプログラムを実施し、創業や資金調達につなげ、スタートアップ企業の成長を促します。</p> <p>また、オープンイノベーション※を活用し、区内各地域における重点産業が抱えている課題に対して、スタートアップなど先進的な技術等の提供や協業提案を区内外の企業等から幅広く募集し、課題を解決するプログラムを2年間の時限で実施します。</p> <p>※オープンイノベーション：企業などが内部の資源だけでなく、外部の知見や資源を活用しイノベーションを促進する手法</p> |             |              |
|                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |             |              |
| 事業費                           | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 決算額         | 執行率          |
|                               | 45,850,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 45,460,000円 | 99.1%        |
| 事業実績                          | <p>○令和7年度実績</p> <p>(1) 産業コミュニティ形成に係る各種イベントの実施</p> <p>①アクセラレータープログラム※（採択者：8名、計5日実施）</p> <p>②ビジネスコンテスト（応募：16社、登壇：7社、参加者数：56名）</p> <p>※アクセラレータープログラム：区内スタートアップ企業に対して事業の検討機会やノウハウなどを提供し、短期間での事業成長や協業を促進する支援プログラム</p> <p>(2) デジタルツール（Slack）を活用したコミュニケーションインフラの運用</p> <p>(3) 情報発信（Webサイトの作成、SNS運用など）</p> <p>(4) 「SusHi Tech Tokyo 2025」への出展</p> <p>ビジネスコンテスト受賞企業2社と共同出展し、事業周知や事業者の販路拡大を支援しました。</p> <p>(5) オープンイノベーションを活用した区内事業者の課題解決支援</p> <p>①課題を持つ区内中小企業の募集（応募：6件、採択：4件）</p> <p>②課題解決に関する伴走及び成果報告会の実施（登壇：7社、参加者数：43名）</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |             |              |
|                               | <p>令和8年度実績</p> <p>令和9年度予算への対応</p> <p>実績を踏まえた評価・課題</p> <p>今後は「千代田CULTURE×TECH」内での支援を充実させながら、コミュニティに所属する区内中小企業の成長に資する取組を実施し、地域課題の解決とまちのにぎわい創出へつなげていくことが必要です。</p> <p>令和8年度は、既存の取組みの継続に加え、区内2か所に交流拠点を設置し、地域特性を生かしたイベントの実施、相談窓口・交流機会の提供等を行うことでコミュニティの活性化をめざします。また、新たに地域課題解決をめざした共創プログラムを実施します。</p> <p>令和9年度は、令和8年度の取組みを踏まえながら、社会実装を支援する伴走型プログラムの実施を検討し、区内産業の持続的発展、まちのにぎわい創出につなげていきます。</p>                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |             |              |
| 所管課 地域振興部 商工観光課<br>(産業企画担当課長) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 200頁        | R7予算の概要 134頁 |

## 46 観光協会運営補助【拡充】

|                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                         |              |
|-----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                         |              |
| 活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                         |              |
| 将来像に向けた方向性                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                         |              |
| 区内の魅力ある資源を効果的に発信するとともに、地方との連携を進める必要がある。<br>(関連する主な分野別計画：千代田区産業振興基本計画) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                         |              |
| 事業概要                                                                  | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <p>一般社団法人千代田区観光協会は、区の観光施策を担う中核組織として、観光プロモーションや区の魅力を引き上げ発信する役割を果たしており、区は観光協会の取組みを側面から支援するため、運営補助等を行っています。</p> <p>令和7年度は、大河ドラマ「べらぼう」に登場する浮世絵、古本、出版等の千代田区の歴史文化を資源として活用します。書店街等ゆかりの地域や出版関連企業と連携し、区内回遊施策や独自商品の造成等を実施します。</p> |              |
| 事業費                                                                   | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 決算額                                                                                                                                                                                                                     | 執行率          |
|                                                                       | 217,232,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 178,559,090円                                                                                                                                                                                                            | 82.2%        |
| 事業実績                                                                  | <p>○令和7年度実績</p> <p>(1) 観光資源磨き上げ創出事業</p> <p>①NHK大河ドラマ「べらぼう」と共同でパンフレットの作成(30,000部)</p> <p>②パネル展の開催(令和7年8月25日～31日 区民ホール 来場者数1,071名)</p> <p>③シティマガジン千代田細見の作成(特集神保町6,000部、特集秋葉原6,000部、特集未来5,000部)</p> <p>(2) 観光イベント</p> <p>①灯ろう流しの実施(令和7年7月30日、31日 ボート乗船数122艘 観覧者数約7,300名)</p> <p>②写真コンテストの実施(令和7年6月23日～12月25日 応募約3,310点)</p> <p>(3) 観光情報発信事業</p> <p>①観光ガイドブック(10,000部)及び歴史さんぽMAP(4種計20,000部)の作成</p> <p>②外国人向け情報の発信(外国人向けWeb媒体への投稿4回、Facebook4回、Instagram4回)</p> |                                                                                                                                                                                                                         |              |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度の取組状況<br>令和9年度予算への対応                             | <p>機を捉えたプロモーションの実施や、外国語対応人員の増員等、より多くの方が千代田区を訪れることができるよう環境整備を行ったものの、さらなるインバウンドの増加をはじめとした観光を取り巻く状況変化へ対応していくことが必要です。</p> <p>令和9年度は、令和8年度に引き続き、区ならではの観光資源の魅力を高めつつ、新たな観光資源を発掘・創出し、区の魅力発信や地域のにぎわいの活性化に取り組みます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                         |              |
| 所管課 地域振興部 商工観光課                                                       | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 200頁                                                                                                                                                                                                                    | R7予算の概要 134頁 |

## 47 総合窓口の運営【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

基本構想の実現に向けて（（１）変化の激しい時代への柔軟な対応）

将来像に向けた方向性

区民の窓口手続き等に係る負担を軽減し、利便性を高めることが必要である。

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                         |              |         |       |      |      |      |
|-----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------|-------|------|------|------|
| 事業概要                        | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 大切なご家族が亡くなられた際の行政手続きは、多岐にわたっているため、ご遺族に大きな負担が生じます。<br>令和7年度は、事前予約制でご遺族の手続き支援を行う専用窓口「おくやみコーナー」を設置します。ご遺族の状況に応じて必要な手続きをあらかじめ確認したうえで関係各課と連携し、手続きの際に移動することなくワンストップで案内・受付をすることで、ご遺族の負担を軽減します。 |              |         |       |      |      |      |
| 事業費                         | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                         | 決算額          |         | 執行率   |      |      |      |
|                             | 214,279,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                         | 201,359,428円 |         | 94.0% |      |      |      |
| 事業実績                        | ○令和7年度実績<br>(1)「おくやみコーナー」の開始<br>令和7年8月から、ご遺族の手続きに係る負担軽減及び利便性の向上を目的に、事前予約制によりご遺族の手続き支援を行う専用窓口を設置しました。委託事業者に対して遺族ケアに関する研修を受講させるなど、適切な対応体制の確保に努めるとともに、関係各課と連携のうえ、ご遺族の状況に応じて必要な手続きをあらかじめ確認し、来庁時にはワンストップでの案内・受付を実施しました。<br>(2)事業実績<br>運営開始にあたっては、連合町会長会議において周知を行うとともに、広報紙や区ホームページを通じて広く制度の周知を図りました。 |                                                                                                                                                                                         |              |         |       |      |      |      |
|                             | <table><tr><td>相談件数</td><td>利用実績</td></tr><tr><td>106件</td><td>20件</td></tr></table>                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                         |              |         |       | 相談件数 | 利用実績 | 106件 |
| 相談件数                        | 利用実績                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                         |              |         |       |      |      |      |
| 106件                        | 20件                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                         |              |         |       |      |      |      |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和9年度予算への対応 | おくやみコーナーの設置により、関係各課の手続きを一体的に案内・処理することが可能となったことで、ご遺族の負担を軽減し手続きの円滑化に寄与しました。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、関係各課との連携を密にし、適切な対応体制の確保に努めつつ、円滑な窓口対応を継続していきます。                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                         |              |         |       |      |      |      |
| 所管課 地域振興部 総合窓口課             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 決算参考書                                                                                                                                                                                   | 204頁         | R7予算の概要 | 137頁  |      |      |      |

## 48 文化芸術プランの改定【新規】

|                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                           |       |
|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                           |       |
| 伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                           |       |
| 将来像に向けた方向性                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                           |       |
| 歴史、文化、芸術活動を身近に感じる機会を提供することが必要である。<br>(関連する主な分野別計画：千代田区文化芸術プラン（第四次）) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                           |       |
| 事業概要                                                                | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <p>区は、文化芸術の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、文化芸術基本条例に基づき、千代田区文化芸術プラン（第四次）を令和3年度に策定しました。</p> <p>現在のプランは令和7年度で終了するため、第四次プランを評価し、課題整理を行うとともに、区の地域特性や社会情勢の変化などを踏まえ、文化芸術プランを改定します。</p> |       |
| 事業費                                                                 | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 決算額                                                                                                                                                                       | 執行率   |
|                                                                     | 5,365,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 4,472,500円                                                                                                                                                                | 83.4% |
| 事業実績                                                                | <p>○令和7年度実績</p> <p>千代田区文化芸術プラン推進委員会では、現行計画の成果の振り返りを行ったほか、計画期間中に東京都が策定した東京文化戦略2030など国や都の動向を踏まえた今後の区の対応について検討し、パブリックコメントを経て、令和8年3月に千代田区文化芸術プラン（第5次）を策定しました。</p> <p>（1）千代田区文化芸術プラン推進委員会の開催等</p> <p>①4回開催（令和7年5月27日、7月31日、9月19日、10月31日）</p> <p>②関係各課事業調査（令和7年8月）</p> <p>（2）パブリックコメントの実施</p> <p>令和8年1月5日～26日の期間で実施（意見者数：4名、意見：10件）</p> |                                                                                                                                                                           |       |
| 令和8年度実績を踏まえた評価・課題<br>令和9年度予算への対応                                    | <p>本事業は、プランを策定したため、令和7年度で完了しました。</p> <p>今後は、策定したプランに基づき、千代田区に住む人、働く人、学ぶ人、買い物や観光などでまちを訪れるすべての人々が文化芸術に親しむことができることをめざし、文化芸術事業を推進していきます。</p>                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                           |       |
| 所管課 地域振興部 文化振興課                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 決算参考書                                                                                                                                                                     | 206頁  |
|                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | R7予算の概要                                                                                                                                                                   | 131頁  |

## 49 ちよだアーツスクエア改修整備【新規】

| 第4次基本構想のめざすべき姿等                                                     |                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                      |              |
|---------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。                            |                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                      |              |
| 将来像に向けた方向性                                                          |                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                      |              |
| 歴史、文化、芸術活動を身近に感じる機会を提供することが必要である。<br>(関連する主な分野別計画：千代田区文化芸術プラン（第四次）) |                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                      |              |
| 事業概要                                                                | 内容                                                                                                                               | ちよだアーツスクエア（旧練成中学校）は、築後46年が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、令和6年度は大規模改修工事に向けた施設の基本・実施設計を行いました。<br>令和7年度は、令和9年度の供用開始に向けて、改修工事に着手します。<br>区民等が文化芸術に親しみをもち、気軽に利用できる施設となるよう整備を進めていきます。 |              |
| 事業費                                                                 | 予算現額                                                                                                                             |                                                                                                                                                                      | 決算額          |
|                                                                     | (1) 工事費                                                                                                                          |                                                                                                                                                                      | 924,000,000円 |
|                                                                     | (2) 工事監理委託料                                                                                                                      |                                                                                                                                                                      | 844,200,000円 |
|                                                                     | (3) 事務費                                                                                                                          |                                                                                                                                                                      | 8,819,000円   |
| 事業実績                                                                |                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                      | 91.4%        |
|                                                                     |                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                      | 39.6%        |
|                                                                     |                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                      | 70.8%        |
|                                                                     | ○令和7年度実績<br>施設内の備品の整理を行ったのち、令和8年1月に近隣説明会を実施し、令和8年2月から改修工事に着手しました。<br>※工事監理委託料については、機械設備工事の入札不調により、工事監理委託業務の開始が遅れたため、執行率が低くなりました。 |                                                                                                                                                                      |              |
| 令和9年度予算への対応                                                         | 改修にあたっては、施設利用者・周辺地域等に十分配慮しながら工事を進めていくことが必要です。<br>令和8年度は、令和7年度に引き続き、令和9年度の竣工をめざして改修工事を実施するとともに、再開に向けた準備を進めます。                     |                                                                                                                                                                      |              |
| 所管課 地域振興部 文化振興課                                                     |                                                                                                                                  | 決算参考書                                                                                                                                                                | 206頁         |
|                                                                     |                                                                                                                                  | R7予算の概要                                                                                                                                                              | 132頁         |

## 50 (仮称) 新九段生涯学習館基本構想の策定【新規】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

生涯にわたり学びやスポーツに親しむことで、充実した人生を送れるようになっていきます。

### 将来像に向けた方向性

区民が生涯学習・スポーツを主体的に行う機会を提供することが必要である。  
(関連する主な分野別計画：千代田区文化芸術プラン(第四次))

|                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                 |       |              |
|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------|
| 事業概要                                       | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 九段生涯学習館は、生涯学習の振興を図るため、自主的かつ継続的な学習活動をしている区民のグループ、サークル等の団体が行う学習・研究・実習等の場であるとともに、文化芸術を通じた交流と、区民による創造・発信の拠点となっています。現施設は、「九段南一丁目地区第一種市街地再開発事業」のエリア内に所在しています。<br>令和7年度は、令和6年度に実施した整備計画の検討結果や再開発事業の進捗状況を踏まえ、年齢や障害の有無に関わらず、全ての区民が自由に活動できる生涯学習・文化芸術活動の拠点をめざし、基本構想を策定します。 |       |              |
| 事業費                                        | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 決算額                                                                                                                                                                                                                                                             | 執行率   |              |
|                                            | 15,440,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 14,023,000円                                                                                                                                                                                                                                                     | 90.8% |              |
| 事業実績                                       | ○令和7年度実績<br>(1) (仮称)新九段生涯学習館基本構想検討会の開催(令和7年7月14日、8月14日、9月10日、11月5日、令和8年3月9日)<br>学識経験者や団体関係者で構成する検討会を設置し、令和6年度に実施した現施設に係る現況調査や施設利用者等への意見聴取を踏まえ、(仮称)新九段生涯学習館のめざす姿、基本方針、導入機能等について検討しました。<br>(2) (仮称)新九段生涯学習館基本構想の策定<br>検討会の内容を踏まえ、令和8年1月5日～19日にパブリックコメント(意見者数：2名、意見：4件)を実施し、(仮称)新九段生涯学習館における基本理念、整備スケジュール等を示す基本構想を策定しました。 |                                                                                                                                                                                                                                                                 |       |              |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度予算への対応<br>令和9年度予算への対応 | (仮称)新九段生涯学習館の整備にあたっては、再開発事業の進捗を踏まえつつ、子どもや障害者、高齢者等、全ての区民が自由に活動できる生涯学習・文化芸術活動の拠点をめざし、検討を進めていく必要があります。<br>令和8年度は、(仮称)新九段生涯学習館基本計画検討会を設置し、学識経験者や団体関係者等の意見を踏まえ、(仮称)新九段生涯学習館基本計画を策定します。<br>令和9年度は、基本構想に示したスケジュールを踏まえ、基本計画に基づき施設整備に向けた検討を進めます。                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                 |       |              |
| 所管課                                        | 地域振興部 生涯学習・スポーツ課<br>(施設整備担当課長)                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                                           | 206頁  | R7予算の概要 128頁 |

## 51 新スポーツセンター基本計画の策定【新規】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

生涯にわたり学びやスポーツに親しむことで、充実した人生を送れるようになっていきます。

### 将来像に向けた方向性

区民が生涯学習・スポーツを主体的に行う機会を提供することが必要である。  
(関連する主な分野別計画：千代田区スポーツ振興基本計画)

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |             |       |         |      |
|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|---------|------|
| 事業概要                        | 区は、老朽化した現在のスポーツセンターについて、多様化する利用ニーズや社会環境の変化に対応した、誰もが利用しやすい新たな施設として整備するため、令和6年度に基本構想を策定しました。<br>令和7年度は、基本構想の内容を踏まえ、年齢や障害の有無に関わらず、千代田区に住み、働き、学ぶ全ての人々が、交流を図りながらスポーツを楽しみ、生涯を通じた健康づくりに取り組めるスポーツ施設として整備するため、基本計画を策定します。                                                                                                                                                                                      |             |       |         |      |
| 事業費                         | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 決算額         | 執行率   |         |      |
|                             | 23,151,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 22,800,000円 | 98.5% |         |      |
| 事業実績                        | ○令和7年度実績<br>(1) 近隣公共施設との合同整備に向けた検討<br>合同整備により、都区が所有する敷地を一体的に活用することで、効果的な施設整備が可能となり、区民サービス向上の実現が期待されること等から、都区合同での施設整備について検討を行いました。<br>(2) 新スポーツセンター基本計画検討会の開催（令和7年9月12日、10月27日、12月1日、令和8年1月26日、3月9日）<br>学識経験者や団体関係者で構成する検討会を開催し、令和6年度に策定した基本構想を踏まえ、新スポーツセンターの諸室計画、建物構成等について検討しました。<br>(3) 新スポーツセンター基本計画の策定<br>東京都との協議や検討会の内容を踏まえて基本計画（素案）をまとめ、令和8年3月5日～19日にパブリックコメント（意見者数：17名、意見：43件）を実施し、基本計画を策定しました。 |             |       |         |      |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度予算への対応 | 隣接する東京都千代田合同庁舎との合同整備に向けて検討を進めるとともに、東京都と協議を引き続き行う必要があります。<br>令和8年度は、基本計画に示す施設計画に基づき、基本設計に着手します。<br>令和9年度は、採用する事業方式に基づいて、施設整備に向けた検討を進めます。                                                                                                                                                                                                                                                               |             |       |         |      |
| 所管課                         | 地域振興部 生涯学習・スポーツ課<br>（施設整備担当課長）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 決算参考書       | 208頁  | R7予算の概要 | 128頁 |

## 52 スポーツ振興基本計画の改定

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

生涯にわたり学びやスポーツに親しむことで、充実した人生を送れるようになっています。

### 将来像に向けた方向性

区民が生涯学習・スポーツを主体的に行う機会を提供することが必要である。  
(関連する主な分野別計画：千代田区スポーツ振興基本計画)

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                         |            |       |
|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|
| 事業概要                        | 内容                                                                                                                                                                                                                                              | 区は、令和3年度にスポーツ振興の実現により到達すべき千代田区の未来像として、「楽々いえスポ 元気にまちスポ いいね♪スポーツちよだ」を基本理念とする「千代田区スポーツ振興基本計画」を策定しました。<br>令和7年度は、令和6年度に実施したニーズ調査やスポーツを取り巻く社会情勢の変化、政策動向を踏まえ、年齢や障害の有無に関わらず、千代田区に住み、働き、学ぶ全ての人が、スポーツに親しむための環境を整備するために、計画を改定します。 |            |       |
| 事業費                         | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                         | 決算額        | 執行率   |
|                             | 7,261,000円                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                         | 6,954,066円 | 95.8% |
| 事業実績                        | ○令和7年度実績<br>学識経験者、有識者、区民、関係団体等で構成される千代田区スポーツ振興基本計画策定委員会及び庁内検討会において協議を行い、令和8年3月に計画を改定しました。<br>(1) 検討会議の開催<br>①千代田区スポーツ振興基本計画策定委員会（令和7年6月23日、9月8日、11月17日、令和8年2月16日）<br>②庁内検討会（令和7年11月5日）<br>(2) パブリックコメントの実施<br>令和8年1月5日～19日の期間で実施（意見者数：4名、意見：4件） |                                                                                                                                                                                                                         |            |       |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和9年度予算への対応 | 本事業は、計画を改定したため、令和7年度で完了しました。<br>今後は、改定した計画に基づき、庁内の生涯学習・スポーツ、教育、福祉、まちづくり等の分野間の一層の連携を図るとともに、関係機関等と連携しながら、スポーツ習慣の定着と誰もが安全にスポーツを楽しめる環境整備を進めます。                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                         |            |       |

|                      |       |              |      |
|----------------------|-------|--------------|------|
| 所管課 地域振興部 生涯学習・スポーツ課 | 決算参考書 | 208頁 R7予算の概要 | 129頁 |
|----------------------|-------|--------------|------|

### 53 日比谷図書文化館整備の検討【新規】

#### 第4次基本構想のめざすべき姿等

伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。

#### 将来像に向けた方向性

歴史、文化、芸術活動を身近に感じる機会を提供することが必要である。  
(関連する主な分野別計画：千代田区文化芸術プラン（第四次）)

|                                           |                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                 |       |
|-------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 事業概要                                      | 内容                                                                                                                                                                                                                  | 日比谷図書文化館は、昭和32年に都立日比谷図書館として竣工し、平成21年に区に移管されました。築後68年、全面改修からは14年が経過しており、建物や設備の老朽化が進んでいます。<br>令和7年度は、施設の整備を見据え、現在の施設の課題・用途・規模、建物として必要な機能等を調査・整理し、施設整備のための検討を行います。 |       |
| 事業費                                       | 予算現額                                                                                                                                                                                                                | 決算額                                                                                                                                                             | 執行率   |
|                                           | 5,500,000円                                                                                                                                                                                                          | 3,806,000円                                                                                                                                                      | 69.2% |
| 事業実績                                      | ○令和7年度実績<br>日比谷図書文化館の整備に向け、現施設の課題整理や利用実態、他自治体における図書館のリニューアル事例の調査を実施しました。あわせて、改築または大規模改修の必要性や整備の方向性等について検討するとともに、整備にあたっての課題等について東京都と協議を行いました。                                                                        |                                                                                                                                                                 |       |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度の取組状況<br>令和9年度予算への対応 | 日比谷図書文化館の整備にあたっては、施設の老朽化や機能面の課題、利用者ニーズの変化、文化財の保存環境、特色ある形態・意匠、コスト等の様々な観点を考慮し、整備の方向性を検討していく必要があります。<br>令和8年度は、利用者等アンケート調査の実施や新たに立ち上げる基本構想検討会における意見聴取等を通じて、（仮称）新日比谷図書文化館の基本構想の策定を行います。<br>令和9年度は、基本構想を基に、基本計画の策定を進めます。 |                                                                                                                                                                 |       |

|                 |            |              |
|-----------------|------------|--------------|
| 所管課 地域振興部 文化振興課 | 決算参考書 210頁 | R7予算の概要 133頁 |
|-----------------|------------|--------------|

## 54 コミュニティサイクル事業【拡充】

|                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |              |
|-----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |              |
| 人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |              |
| 将来像に向けた方向性                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |              |
| 安全で快適で、人にやさしい通行環境の整備を進める必要がある。<br>(関連する主な分野別計画：千代田区自転車利用ガイドライン) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |              |
| 事業概要                                                            | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <p>区は、令和2年度からコミュニティサイクル事業「ちよくる」の本格実施を開始し、協定に基づく運営事業者との役割分担のもと、利用者の目線に立ったサービスレベルの向上に努めるとともに、連携区、東京都等の関係団体とともに事業の推進を行っています。</p> <p>さらに令和4年度から、子育て世帯が移動しやすい環境を整備するため、チャイルドシート付自転車コミュニティサイクルの実証実験を実施しています。</p> <p>令和7年度は、運営事業者にチャイルドシート付自転車の購入に係る費用を新たに助成することで、チャイルドシート付自転車の台数及び専用サイクルポートを増やし、実証実験の規模を拡大します。</p> |              |
| 事業費                                                             | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 決算額                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 執行率          |
|                                                                 | 3,673,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 1,939,536円                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 52.8%        |
| 事業実績                                                            | <p>○令和7年度実績</p> <p>(1)「ちよくる」</p> <p>ポート数：計109か所（令和6年度から8か所増加）</p> <p>ラック数：計1,056ラック（令和6年度から135ラック増加）</p> <p>(2)チャイルドシート付自転車</p> <p>①専用サイクルポート</p> <p>ポート数：計8か所（令和6年度から6か所増加。内訳：秋葉原公園、九段坂公園、飯田橋駅東口第2自転車駐車場、水道橋駅自転車駐車場、和泉公園、富士見出張所）</p> <p>ラック数：計29ラック（令和6年度から21ラック増加）</p> <p>②チャイルドシート付自転車新規購入経費補助事業</p> <p>補助実績：12台</p> <p>※新規に設置した専用サイクルポート数は6か所となり、目標の4か所を上回ることができたものの、主に補助対象自転車の単価が当初の見込みよりも安価であったことから、執行率が低くなりました。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |              |
| 令和9年度予算への対応<br>実績を踏まえた評価・課題                                     | <p>チャイルドシート付自転車の専用サイクルポートの新規設置数が目標を上回ったことにより、利用環境の向上及び利用者数等の増加に寄与しました。</p> <p>令和8年度は、子育て世帯の利用需要が高い区有施設や公園への専用サイクルポートの設置を検討し、4か所の新設をめざします。これにより、利用者に寄り添ったさらなる利便性の向上を図ります。また、令和4年度から行ってきた実証実験の成果と課題を整理し、今後の事業方針について運営事業者と協議することで、令和9年度以降の事業実施の検討を進めます。</p> <p>令和9年度は、区民等からの設置要望を踏まえながら、チャイルドシート付自転車専用サイクルポートの効果的な設置を推進することで、利用率の向上を図ります。</p>                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |              |
| 所管課 環境まちづくり部 環境まちづくり総務課                                         | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 212頁                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | R7予算の概要 143頁 |

## 55 放置自転車対策【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

### 将来像に向けた方向性

安全で快適で、人にやさしい通行環境の整備を進める必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区自転車利用ガイドライン)

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業概要 | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|      | <p>区は、年間登録制自転車駐車場と一時利用自転車駐車場を整備し、駅周辺道路等での放置自転車禁止の周知や自転車利用者の利便性向上を図っています。</p> <p>令和7年度は、年間登録制自転車駐車場の利用申請や手数料支払い等の手続きをオンライン化し利用者の利便性を高めるとともに、放置自転車等の撤去、自転車駐車場及び撤去自転車保管場所の管理、自転車利用に関する問合せ対応等の業務を一元化して業務の効率化を図ります。</p> <p>また、大手町高架下自転車保管場所の使用賃借期間が令和7年度に終了するため、猿楽町自転車保管場所に自転車ラックを増設します。</p> |

|     |              |              |       |
|-----|--------------|--------------|-------|
| 事業費 | 予算現額         | 決算額          | 執行率   |
|     | 184,442,000円 | 173,213,331円 | 93.9% |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業実績 | <p>○令和7年度実績</p> <p>(1) 自転車駐車場管理及び自転車等撤去・返還</p> <p>①年間登録制自転車駐車場の利用期間の統一と手続きのオンライン化</p> <p>令和8年度利用分から、自転車駐車場ごとに異なっていた利用期間を統一するとともに、専用サイトを構築してオンライン申請を開始しました。</p> <p>利用期間：令和8年4月1日～令和9年3月31日</p> <p>申請期間：令和8年1月20日～2月3日</p> <p>申請者数：2,388名（自転車2,234名 原付154名）</p> <p>決定者数：1,880名（自転車1,731名 原付149名）</p> <p>②自転車等の撤去・返還台数</p> <p>撤去台数：3,079台（自転車3,064台 原付15台）</p> <p>返還台数：1,964台（自転車1,956台 原付8台）</p> <p>(2) 自転車駐車場設置</p> <p>神田駅南自転車駐車場（一時利用）の設置</p> <p>整備数：44台</p> <p>(3) 自転車保管場所</p> <p>猿楽町自転車保管場所のラック整備</p> <p>整備数：上段ラック97台</p> <p>現在の収容可能台数約600台</p> |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和9年度予算への対応 | <p>放置自転車台数については、依然として駅周辺に多い状況にあることから、新たな自転車駐車場の設置を進めていく必要があります。一方で、区内の土地は限られていることから、区有地だけでなく民有地の空きスペースを利用した小規模自転車駐車場の設置等の検討が課題です。</p> <p>令和8年度は、民間事業者との自転車駐車場設置及び運営に関わる協定を締結し、新たな自転車駐車場の設置をめざします。</p> <p>令和9年度も、令和8年度に引き続き、新たな自転車駐車場や保管場所の設置に向けた取組みを進めるとともに、放置禁止区域における放置自転車等の速やかな撤去等に努めていきます。</p> |
|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                         |       |      |         |      |
|-------------------------|-------|------|---------|------|
| 所管課 環境まちづくり部 環境まちづくり総務課 | 決算参考書 | 212頁 | R7予算の概要 | 143頁 |
|-------------------------|-------|------|---------|------|

## 56 地球温暖化対策の推進【拡充】

|                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                   |
|------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                   |
| 良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                   |
| 将来像に向けた方向性                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                   |
| 「2050 ゼロカーボンちよだ」に向けて地域特性を活かした取組みを推進する必要がある。<br>(関連する主な分野別計画：千代田区地球温暖化対策地域推進計画2021) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                   |
| 事業概要                                                                               | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | <p>区は、2050年までに区内の二酸化炭素排出量実質ゼロをめざす「2050ゼロカーボンちよだ」の実現を掲げるとともに、2030（令和12）年度までに区内の二酸化炭素排出量を2013（平成25）年度比で42.3%削減する対策目標を設定し、二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいます。</p> <p>令和7年度は、ビルの壁面や窓ガラスにも設置できる次世代型ソーラーセル（ペロブスカイト太陽電池）等の区内における実用化及び普及啓発を推進するため、実証実験を共同で実施する事業者を募集し、都心部における再生可能エネルギーの導入の可能性に向けた検討を行います。</p> |                   |
| 事業費                                                                                | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 決算額                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 執行率               |
|                                                                                    | 54,014,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 33,521,169円                                                                                                                                                                                                                                                                             | 62.1%             |
| 事業実績                                                                               | <p>○令和7年度実績</p> <p>(1) 「ゼロエミッション地区創出プロジェクト」への選定</p> <p>東京都の「ゼロエミッション地区創出プロジェクト」※において、「神田錦町南部地区」を対象エリアとする区の提案が採択されました。</p> <p>※「ゼロエミッション地区創出プロジェクト」：区市町村の地域特性を踏まえた取組みと都の重点施策を一体的に展開していくことにより、都独自のゼロエミッション地区を創出するプロジェクト</p> <p>＜提案内容＞</p> <p>①電力の再エネ化（Eサイクルちよだの推進、オフサイトPPA※電力の活用、Airソーラー（ペロブスカイト太陽電池）の設置推進等）</p> <p>②建築物の省エネ化（新築・大規模改修時のZEB化促進、既存建築物の省エネ改修促進等）</p> <p>③その他（中小企業の脱炭素経営支援、環境啓発イベントの開催、環境配慮行動宣言制度の普及促進等）</p> <p>※オフサイトPPA：敷地外で発電された再エネ電力を長期契約で利用すること</p> <p>(2) 次世代ソーラーセル等の実用化及び普及啓発</p> <p>実証実験を共同で実施する事業者の募集を行いました。市場への供給が非常に限定されていたことから、応募がありませんでした。</p> <p>(3) 地方連携による産地指定の再生可能エネルギー供給（Eサイクルちよだ）</p> <p>19の区有施設への導入に加え、民間企業3社に導入されました。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                   |
| 令和9年度予算への対応                                                                        | <p>Airソーラー（ペロブスカイト太陽電池）の市場への供給状況を注視しながら、区内における実用化及び普及啓発をより一層進めるとともに、ゼロエミッション地区創出プロジェクトに選定された提案の実行に移ることが必要です。</p> <p>令和8年度は、神田錦町南部地区の地権者と関係性を構築し、再生可能エネルギー電力等の導入や省エネルギー化の取組みを地区内に拡大します。</p> <p>令和9年度は、「2050ゼロカーボンちよだ」の実現に向け、引き続き計画に基づいた取組みを実施し、地球温暖化対策のより一層の推進を図ります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                   |
| 所管課                                                                                | 環境まちづくり部 環境政策課<br>(ゼロカーボン推進担当課長)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 214頁 R7予算の概要 140頁 |

## 57 外濠の水質改善対策【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。

### 将来像に向けた方向性

良好な環境を整備し、都心生活の質を豊かにしていく必要がある。

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |              |              |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|--------------|
| 事業概要                        | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <p>外濠は流入水が少なく、水が滞留しやすい閉鎖的な水域となっています。このことに加えて、雨天時に下水が外濠へ越流することにより、夏季にはアオコが発生し、景観の悪化や悪臭の発生が課題となっています。</p> <p>令和7年度は、引き続き市ヶ谷濠、新見附濠、牛込濠において水質改善処理剤等によるアオコの除去を実施するとともに、乗船による外濠水質改善見学会を開催するほか、市ヶ谷濠におけるアオコ以外の臭気等の原因を調査し、対策を検討します。</p> <p>また、外濠に対する区民の理解と関心を深めるため、区内の大学生等を対象に外濠の歴史や水質、生物環境を学び、外濠に関する新たな取組みを検討するワークショップを実施します。</p> |              |              |
|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |              |              |
| 事業費                         | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 決算額          | 執行率          |
|                             | 293,656,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 277,002,000円 | 94.3%        |
| 事業実績                        | <p>○令和7年度実績</p> <p>(1) 水質改善暫定対策（水質改善処理剤の散布等）<br/>           散布期間：令和7年6月～9月<br/>           散布箇所・数量：市ヶ谷濠：38t、新見附濠：57t、牛込濠：30t、合計125t散布<br/>           汚濁防止フェンス設置：新見附濠、牛込濠</p> <p>(2) 外濠追加対策検討<br/>           臭気調査・底泥調査：令和7年7月～12月</p> <p>(3) 学生向けワークショップ<br/>           実施日：令和7年8月21日<br/>           実施場所：法政大学 外濠校舎<br/>           参加者数：17名</p> <p>(4) 外濠水質改善見学会<br/>           実施日：令和7年9月20日<br/>           実施場所：市ヶ谷濠（乗船見学）<br/>           外濠公園総合グラウンド（水質実験）<br/>           参加者数：14名</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |              |              |
|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |              |              |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度予算への対応 | <p>水質改善処理剤の散布を行うことでアオコの発生が抑制され、処理剤散布を行わなかった場合と比べ、水質が改善されていることが確認されています。</p> <p>令和8年度は、引き続き水質改善処理剤の散布等による水質改善暫定対策を実施するとともに、外濠追加対策検討としては、令和7年度に臭気の発生が確認されなかったため未実施であった、強い臭気が発生した際の臭気測定を行います。また、普及啓発事業では、令和7年度に実施した学生向けワークショップでの提案を踏まえ、区民等を対象にした「水生生物調査体験会」を開催します。</p> <p>令和9年度は、令和8年度に引き続き、東京都と協力・連携しながら水質改善対策を実施していきます。</p>                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |              |              |
| 所管課 環境まちづくり部 環境政策課          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 214頁         | R7予算の概要 140頁 |

## 58 ウォーカブルなまちづくりの検討【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

### 将来像に向けた方向性

「千代田区都市計画マスタープラン」に掲げる将来像「つながる都心」を実現する必要がある。  
 (関連する主な分野別計画：千代田区ウォーカブルまちづくりデザイン、千代田区川沿いのまちづくりガイドライン、千代田区エリアマネジメント活動推進ガイドライン)

|                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |             |       |
|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
| 事業概要                                       | 内容<br>区は、「千代田区都市計画マスタープラン」で描いた将来像の実現に向け、令和4年6月に「千代田区ウォーカブルまちづくりデザイン」を策定し、歩きやすく居心地の良い「ウォーカブルなまちづくり」を推進しています。<br>令和4年度からプレイスメイキング等の実証実験を実施してきましたが、ウォーカブルなまちづくりをさらに展開していくため、令和7年度は事業を本格実施へ移行し、活動支援件数を5件から15件に増やします。<br>また、地域資源である水辺をにぎわいのある空間にするとともに、景観の魅力向上のため、橋を試験的にライトアップし、その効果を検証します。<br>道路整備においても、「誰もが歩きたくなる」道路空間の創出に向けた調査を実施し、検討を進めます。                                                                                                                                                                                                                                      |             |       |
| 事業費                                        | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 決算額         | 執行率   |
|                                            | 53,360,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 50,340,353円 | 94.3% |
| 事業実績                                       | ○令和7年度実績<br>(1) ウォーカブルなまちづくり及びエリアマネジメントの推進<br>ウォーカブルなまちづくり活動の支援として14件を採択し、うち13件の活動が実施されました。また、令和7年12月に「千代田区エリアマネジメントのすすめ」を策定しました。<br>(2) 橋梁のライトアップ（お茶の水橋・新三崎橋）<br>令和7年12月1日から令和8年1月31日まで試験点灯を実施し、歩行者へのアンケート調査や専門家へのヒアリングにより効果を検証しました。<br>(3) 道路交流空間整備の調査・検討<br>「誰もが歩きたくなる」道路空間の創出に向けた取組みについて、モデル路線の抽出、具体的な整備内容等の調査・検討を実施しました。                                                                                                                                                                                                                                                  |             |       |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度予算への対応<br>令和9年度予算への対応 | 令和7年度は、エリアマネジメント団体の認定制度構築に向けた検討を進めました。また、支援事業の実施により公共空間の活用を通じてウォーカブルなまちづくり活動が展開され、地域の環境改善が図られました。橋梁のライトアップの試験点灯については、一定の評価を得ることができた一方で、検証結果を踏まえ、周辺環境も含めたエリアとしての魅力づくりに取り組む必要があります。<br>令和8年度は、前年度のウォーカブル活動実施団体を対象とした交流会を初開催し、活動内容の共有や連携基盤の形成を図るとともに、最大15件の活動を支援します。また、エリアマネジメントの推進に向け、モデル団体の認定支援を試行実施します。さらに、橋梁のライトアップがより効果的ににぎわいの創出につながるよう、実施計画の策定を進めます。加えて、道路交流空間の整備に向けて、歩道の段差解消やベンチ設置、グリーンインフラ整備等による道路の安全性・快適性・環境改善効果を検証します。<br>令和9年度は、前年度の支援を踏まえながら、ウォーカブル活動団体の支援を行うとともに、エリアマネジメント認定制度の本格実施を進めます。橋梁のライトアップについては、実施計画に基づき、具体的な取組みを進めます。また、道路交流空間の整備については、効果検証の結果を基に設計に取り組めます。 |             |       |

|                                                        |                               |
|--------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 所管課<br>環境まちづくり部 道路公園課<br>景観・都市計画課<br>(エリアマネジメント推進担当課長) | 決算参考書<br>214頁 R7予算の概要<br>144頁 |
|--------------------------------------------------------|-------------------------------|

## 59 歩道のセミフラット化

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

### 将来像に向けた方向性

安全で快適で、人にやさしい通行環境の整備を進める必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区道路整備方針、千代田区災害対策事業計画)

|                                           |                                                                                                                                                                               |            |       |         |      |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|---------|------|
| 事業概要                                      | 内容<br>段差解消が必要な歩道については、歩きやすい歩行空間の確保を推進するため、歩道のセミフラット化に取り組んでいます。<br>令和7年度は、「二七通り（九段南二丁目～三番町）」の設計を実施します。                                                                         |            |       |         |      |
| 事業費                                       | 予算現額                                                                                                                                                                          | 決算額        | 執行率   |         |      |
|                                           | 11,500,000円                                                                                                                                                                   | 9,543,600円 | 83.0% |         |      |
| 事業実績                                      | ○令和7年度実績<br>二七通り（九段南二丁目～三番町）において、詳細設計に取り組むとともに、関係機関との協議を実施しました。                                                                                                               |            |       |         |      |
|                                           | <br>▲整備後（イメージ）                                                                            |            |       |         |      |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度の取組状況<br>令和9年度予算への対応 | 歩道のセミフラット工事にあたっては、誰もが安全で安心して快適に利用できる歩行空間の創出に向けて、歩道の段差や起伏の解消をめざし、着実かつ安全に事業を進めていくことが重要です。<br>令和8年度は、「二七通り（九段南二丁目～三番町）」の工事発注に向けた準備を進めます。<br>令和9年度も、令和8年度に引き続き、歩道のバリアフリー化に取り組みます。 |            |       |         |      |
| 所管課                                       | 環境まちづくり部 道路公園課<br>（基盤整備計画担当課長）                                                                                                                                                | 決算参考書      | 214頁  | R7予算の概要 | 144頁 |

## 60 まちづくり支援ステーションの構築【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

基本構想の実現に向けて（（3）参画・協働の推進）

将来像に向けた方向性

地域の共通認識を築いたうえで、まちづくりを展開していく必要がある。

|                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |         |      |
|--------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|------|
| 事業概要                                       | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 「千代田区都市計画マスタープラン」で描いた将来像の実現のためには、まちに関わる多様な主体がそれぞれの力を活かして創意工夫を重ね、文化資源をまちの魅力につなげたり、地域のつながりを強めたりするなど、具体的なまちづくりを展開することが重要です。<br>令和7年度は、地域の実情を理解している有識者等を「まちづくりサポーターズ」としてまちづくりに関する合意形成の場に派遣する伴走型の支援を実施し、地域の事情に合わせてまちづくり協議会等を支援する組織である「まちづくり支援ステーション～シティハブ～」の立ち上げに向けた検討を進めます。 |      |         |      |
| 事業費                                        | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 決算額                                                                                                                                                                                                                                                                     |      | 執行率     |      |
|                                            | 16,786,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 15,279,000円                                                                                                                                                                                                                                                             |      | 91.0%   |      |
| 事業実績                                       | ○令和7年度実績<br>(1)「千代田区まちづくり支援ステーション～シティハブ～のあり方」の策定<br>多様な主体間の連携を促進し、地域が一体となったまちづくりが展開できるよう、まちづくり協議会等の支援を実施する組織体「まちづくり支援ステーション～シティハブ～」の基本的な考え方とその仕組みやプロセスをまとめた「千代田区まちづくり支援ステーション～シティハブ～のあり方」を策定しました。<br>(2)都市計画情報提供システムの改修<br>区内の都市計画情報について公表しているGISを活用した専用ポータルサイト内に、新たに道路台帳の情報を提供するアプリを構築し、運用を開始しました。また、都市計画情報マップに地区計画区域内の区分及び千代田区界限別・重点地区景観まちづくりガイドラインの界限情報を追加しました。<br>(3)学識経験者へのヒアリングの実施<br>「まちづくりサポーターズ（専門家）」派遣について、まちづくりプラットフォームのあり方検討会委員である学識経験者へのヒアリングを実施し、地域の実情に応じた支援のあり方について検討しました。 |                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |         |      |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度予算への対応<br>令和9年度予算への対応 | まちづくりの推進には、関係機関との円滑な合意形成が不可欠です。<br>令和8年度は、令和7年度の検討結果を踏まえ、地域まちづくり課と連携し、地域課題に応じた専門家派遣を推進します。あわせて、エリアマネジメント団体についても、モデル認定制度の中で専門家派遣を活用できるよう環境整備を行います。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き他部署と連携し、まちづくりに関する課題等の情報共有の円滑化を図り、幅広く専門家派遣を実施できるよう体制を整備するとともに、都市計画情報を円滑に提供するため、ポータルサイトのサービス向上に努めます。                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |         |      |
| 所管課                                        | 環境まちづくり部 景観・都市計画課<br>(エリアマネジメント推進担当課長)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                                                   | 216頁 | R7予算の概要 | 151頁 |

## 61 地区の計画等の検討

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

### 将来像に向けた方向性

「千代田区都市計画マスタープラン」に掲げる将来像「つながる都心」を実現する必要がある。

|                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                           |             |      |                 |
|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------|-----------------|
| 事業概要                                 | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 地域特性を踏まえた、きめ細やかなまちづくりのルールである地区計画制度の適用にあたっては、地域におけるまちの将来像の共有と合意形成が大切です。このため、区は必要な調査の実施や整備構想等の作成、地域特性を踏まえた地区計画制度の適用に向けた検討、地域との協議・調整を実施しています。<br>令和7年度は、引き続き再開発事業の事前・事後における評価制度の構築に向けて検討を進めるとともに、神保町地区等における地区計画の策定や地区計画の変更に向けたまちづくりの動向への対応、駐車場地域ルールの検討を行います。 |             |      |                 |
| 事業費                                  | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                           | 決算額         |      | 執行率             |
|                                      | 58,680,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                           | 53,890,020円 |      | 91.8%           |
| 事業実績                                 | ○令和7年度実績<br>(1) 地区計画制度の適用に向けた調査検討<br>対象地域：神保町地域<br>地区計画変更の考え方に関する説明会（1回開催）<br>(2) 地域協議会等の実施・支援<br>①番町次世代シンポジウム(2回開催)<br>②神保町地域まちづくり協議会(4回開催)<br>(3) 総合的なまちづくりの検討<br>再開発事業事前・事後評価制度検討会（2回開催）<br>(4) 都市計画施設のG I Sデータ作成<br>都市計画情報マップで都市計画施設に関する情報を提供するため、都市高速道路、都市計画駐車場等のG I Sデータを作成しました。                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                           |             |      |                 |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度<br>令和9年度予算への対応 | 地域特性を踏まえたきめ細やかなまちづくりのルールである地区計画制度の適用にあたっては、地域におけるまちの将来像の共有と合意形成が不可欠です。<br>令和8年度は、神保町地域において街並み再生方針の策定後、地区計画策定をめざすとともに、駐車場地域ルール策定に向けて協議会を設置します。また、再開発事業事前・事後評価制度の構築に向けた検討を進めます。紙媒体で管理されていた過去の用途地域情報についてのデータ化も進め、より明瞭かつ継続的に利用可能な形で可視化することで、今後の地区計画等の検討に活用できる基礎資料の整備を図ります。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、まちづくりの機運や開発の動向を捉えながら、地域課題・ニーズに関する調査を行い整備構想等を作成するほか、地域特性を踏まえた地区計画制度の適用に向け、地域と協議・調整を行うとともに、再開発事業事前・事後評価制度の運用開始をめざします。また、地区計画制度の検討に資する基礎的な情報基盤の充実をめざします。 |                                                                                                                                                                                                                                                           |             |      |                 |
| 所管課                                  | 環境まちづくり部                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 景観・都市計画課<br>地域まちづくり課                                                                                                                                                                                                                                      | 決算参考書       | 216頁 | R7予算の概要<br>145頁 |

## 62 秋葉原地域まちづくりの推進

| 第4次基本構想のめざすべき姿等                             |                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                      |         |      |
|---------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|------|
| 人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。           |                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                      |         |      |
| 将来像に向けた方向性                                  |                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                      |         |      |
| 「千代田区都市計画マスタープラン」に掲げる将来像「つながる都心」を実現する必要がある。 |                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                      |         |      |
| 事業概要                                        | 内容                                                                                                                                                                                            | 秋葉原地域では、駅周辺の機能更新や川沿いにおける親水空間の整備、公共施設の機能更新などに向け、令和元年12月に「外神田一丁目計画基本構想」を改定し、令和5年度に外神田一丁目南部地区の地区計画及び市街地再開発事業の都市計画が決定されました。<br>また、神田佐久間町地区では、地域課題の解決に向け、地権者等によるまちづくりの検討が進められています。<br>令和7年度は、引き続き地区計画の検討や市街地再開発事業による公共施設の機能更新に向けた調整を行います。 |         |      |
| 事業費                                         | 予算現額                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                      | 決算額     | 執行率  |
|                                             | 8,000,000円                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                      | 0円      | 0.0% |
| 事業実績                                        | ○令和7年度実績<br>神田佐久間町地区については、市街地再開発事業に係る都市計画と併せ、既定の地区計画の一部変更について令和6年度に都市計画審議会に付議し、令和7年度に都市計画決定告示をしました。あわせて、再開発区域外を含む地区計画区域全体の見直しの可能性について意向把握を行いました。具体的な要望等が確認されなかったことから、追加的な調査・検討の実施は見送ることとしました。 |                                                                                                                                                                                                                                      |         |      |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度予算への対応<br>令和9年度予算への対応  | 地域自らがまちづくりのルールを定め、その運用・活用を継続的に進めていくためには、多様な価値観を有する地域の人々による将来像の共有が不可欠です。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、各地域内のまちづくり団体等の活動を支援し、まちの将来像の共有やその実現に向けたルールづくり、ルールを運用していく組織づくりを推進するため、必要に応じた調整・検討を行います。           |                                                                                                                                                                                                                                      |         |      |
| 所管課                                         | 環境まちづくり部 地域まちづくり課<br>(神田地域まちづくり担当課長)                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                      | 決算参考書   | 216頁 |
|                                             |                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                      | R7予算の概要 | 145頁 |

## 63 飯田橋・富士見地域まちづくりの推進

| 第4次基本構想のめざすべき姿等                             |                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                  |             |              |
|---------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------------|
| 人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。           |                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                  |             |              |
| 将来像に向けた方向性                                  |                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                  |             |              |
| 「千代田区都市計画マスタープラン」に掲げる将来像「つながる都心」を実現する必要がある。 |                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                  |             |              |
| 事業概要                                        | 内容                                                                                                                                                                                                                                      | 飯田橋・富士見地域では、地域のまちづくり協議会において基本構想を策定し、飯田橋駅及び駅周辺の環境整備に向けてまちづくりを推進しています。<br>令和7年度は、引き続き基本構想の具現化に向けて、飯田橋駅東口周辺で検討されている複数の開発計画の調整を行います。 |             |              |
|                                             |                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                  |             |              |
| 事業費                                         | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                  | 決算額         | 執行率          |
|                                             | 20,054,000円                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                  | 19,360,000円 | 96.5%        |
| 事業実績                                        | ○令和7年度実績<br>(1) 飯田橋・富士見地域まちづくり協議会の開催（令和8年2月5日）<br>(2) 飯田橋駅東口新整備構想（検討案）に関する意見募集・意見交換会実施<br>意見募集期間：令和7年10月31日～11月14日（意見書3通）<br>意見交換会：令和7年10月31日（20名参加）<br>令和7年11月1日（5名参加）<br>(3) 飯田橋駅東口新整備構想（改定案）に関する意見募集<br>意見募集期間：令和8年2月20日～3月6日（意見書4通） |                                                                                                                                  |             |              |
|                                             |                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                  |             |              |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度予算への対応<br>令和9年度予算への対応  | 地域自らがまちづくりのルールを定め、その運用・活用を継続的に行っていくためには、多様な価値観を有する地域の人々による将来像の共有が不可欠です。<br>令和8年度は、飯田橋駅周辺の基盤整備に関する検討や飯田橋駅東口周辺で検討されている複数の開発計画の調整を行います。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、基本構想の具現化に向けた地域のまちづくりを推進していきます。                                                |                                                                                                                                  |             |              |
| 所管課 環境まちづくり部 地域まちづくり課                       |                                                                                                                                                                                                                                         | 決算参考書                                                                                                                            | 216頁        | R7予算の概要 146頁 |

## 64 神田駿河台地域まちづくりの推進

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

### 将来像に向けた方向性

「千代田区都市計画マスタープラン」に掲げる将来像「つながる都心」を実現する必要がある。

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                            |             |         |       |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------|-------|
| 事業概要                        | 内容                                                                                                                                                                                                                                               | 神田駿河台地域では、地域のまちづくり協議会において地域の課題解決に向けたまちづくりを進めており、大規模な開発事業に関しては計画の段階から議論し、地域の環境改善につながる整備を行ってきました。<br>令和7年度は、引き続き御茶ノ水駅聖橋口駅前広場の完成に向け整備を進めるとともに、茗溪通り（御茶ノ水駅前）のにぎわい形成に向けた検討を進めます。 |             |         |       |
| 事業費                         | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                            | 決算額         |         | 執行率   |
|                             | 75,872,000円                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                            | 69,818,000円 |         | 92.0% |
| 事業実績                        | ○令和7年度実績<br>(1) JR御茶ノ水駅聖橋口駅前広場整備<br>JR御茶ノ水駅聖橋口駅舎及び駅前広場は令和7年5月に全面供用開始しました。引き続き、広場整備に伴い行った人工地盤の整備工事等を実施し、令和8年3月にJR御茶ノ水駅聖橋口駅前広場整備事業を完了しました。<br>(2) まちづくり基本構想の確認<br>JR御茶ノ水駅の広場整備事業や駅舎改良工事によるバリアフリー対応整備等を踏まえ、平成18年に策定したまちづくり基本構想の現状への適合状況の確認等を実施しました。 |                                                                                                                                                                            |             |         |       |
| 令和9年度予算への対応<br>実績を踏まえた評価・課題 | 地域自らがまちづくりのルールを定め、その運用・活用を継続的に行っていくためには、多様な価値観を有する地域の人々による将来像の共有が不可欠です。<br>令和8年度は、建物の機能更新等の動向を捉えながら、まちづくり基本構想に基づくまちづくりを推進するため、地域の方々と協議・調整を図ります。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、地域の方々と協議・調整を行い、神田駿河台地域のまちづくりの推進に向けた検討を行います。                                 |                                                                                                                                                                            |             |         |       |
| 所管課                         | 環境まちづくり部 地域まちづくり課<br>(神田地域まちづくり担当課長)                                                                                                                                                                                                             | 決算参考書                                                                                                                                                                      | 216頁        | R7予算の概要 | 146頁  |

## 65 神田駅周辺地域まちづくりの推進

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

### 将来像に向けた方向性

「千代田区都市計画マスタープラン」に掲げる将来像「つながる都心」を実現する必要がある。

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                 |             |              |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------------|
| 事業概要                        | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                       | 神田警察通り沿道では、神田警察通り沿道整備推進協議会を設置し、地域の将来像を描き、その実現に向けた取組みを進めています。<br>令和7年度は、道路空間や広場など公共的な空間のにぎわい形成を実現していくためのまちづくりの検討を行うとともに、神田駅周辺で検討されている複数の開発計画の方向性をまとめるための支援を行います。 |             |              |
| 事業費                         | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                 | 決算額         | 執行率          |
|                             | 22,566,000円                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                 | 18,895,000円 | 83.7%        |
| 事業実績                        | ○令和7年度実績<br>(1) 神田警察通り沿道のまちづくり検討<br>神田警察通り周辺まちづくり方針を踏まえ、神田駅周辺のまちづくりの検討を行いました。<br>(2) 神田錦町南部地区地区計画変更等支援<br>地区計画の変更内容を検討するとともに、神田錦町南部地区まちづくりガイドラインに関する説明会・パブリックコメント（意見者数：20名、意見：29件）を行い、令和7年9月にガイドラインを策定しました。<br>また、地区内の駐車場地域ルール策定に向けて学識経験者や地域関係者、関係機関で地域ルール内容の検討を行いました。   |                                                                                                                                                                 |             |              |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度予算への対応 | 地域自らがまちづくりのルールを定め、その運用・活用を継続的に行っていくためには、多様な価値観を有する地域の人々による将来像の共有が不可欠です。<br>令和8年度は、道路空間や広場など公共的な空間のにぎわい形成を実現していくためのまちづくりの検討を行うとともに、神田駅周辺で検討されている複数の開発計画の方向性をまとめるための支援を行います。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、沿道だけでなく、その周辺を含めた地域の魅力を高め、道路空間や広場など公共的な空間のにぎわい形成を実現していくためのまちづくりを推進していきます。 |                                                                                                                                                                 |             |              |
| 所管課                         | 環境まちづくり部 地域まちづくり課<br>(神田地域まちづくり担当課長)                                                                                                                                                                                                                                     | 決算参考書                                                                                                                                                           | 216頁        | R7予算の概要 146頁 |

## 66 高齢者住まいサポート事業【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

### 将来像に向けた方向性

マンション管理の適正化を図るとともに、誰もが暮らしやすい住まい・住環境整備を行う必要がある。

|                                       |                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                     |          |         |              |
|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|---------|--------------|
| 事業概要                                  | 内容                                                                                                                                                                                                                             | 民間賃貸住宅の家主（大家等の賃貸人）が、高齢者世帯の入居制限を行う理由として、居室内での死亡事故等に対する不安やリスクの負担が多く挙げられています。<br>令和7年度は、高齢者等の入居を推進するため、高齢者世帯が入居する賃貸住宅について、孤独死等による死亡事故に伴う居室原状回復費や家賃損失等を補償する新たな保険契約を区が保険会社と締結し、その保険料を区が全額負担することで、家主の不安やリスク負担の軽減を図り、高齢者等に住宅を賃貸する家主を支援します（千代田区家主サポート保険事業）。 |          |         |              |
| 事業費                                   | 予算現額                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                     | 決算額      |         | 執行率          |
|                                       | 2,500,000円                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                     | 350,000円 |         | 14.0%        |
| 事業実績                                  | ○令和7年度実績                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                     |          |         |              |
|                                       | (1) 千代田区家主サポート保険事業                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                     |          |         |              |
|                                       | 令和7年5月20日から家主による対象住宅の登録の受付を開始しました。                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                     |          |         |              |
|                                       |                                                                                                                                                                                                                                | 令和7年度                                                                                                                                                                                                                                               |          |         |              |
|                                       | 登録件数                                                                                                                                                                                                                           | 11件                                                                                                                                                                                                                                                 |          |         |              |
|                                       | (2) 高齢者住まいサポートのためのその他の助成                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                     |          |         |              |
|                                       | 助成種類                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                     | 令和7年度    |         |              |
|                                       |                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                     | 助成世帯数    | 助成額     |              |
|                                       | 高齢者等家賃債務保証制度利用支援                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                     | 1世帯      | 50,000円 |              |
|                                       | 高齢者向け返済特例制度助成                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                     | 0世帯      | 0円      |              |
| 高齢者等安心居住支援家賃助成                        |                                                                                                                                                                                                                                | 0世帯                                                                                                                                                                                                                                                 | 0円       |         |              |
| ※（1）（2）ともに申請件数が想定を下回ったため、執行率が低くなりました。 |                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                     |          |         |              |
| ※高齢者向け返済特例制度助成は令和7年度で事業を完了しました。       |                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                     |          |         |              |
| 令和9年度予算への対応                           | 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度の取組状況<br>高齢者の入居を推進するため、より利用しやすい制度への継続的な見直し及び周知の拡大が必要です。<br>令和8年度は、宅地建物取引業者や区民からの意見を踏まえ家主サポート保険事業の対象住宅の家賃上限を撤廃するとともに、周知が行き届いていない不動産会社への積極的な働きかけを行います。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、各種制度の利用実績を踏まえた制度の検証及び周知拡大を図ります。 |                                                                                                                                                                                                                                                     |          |         |              |
| 所管課 環境まちづくり部 住宅課                      |                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                     | 決算参考書    | 216頁    | R7予算の概要 147頁 |

## 67 マンション管理の適正化の推進【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

### 将来像に向けた方向性

マンション管理の適正化を図るとともに、誰もが暮らしやすい住まい・住環境整備を行う必要がある。

（関連する主な分野別計画：千代田区マンション管理適正化推進計画）

|                                                                                      |                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |       |         |       |      |      |       |     |    |    |       |     |    |    |
|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------|-------|------|------|-------|-----|----|----|-------|-----|----|----|
| 事業概要                                                                                 | 内容                                                                                                                                                                                         | 区は、マンションの管理水準を底上げするため国の基本方針に基づくマンション管理適正化推進計画を策定し、令和5年度からマンション管理計画の認定制度を開始するとともに、マンション管理の適正化の推進に向けて取り組んでいます。<br>令和7年度は、マンション管理の適正化に向けた取組み等をより一層推進するため、区職員とまちみらい千代田の派遣するマンション管理士が旧耐震基準のマンション管理組合を訪問するプッシュ型支援を実施し、耐震化やマンション管理計画の認定取得を促進します。あわせて、認定基準を満たさないマンション管理組合に対しては、長期修繕計画の見直し等の管理水準の底上げに向けた助言等を行います。<br>また、マンション管理計画認定を取得している又は認定要件を満たしている高経年分譲マンションの管理組合に対して、共用部の改修費を一部助成（助成率：2／10、上限額：1,000万円）し、適正なマンション管理を支援します。 |       |         |       |      |      |       |     |    |    |       |     |    |    |
|                                                                                      |                                                                                                                                                                                            | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 決算額   | 執行率     |       |      |      |       |     |    |    |       |     |    |    |
| 事業費                                                                                  | 25,194,000円                                                                                                                                                                                | 4,379,430円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 17.4% |         |       |      |      |       |     |    |    |       |     |    |    |
| 事業実績                                                                                 | ○令和7年度実績<br>(1) マンション管理計画認定件数                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |       |         |       |      |      |       |     |    |    |       |     |    |    |
|                                                                                      | <table><tr><td></td><td>新規認定</td><td>更新認定</td><td>変更認定</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>15件</td><td>0件</td><td>1件</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>12件</td><td>0件</td><td>0件</td></tr></table> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |       |         | 新規認定  | 更新認定 | 変更認定 | 令和7年度 | 15件 | 0件 | 1件 | 令和6年度 | 12件 | 0件 | 0件 |
|                                                                                      |                                                                                                                                                                                            | 新規認定                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 更新認定  | 変更認定    |       |      |      |       |     |    |    |       |     |    |    |
|                                                                                      | 令和7年度                                                                                                                                                                                      | 15件                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 0件    | 1件      |       |      |      |       |     |    |    |       |     |    |    |
| 令和6年度                                                                                | 12件                                                                                                                                                                                        | 0件                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 0件    |         |       |      |      |       |     |    |    |       |     |    |    |
| (2) 旧耐震基準マンション訪問及び相談対応業務                                                             |                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |       |         |       |      |      |       |     |    |    |       |     |    |    |
| <table><tr><td></td><td>訪問・相談件数</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>46件</td></tr></table> |                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |       | 訪問・相談件数 | 令和7年度 | 46件  |      |       |     |    |    |       |     |    |    |
|                                                                                      | 訪問・相談件数                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |       |         |       |      |      |       |     |    |    |       |     |    |    |
| 令和7年度                                                                                | 46件                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |       |         |       |      |      |       |     |    |    |       |     |    |    |
| 令和9年度予算への対応                                                                          | (3) 共用部改修費助成<br>令和7年度実績なし<br>※(2)旧耐震基準マンション訪問及び相談対応業務において実際に要した経費が想定を下回ったこと、(3)共用部改修費助成において申請実績がなかったことなどから、執行率が低くなりました。                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |       |         |       |      |      |       |     |    |    |       |     |    |    |
|                                                                                      | 旧耐震基準マンション等の管理適正化が課題であり、区やまちみらい千代田の実施する支援策の利用拡大を図ることが必要です。                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |       |         |       |      |      |       |     |    |    |       |     |    |    |
|                                                                                      | 令和8年度は、マンション管理計画認定の取得促進や、旧耐震基準マンションに対するプッシュ型支援などを継続するとともに、管理適正化に向けた取組みのあり方について検討を進めます。                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |       |         |       |      |      |       |     |    |    |       |     |    |    |
|                                                                                      | 令和9年度は、令和8年度の取組みを踏まえ、マンション管理適正化のより一層の推進を図ります。                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |       |         |       |      |      |       |     |    |    |       |     |    |    |
| 所管課 環境まちづくり部 住宅課                                                                     |                                                                                                                                                                                            | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 218頁  | R7予算の概要 | 147頁  |      |      |       |     |    |    |       |     |    |    |

## 68 衛生環境整備事業（ねずみ対策）【新規】

|                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                        |            |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                        |            |
| 人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。                                                                                 |                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                        |            |
| 将来像に向けた方向性                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                        |            |
| <p>マンション管理の適正化を図るとともに、誰もが暮らしやすい住まい・住環境整備を行う必要がある。</p> <p>（関連する主な分野別計画：令和7年度千代田区食品衛生監視指導計画、第5次千代田区一般廃棄物処理基本計画）</p> |                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                        |            |
| 事業概要                                                                                                              | 内容                                                                                                                                                                                                 | <p>区は、ねずみの被害に関して、地域からの相談や情報提供が増加傾向にあることから、生息調査や重点対策等を実施しています。</p> <p>ねずみが繁殖する原因の一つとして、排出されるごみがエサとなっていると考えられるため、マンション管理組合や賃貸マンションの所有者に対して、マンションの廃棄物集積所の修繕や蓋付ごみストッカーを設置した費用の一部を令和7年度に限り補助（補助率：10/10、上限額：30万円）することで、ねずみ対策を迅速に進めていきます。</p> |            |
| 事業費                                                                                                               | 予算現額                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                        | 執行率        |
|                                                                                                                   | 8,106,000円                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                        | 55.5%      |
| 事業実績                                                                                                              | ○令和7年度実績                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                        |            |
|                                                                                                                   | 助成内容                                                                                                                                                                                               | 申請                                                                                                                                                                                                                                     | 助成額        |
|                                                                                                                   | 蓋付ごみ箱等購入                                                                                                                                                                                           | 7件                                                                                                                                                                                                                                     | 1,797,000円 |
|                                                                                                                   | ごみの一時保管場所改修                                                                                                                                                                                        | 3件                                                                                                                                                                                                                                     | 900,000円   |
|                                                                                                                   | 計                                                                                                                                                                                                  | 10件                                                                                                                                                                                                                                    | 2,697,000円 |
|                                                                                                                   | ※申請件数が想定を下回ったため、執行率が低くなりました。                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                        |            |
| 令和9年度予算への対応                                                                                                       | <p>ねずみの繁殖を防ぐためには、そのエサとなりうるごみへの接触を物理的に遮断し、その食料供給源を断つことが有効です。</p> <p>令和8年度は、令和7年度に引き続き、生活衛生課や千代田清掃事務所など関係各課と連携しながら、本助成制度の利用拡大を図ります。</p> <p>令和9年度は、令和8年度の実績を踏まえ、マンションにおける衛生環境の整備に向けた取組みについて検討します。</p> |                                                                                                                                                                                                                                        |            |
| 所管課 環境まちづくり部 住宅課                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                    | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                  | 218頁       |
|                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                    | R7予算の概要                                                                                                                                                                                                                                | 148頁       |

## 69 建物の耐震化等促進事業【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

地域特性を踏まえた強靱な都市基盤や災害に備えた体制のもとで、安心して暮らすことができます。

### 将来像に向けた方向性

安全で安心な都市基盤を構築するとともに、市街地の耐震化を促進する必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区耐震改修促進計画)

|      |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業概要 | 内容 | 区は、「千代田区耐震改修促進計画」に基づき、マンションや木造住宅、特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化等を促進し、大地震等の被害から区民の生命・財産を守り、地震に強く安全で安心なまちづくりをめざすための取組みを進めています。                                                                                                                                                                                                                                                       |
|      |    | 令和7年度は、木造住宅の耐震化促進助成のうち、耐震診断に要する費用の助成額を15万円から20万円（助成率：10／10）に引き上げ、木造住宅における耐震化に向けた取組みを一層促進します。<br>また、分譲マンションの耐震化を加速させるため、耐震化の課題解決につながる知見が得られる耐震改修を「分譲マンション耐震化促進モデル事業」に位置づけ、3年間に限り、モデル事業の耐震改修に要する費用の助成率を9／10（5,000㎡を超える部分は17／30、上限額：2億5,099万円）に引き上げます。<br>さらに、一般道路沿道の分譲マンションの耐震診断・補強設計に要する費用への助成について、緊急輸送道路沿道の分譲マンションに対する助成率及び上限額と同一まで引き上げ、費用面で耐震化への不安を抱える分譲マンションを支援します。 |

|     |              |              |       |
|-----|--------------|--------------|-------|
| 事業費 | 予算現額         | 決算額          | 執行率   |
|     | 581,373,000円 | 437,897,000円 | 75.3% |

事業実績

| ○令和7年度実績              |          |    |             |             |
|-----------------------|----------|----|-------------|-------------|
| 助成制度                  | 助成内容     | 件数 | 助成実績額（円）    | 合計（円）       |
| 分譲マンションの耐震化促進モデル事業助成  | 耐震改修     | 1  | 181,602,000 | 181,602,000 |
| 木造住宅の耐震化促進助成          | 耐震診断     | 1  | 200,000     | 200,000     |
| マンションの耐震化促進助成         | アドバイザー派遣 | 1  | 46,000      | 89,028,000  |
|                       | 耐震診断     | 3  | 19,913,000  |             |
|                       | 除却       | 1  | 53,333,000  |             |
|                       | 耐震改修     | 1  | 15,736,000  |             |
| 特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化促進助成 | 除却       | 1  | 137,769,000 | 157,880,000 |
|                       | 建替え      | 1  | 20,111,000  |             |
| 建築物の耐震化促進助成           | 耐震診断     | 2  | 4,550,000   | 9,187,000   |
|                       | 補強設計     | 1  | 4,637,000   |             |
| 合計                    |          | 13 | 437,897,000 |             |

|                             |                                                                                                                                                         |
|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和9年度予算への対応 | 区では様々な助成制度により、建築物の耐震化を支援しています。                                                                                                                          |
|                             | 令和8年度は、木造住宅の耐震化促進助成事業において、木造2000年基準を満たさない建築物についても新たに対象とするとともに、耐震改修及び除却の助成限度額の引き上げを行います。<br>令和9年度も、令和8年度に引き続き、助成制度の活用について建物所有者等に働きかけることで、より一層の耐震化を促進します。 |

|                    |       |      |         |      |
|--------------------|-------|------|---------|------|
| 所管課 環境まちづくり部 建築指導課 | 決算参考書 | 218頁 | R7予算の概要 | 149頁 |
|--------------------|-------|------|---------|------|

## 70 耐震改修促進計画の改定【新規】

|                                                                      |                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                               |      |              |
|----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等                                                      |                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                               |      |              |
| 地域特性を踏まえた強靱な都市基盤や災害に備えた体制のもとで、安心して暮らすことができます。                        |                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                               |      |              |
| 将来像に向けた方向性                                                           |                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                               |      |              |
| 安全で安心な都市基盤を構築するとともに、市街地の耐震化を促進する必要がある。<br>(関連する主な分野別計画：千代田区耐震改修促進計画) |                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                               |      |              |
| 事業概要                                                                 | 内容                                                                                                                                                                                                                           | 現在の「千代田区耐震改修促進計画」は、建築物の所有者等が自らの問題、地域の問題として耐震化に意識的に取り組める環境を整備すること等を基本方針として、令和3年4月に改定しました。<br>令和7年度は、本計画の最終年度を迎えることから、耐震化の目標に対する耐震化状況や民間建築物等におけるエレベーターの耐震化・安全対策の現状を把握し、進捗状況を踏まえた耐震化促進の施策を展開するため、耐震改修促進計画を改定します。 |      |              |
| 事業費                                                                  | 予算現額                                                                                                                                                                                                                         | 決算額                                                                                                                                                                                                           |      | 執行率          |
|                                                                      | 11,940,000円                                                                                                                                                                                                                  | 6,589,000円                                                                                                                                                                                                    |      | 55.2%        |
| 事業実績                                                                 | ○令和7年度実績<br>(1)「千代田区耐震改修促進計画」の改定<br>現況の耐震化状況を調査・把握し、耐震化の現状と目標、取組方針、総合的な施策の展開などを検討し、令和8年度から令和12年度までの計画を定め、令和8年4月に「千代田区耐震改修促進計画」を改定しました。<br>(2)パブリックコメントの実施<br>令和8年3月5日～3月19日の期間で実施（意見なし）<br>※計画改定支援業務委託の契約差金等のため、執行率が低くなりました。 |                                                                                                                                                                                                               |      |              |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度の取組状況<br>令和9年度予算への対応                            | 本事業は、計画を改定したため、令和8年4月で完了しました。<br>今回の改定では、建築基準法における昭和56年5月31日以前に建築された建築物のうち必要な耐震性を有していない建築物に加え、新たに木造2000年基準を満たさない住宅を計画対象建築物としました。<br>今後は、改定した計画に基づき、より一層の耐震化を促進します。                                                           |                                                                                                                                                                                                               |      |              |
| 所管課 環境まちづくり部 建築指導課                                                   |                                                                                                                                                                                                                              | 決算参考書                                                                                                                                                                                                         | 218頁 | R7予算の概要 150頁 |

## 71 電線類地中化の推進

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

### 将来像に向けた方向性

安全で快適で、人にやさしい通行環境の整備を進める必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区道路整備方針、千代田区災害対策事業計画)

|                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                |       |         |      |
|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-------|---------|------|
| 事業概要                                       | 内容<br>区は、災害時の円滑な救援活動に資するとともに、歩行空間の確保や景観の向上に寄与するため、電線類の地中化に取り組んでいます。<br>令和7年度は、「多町大通り南周辺地区」の工事・設計と「二七通り西地区」の設計、「二七通り東地区」の工事に取り組みます。                                                                                                                                              |                |       |         |      |
| 事業費                                        | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                            | 決算額            | 執行率   |         |      |
|                                            | 658, 825, 000円                                                                                                                                                                                                                                                                  | 338, 217, 025円 | 51.3% |         |      |
| 事業実績                                       | ○令和7年度実績<br>(1) 設計<br>①多町大通り南周辺地区<br>道路整備工事の詳細設計を実施しました。<br>②二七通り西地区<br>電線共同溝整備の予備設計及び試掘調査を実施し、各埋設企業者と支障物移設の調整を実施しました。<br>(2) 工事<br>①多町大通り南周辺地区<br>東京電力、NTT等の引込連系管の協定工事が完了しました。<br>②二七通り東地区<br>令和7年7月に工事が完了しました。<br>※多町大通り南周辺地区について、当初予定していた車道舗装の復旧面積が少なくなったこと等により、執行率が低くなりました。 |                |       |         |      |
|                                            | <br>▲竣工後（二七通り東地区）                                                                                                                                                                           |                |       |         |      |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度予算への対応<br>令和9年度予算への対応 | 電線類地中化整備にあたっては、誰もが安全で安心して快適に利用できる道路空間の創出に向けて、環境や景観へ配慮するとともに、地域の生活や事業活動を支える基盤であるという視点をもって着実かつ安全に事業を進めていくことが重要です。<br>令和8年度は、多町大通り南周辺地区の電線・電柱撤去後に道路整備工事を進め、二七通り西地区の詳細設計に取り組みます。<br>令和9年度も、令和8年度に引き続き、電線類地中化の推進に取り組みます。                                                             |                |       |         |      |
| 所管課                                        | 環境まちづくり部 道路公園課<br>(基盤整備計画担当課長)                                                                                                                                                                                                                                                  | 決算参考書          | 222頁  | R7予算の概要 | 148頁 |

## 72 歩道の設置・拡幅整備

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

### 将来像に向けた方向性

安全で快適で、人にやさしい通行環境の整備を進める必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区道路整備方針、千代田区災害対策事業計画)

|      |    |                                                                                                                                                         |
|------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業概要 | 内容 | 区は、交通事故の防止を図るとともに、歩行者や車椅子利用者などが安心して利用できる歩行空間を確保するため、歩道の設置・拡幅整備に取り組んでいます。<br>令和7年度は、引き続き「五十通り」と「清洲橋通り（靖国通り以南）」の設計と「神田駅ガード下」の工事を実施するとともに、「五十通り」の工事に着手します。 |
|      |    |                                                                                                                                                         |

|     |              |             |       |
|-----|--------------|-------------|-------|
| 事業費 | 予算現額         | 決算額         | 執行率   |
|     | 247,000,000円 | 85,168,300円 | 34.5% |

事業実績

○令和7年度実績

(1) 設計

2路線の設計に取り組み、交通管理者協議を行うとともに沿道協議会等で整備内容を検討しました。

|   | 実施路線          | 内容   |
|---|---------------|------|
| 1 | 清洲橋通り（靖国通り以南） | 修正設計 |
| 2 | 五十通り          | 修正設計 |

(2) 工事

令和7年7月に神田駅ガード下工事が完了しました。

※五十通りの整備工事において、入札不調により執行率が低くなりました（予算の一部を令和8年度に繰り越しました）。

▲竣工後（神田駅ガード下）

|                             |                                                                                                                                                                                                                      |  |  |
|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度予算への対応 | <p>歩道の設置・拡幅整備にあたっては、誰もが安全で安心して快適に利用できる道路空間の創出に向けて、環境や景観へ配慮するとともに、地域の生活や事業活動を支える基盤であるという視点をもって、着実かつ安全に事業を進めていくことが重要です。</p> <p>令和8年度は、「清洲橋通り（靖国通り以南）」、「五十通り」の工事に着手します。</p> <p>令和9年度も、令和8年度に引き続き、歩道のバリアフリー化に取り組めます。</p> |  |  |
|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|

|     |                                |       |      |         |      |
|-----|--------------------------------|-------|------|---------|------|
| 所管課 | 環境まちづくり部 道路公園課<br>(基盤整備計画担当課長) | 決算参考書 | 222頁 | R7予算の概要 | 148頁 |
|-----|--------------------------------|-------|------|---------|------|

## 73 橋梁の整備

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

地域特性を踏まえた強靱な都市基盤や災害に備えた体制のもとで、安心して暮らすことができます。

### 将来像に向けた方向性

安全で安心な都市基盤を構築するとともに、市街地の耐震化を促進する必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区橋梁長寿命化修繕計画)

|                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |              |        |         |      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|--------|---------|------|
| 事業概要                                                                                         | 内容<br>区が管理する橋梁は、大正から昭和初期までに架けられたものが多くあり、「千代田区橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、予防保全の観点から5年に1回点検のうえ、傷んだ箇所の補修や大きな地震に備えて壊れにくい丈夫な橋とするための補強、橋の劣化を防ぐための塗装塗替等を行っています。<br>令和7年度は、「雉子橋」「新川橋」「南堀留橋」に加え、新たに「三崎橋」の補修等工事を行うとともに、引き続き「宝田橋」の設計に取り組みます。また、5年に1回の橋梁点検調査も実施します。                                                                                                           |              |        |         |      |
| 事業費                                                                                          | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 決算額          | 執行率    |         |      |
|                                                                                              | 1,261,363,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 637,835,533円 | 50.6%  |         |      |
| 事業実績                                                                                         | ○令和7年度実績<br>(1) 設計・点検<br>三崎橋補修等修正設計、宝田橋塗装塗替等修正設計、橋梁点検調査（27橋）<br>(2) 工事                                                                                                                                                                                                                                                                                |              |        |         |      |
|                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 実施箇所         | 主な工事種類 |         |      |
|                                                                                              | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 新川橋(工事完了)    | 塗装塗替   |         |      |
|                                                                                              | 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 雉子橋          | 補修補強   |         |      |
|                                                                                              | 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 南堀留橋         | 塗装塗替   |         |      |
| ※三崎橋補修等工事について、東京都建設局河川部との協議において、工事方法等の見直しを伴う大幅な工事内容の変更に関する検討を行う必要が生じたため、工事発注に至らず執行率が低くなりました。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |              |        |         |      |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度の取組状況<br>令和9年度予算への対応                                                    | 橋梁整備にあたっては、誰もが安全で安心して快適に利用できる道路空間の創出に向けて、環境や景観へ配慮するとともに、地域の生活や事業活動を支える基盤であるという視点をもって、着実かつ安全に事業を進めていくことが重要です。また、交通管理者、河川管理者、鉄道事業者等の関係機関との協議・調整を要することから、計画的な事業推進が求められます。<br>令和8年度は、南堀留橋の工事完了をめざすとともに、引き続き雉子橋の整備を進めるほか、新たに三崎橋及び宝田橋の工事に着手します。あわせて、橋梁点検結果を踏まえた長寿命化修繕計画の改定、隼町無名橋の塗装等修正設計及び常盤橋耐震調査業務を行います。<br>令和9年度においても、引き続き橋梁整備を推進し、計画に基づく予防保全型の維持管理を進めます。 |              |        |         |      |
| 所管課                                                                                          | 環境まちづくり部 道路公園課<br>(基盤整備計画担当課長)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 決算参考書        | 222頁   | R7予算の概要 | 150頁 |

## 74 自転車通行環境整備

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

人にやさしいまちづくりにより、便利で快適な都心生活を送っています。

### 将来像に向けた方向性

安全で快適で、人にやさしい通行環境の整備を進める必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区道路整備方針)

|                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |              |       |         |      |
|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-------|---------|------|
| 事業概要                                       | 内容<br>近年、健康や環境、災害対策などへの意識の高まりにより、自転車利用のニーズが高まっています。一方で、交通安全上の問題も増加していることから、区は、自転車の安全な走行環境の整備を進めています。<br>令和7年度は、神田警察通りにおいて、Ⅱ期区間の工事及び次期以降の設計と工事に取り組みます。                                                                                                                                                                                                                                         |              |       |         |      |
| 事業費                                        | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 決算額          | 執行率   |         |      |
|                                            | 685,471,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 208,583,887円 | 30.4% |         |      |
| 事業実績                                       | ○令和7年度実績<br>(1) 設計<br>神田警察通り次期以降区間道路修正設計については、Ⅱ期工事の妨害行為により次期以降区間の施工時期に目途がたらず、計画に大幅な遅延が生じています。このため、改めて都道管理者（第一建設事務所）、国道管理者（東京国道事務所）、交通管理者（警視庁）との協議を行っていく必要が生じ、契約期間を延伸しました（予算の一部を令和8年度に繰り越しました）。<br>(2) 工事<br>①神田警察通りⅡ期<br>神田警察通りⅡ期工事については、反対している一部の住民と外部の方の度重なる妨害行為により、当初予定どおり工事が進まなかったため、令和7年度中の完了には至りませんでした。<br>②神田警察通り次期以降<br>次期以降区間の工事については、Ⅱ期工事が当初予定どおり進まず完了の見込みがたなかったことから工事着手には至りませんでした。 |              |       |         |      |
|                                            | <div></div> <p>▲整備後（神田警察通りⅡ期イメージ）</p>                                                                                                                                                                                                                                                                     |              |       |         |      |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度予算への対応<br>令和9年度予算への対応 | 自転車通行環境の整備にあたっては、誰もが安全で安心して快適に利用できる道路空間の創出に向けて、環境や景観へ配慮するとともに、地域の生活や事業活動を支える基盤であるという視点をもって、着実かつ安全に事業を進めていくことが重要です。<br>令和8年度は、神田警察通りⅡ期工事の完了をめざすとともに、次期以降の整備区間について修正設計を完了し工事に着手します。また、令和7年度に策定された千代田区自転車活用推進計画に基づき、自転車ネットワーク路線について、自転車走行空間の整備に向けた調査及び設計を実施します。<br>令和9年度以降も、令和8年度に引き続き、自転車通行環境の整備に取り組みます。                                                                                        |              |       |         |      |
| 所管課                                        | 環境まちづくり部 道路公園課<br>(基盤整備計画担当課長)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 決算参考書        | 222頁  | R7予算の概要 | 149頁 |

## 75 公園・児童遊園の整備【拡充・補正予算】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。

### 将来像に向けた方向性

良好な環境を整備し、都心生活の質を豊かにしていく必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区公園づくり基本方針)

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |              |                   |
|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-------------------|
| 事業概要                                      | 内容<br>区は、地域の歴史や特性を踏まえながら公園・児童遊園の整備や維持管理を行うため、令和6年度に「千代田区公園づくり基本方針」を改定しました。<br>令和7年度は、方針に基づく先駆的な公園整備を進めるため、スケートボードパークやボルダリング施設の導入に向けた飯田橋こどもの広場改修工事を進めるほか、自立支援センター設置期間終了に伴う神田橋公園改修工事の詳細設計及び工事に着手します。<br>また、令和6年の夏期に酷暑対策として実施した淡路公園の日よけの設置日数を拡大するとともに、公園内での花火利用を引き続き実施します。                                                                                                                                                                                                           |              |                   |
| 事業費                                       | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 決算額          | 執行率               |
|                                           | 478,674,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 413,104,171円 | 86.3%             |
| 事業実績                                      | ○令和7年度実績<br>(1) 飯田橋こどもの広場改修工事<br>地域の方々と意見交換の場を重ね理解を得ながら、広場の特性を活かした設計を進め、工事に着手しました。また、工事の進捗についてニュースレターを作成・配布し、周知を行いました。なお、土中から廃棄物が発見されたため、その処分に時間を要したことにより令和7年度中の工事完了には至りませんでした（予算の一部を令和8年度に繰り越しました）。<br>(2) 神田橋公園改修工事詳細設計・工事【補正予算】<br>公園利用者に対してオープンハウス型説明会を実施し、幅広く意見を収集しました。得られた意見を基にニュースレターを作成・配布し地域の理解を得ながら広場の設計を進め、工事に着手しました。<br>(3) 日よけ設置<br>公園内の酷暑対策として、淡路公園に夏季期間中に日よけを設置しました。なお、設置期間を令和6年度の42日間から令和7年度は68日間に拡大しました。<br>(4) 公園等での花火利用<br>区内8か所の公園等で、夏季期間の手持ち花火利用の取組みを実施しました。 |              |                   |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度の取組状況<br>令和9年度予算への対応 | 公園・児童遊園の整備においては、地域へのニーズ調査をはじめとした意見収集を行うとともに、検討状況を積極的に発信するなど細やかな周知にも努めながら検討を進めていく必要があります。<br>令和8年度は、こどもの遊び場整備として飯田橋こどもの広場をリニューアルオープンするほか、神田橋公園をボールパークとして再整備します。加えて地域の意見を踏まえながら秋葉原公園、千鳥ヶ淵公園及び錦三会児童遊園の設計を進め、秋葉原公園及び錦三会児童遊園の工事に着手します。また、酷暑対策として公園内、特にこどもの池利用者に対する日よけ対策を進め、安全で安心な公園づくりに取り組んでいきます。<br>令和9年度は、千鳥ヶ淵公園の設計を引き続き行うとともに、公園づくり基本方針に基づき、公園・児童遊園等の整備を進めていきます。                                                                                                                    |              |                   |
| 所管課                                       | 環境まちづくり部 道路公園課<br>(基盤整備計画担当課長)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 決算参考書        | 224頁 R7予算の概要 141頁 |

## 76 東郷元帥記念公園の整備

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。

### 将来像に向けた方向性

良好な環境を整備し、都心生活の質を豊かにしていく必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区公園づくり基本方針)

|                             |                                                                                                                                                 |                                                                                                            |                                                                                      |              |
|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 事業概要                        | 内容                                                                                                                                              | 東郷元帥記念公園は、歴史的経緯を尊重しながら、より一層地域に愛される公園としてリニューアルするため、改修整備を進めています。<br>令和7年度は、引き続き上・中段部の工事を進め、リニューアルオープンをめざします。 |                                                                                      |              |
| 事業費                         | 予算現額                                                                                                                                            | 決算額                                                                                                        | 執行率                                                                                  |              |
|                             | 456,000,000円                                                                                                                                    | 396,777,068円                                                                                               | 87.0%                                                                                |              |
| 事業実績                        | ○令和7年度実績<br>(1) 整備工事<br>令和8年3月に工事が完了しました。<br>(2) 開園イベント<br>令和8年3月28日に開催しました。                                                                    |                                                                                                            |                                                                                      |              |
|                             |                                                              |                                                                                                            |  |              |
|                             | ▲整備後（遊具）                                                                                                                                        |                                                                                                            | ▲整備後（こどもの池）                                                                          |              |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和9年度予算への対応 | 令和7年度で整備工事を完了後、一部遊具の利用を休止していましたが、主な利用者である近隣小学校の児童や学校関係者、地域関係者の協力のもと遊具の利用ルールを策定し、令和8年6月26日から利用を再開しました。<br>より一層地域に愛される公園となるよう、今後も適切な維持管理に努めていきます。 |                                                                                                            |                                                                                      |              |
| 所管課 環境まちづくり部 道路公園課          |                                                                                                                                                 | 決算参考書                                                                                                      | 224頁                                                                                 | R7予算の概要 141頁 |

## 77 事業系ごみ等対策【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。

### 将来像に向けた方向性

資源循環型社会・経済を実現する必要がある。

(関連する主な分野別計画：第5次千代田区一般廃棄物処理基本計画)

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                     |      |         |      |
|-----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|------|
| 事業概要                        | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 区は、区民と事業者の協働による廃棄物の適正処理と資源化を推進し、2050年までにごみ焼却量や最終処分量を限りなくゼロに近づける「2050ゼロ・ウェイストちよだ」の実現に向けて、「千代田区一般廃棄物処理基本計画」を令和6年度に改定しました。<br>令和7年度は、区内のごみ排出量の約9割を占める事業系ごみの削減を推進するため、特に割合の多い食品廃棄物に重点を置き、事業系生ごみ処理機の設置費用の一部を新たに補助（補助率：1／2、上限額：200万円）します。 |      |         |      |
| 事業費                         | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 決算額                                                                                                                                                                                                                                 |      | 執行率     |      |
|                             | 8,183,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 2,713,955円                                                                                                                                                                                                                          |      | 33.2%   |      |
| 事業実績                        | ○令和7年度実績<br>(1) 事業用生ごみ処理機購入費助成制度の開始<br>①助成対象者 区内の事業所で事業を営む事業者<br>②助成対象機器 以下の要件をすべて満たすもの<br>・1日当たりの最大処理能力が10kg以上であること<br>・申請日の属する年度の1月末日までに設置及び稼働させること<br>③助成金額 生ごみ処理機の本体の価格に設置費用を加えた額の2分の1（上限200万円）<br>④助成実績 0件<br>(2) 本庁舎10階食堂における生ごみ処理機の設置<br>本庁舎から排出される生ごみの減量を目的として本庁舎10階食堂に微生物分解消滅型生ごみ処理機（最大処理容量：20kg／日）を設置しました。<br>※事業用生ごみ処理機購入費助成制度について、生ごみ排出量の多い大規模建築物に向けて周知活動を行ったものの、現時点での導入を進める事業者はなく、令和7年度の助成実績が0件となり、執行率が低くなりました。 |                                                                                                                                                                                                                                     |      |         |      |
|                             | 「2050ゼロ・ウェイストちよだ」を実現するためには、区民、事業者、区が連携・協働して、ごみを減らす、資源循環型社会・経済の実現に取り組む必要があります。<br>令和8年度は、事業用生ごみ処理機購入費助成制度の周知方法を検討し、対象となる事業者への導入促進を図ります。<br>令和9年度以降は、第5次千代田区一般廃棄物処理基本計画に基づき、「2050ゼロ・ウェイストちよだ」の目標達成に向けて、適切に進捗管理を行いながら、実効性ある施策に取り組めます。                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                     |      |         |      |
| 令和9年度予算への対応<br>実績を踏まえた評価・課題 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                     |      |         |      |
| 所管課 環境まちづくり部 千代田清掃事務所       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                               | 224頁 | R7予算の概要 | 141頁 |

## 78 食品ロス削減の推進【拡充】

|                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                         |       |
|-------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                         |       |
| 良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                         |       |
| 将来像に向けた方向性                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                         |       |
| 資源循環型社会・経済を実現する必要がある。<br>(関連する主な分野別計画：千代田区食品ロス削減推進計画) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                         |       |
| 事業概要                                                  | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <p>区は、令和6年3月に「千代田区食品ロス削減推進計画」を策定し、区民、事業者等がそれぞれの立場において主体的に食品ロス削減活動に取り組めるよう、食品を無駄にしない意識の醸成とその定着を推進しています。</p> <p>令和7年度は、食べ残しの持ち帰り対応や小盛メニューの提供等、食品ロス削減に取り組む区内の飲食店や食料品小売店を食品ロス削減協力店として認定する制度を開始するほか、廃棄される食品を消費者のニーズとマッチングさせて食品ロスを削減するフードシェアリングアプリを導入します。</p> |       |
| 事業費                                                   | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 決算額                                                                                                                                                                                                                                                     | 執行率   |
|                                                       | 4,353,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 1,844,290円                                                                                                                                                                                                                                              | 42.4% |
| 事業実績                                                  | <p>○令和7年度実績</p> <p>(1) 食品ロス削減絵画・標語展の開催</p> <p>①公募対象者 ・区内在住・在学の小学校4年生～6年生の児童<br/>・区内在住・在学の中学校及び中等教育学校（前期課程）の生徒</p> <p>②応募数 ・絵画190点（小学校92点、中学校98点）<br/>・標語375点（小学校158点、中学校217点）</p> <p>③絵画・標語展 ・期間：令和7年10月24日～30日<br/>・場所：区役所1階ロビー及び大手町プレイス ホール&amp;カンファレンス</p> <p>(2) 食品ロス削減協力店登録制度の開始</p> <p>①募集対象者 区内の飲食店、食事を提供する宿泊施設、食料品小売店</p> <p>②登録実績 38件</p> <p>(3) 食品ロス削減に向けた連携協定（令和8年3月30日締結）</p> <p>①締結事業者 株式会社コークッキング</p> <p>②連携内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品ロス削減の推進に関する事業の認知度向上に向けた取組</li> <li>・区内事業者及び区民に向けた本連携事業に関する広報及び普及啓発</li> <li>・食品ロス削減協力店の登録促進及び認知度向上に係る取組</li> <li>・フードシェアリングサービス「TABETE」を活用した区内飲食店等の増加に向けた取組</li> </ul> <p>※フードシェアリングサービス「TABETE」を活用した取組み及び食品ロス削減協力店登録制度の開始が年度末となったこと等により、執行率が低くなりました。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                         |       |
| 令和9年度予算への対応<br>実績を踏まえた評価・課題                           | <p>食品ロス削減を推進し、地域社会全体への浸透を図るためには、区の施策のみならず、区民及び事業者と連携した取組みが必要です。</p> <p>令和8年度は、引き続き絵画・標語展を開催し、児童・生徒に対する食品ロス削減の意識啓発を推進するとともに、食品ロス削減協力店の登録件数の拡大を図ります。</p> <p>令和9年度以降は、千代田区食品ロス削減推進計画に基づき、食品ロスの削減目標の達成に向けて、適切に進捗管理を行いながら、実効性ある施策に取り組めます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                         |       |
| 所管課                                                   | 環境まちづくり部 千代田清掃事務所                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                                   | 226頁  |
|                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | R7予算の概要                                                                                                                                                                                                                                                 | 142頁  |

## 79 食品ロス削減全国大会【新規】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを感じています。

### 将来像に向けた方向性

資源循環型社会・経済を実現する必要がある。  
(関連する主な分野別計画：千代田区食品ロス削減推進計画)

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                        |         |       |
|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------|
| 事業概要                        | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 区は、令和6年3月に「千代田区食品ロス削減推進計画」を策定し、食品を無駄にしない意識の醸成とその定着を推進しています。<br>令和7年度は、「第9回食品ロス削減全国大会」を千代田区で開催し、有識者による講演や食品ロス削減推進表彰の表彰式を通じて全国的な成功事例を紹介し、区民や事業者が一体的に食品ロス削減に取り組む機運を醸成します。 |         |       |
| 事業費                         | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 決算額                                                                                                                                                                    |         | 執行率   |
|                             | 12,910,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 10,452,596円                                                                                                                                                            |         | 81.0% |
| 事業実績                        | ○令和7年度実績<br>(1) 第9回食品ロス削減全国大会in千代田の開催<br>①開催日 令和7年10月30日<br>②開催場所 大手町プレイス ホール&カンファレンス<br>③来場者数 約650名<br>④開催内容 ・メイン大会<br>(オープニングセレモニー「大江戸助六太鼓」、トークセッション、食品ロス削減推進表彰・食品産業もったいない大賞、食品ロス削減絵画・標語展表彰式、トークライブ等実施)<br>・パネル・ブース展示／フードドライブ<br>・もったいないメニューの紹介<br>・食品ロス削減絵画・標語展<br>(2) 自治体職員向け研修会<br>①開催日 令和7年10月31日<br>②開催場所 日比谷図書文化館 日比谷コンベンションホール（大ホール）<br>③来場者数 42名<br>④開催テーマ「気候変動対策・循環型社会・地域共生に貢献する食品ロス削減に向けて、事業者と市民をつなぐ自治体の役割」 |                                                                                                                                                                        |         |       |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和9年度予算への対応 | 本事業は、食品ロス削減に向けた全国的な機運の醸成を目的として、毎年10月30日の「食品ロス削減の日」にあわせて開催されている全国規模のイベントであり、開催地を毎年各地で選定しているため、令和7年度で完了しました。<br>今後は、循環型社会・経済の実現をめざし、区民・事業者・区が一体となって食品ロス削減に向けた取組みを進めます。                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                        |         |       |
| 所管課                         | 環境まちづくり部                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 千代田清掃事務所                                                                                                                                                               | 決算参考書   | 226頁  |
|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                        | R7予算の概要 | 142頁  |

## 80 ホームタウンちよだ応援事業【新規】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

基本構想の実現に向けて（（１）変化の激しい時代への柔軟な対応）

### 将来像に向けた方向性

ふるさと納税制度による区民税の減収の影響を抑制する必要がある。

|                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                    |            |        |              |    |
|--------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--------|--------------|----|
| 事業概要                                                                           | 内容                                                                                                                                                                                                                                | ふるさと納税のポータルサイトを活用し、千代田区を「ホームタウン」と感じる気持ちを、寄附を通じて形にする仕組みを創設します。<br>区民であるか否かを問わず、千代田区にゆかりのある方、千代田区をふるさとと感じる方が、区内の大学や公益的な活動を行う団体を指定して寄附を行い、区が寄附金の一部を指定された団体へ補助金として交付します。寄附金が公益的活動を行う団体等の支援に活用されることにより、地域の発展と活性化、そして地域社会の持続的な発展に寄与するとともに、寄附文化の醸成をめざします。 |            |        |              |    |
| 事業費                                                                            | 予算現額                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                    | 決算額        |        | 執行率          |    |
|                                                                                | 40,500,000円                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                    | 1,540,900円 |        | 3.8%         |    |
| 事業実績                                                                           | ○令和7年度実績<br>制度の運用を開始し、東京都都税条例指定寄附金の対象である区内団体のうち、申請があった47団体を指定団体とし、寄附を受け付けました。                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                    |            |        |              |    |
|                                                                                | (1) 指定団体の内訳                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                    |            |        |              |    |
|                                                                                | 学校法人                                                                                                                                                                                                                              | 公益財団法人                                                                                                                                                                                                                                             | 公益社団法人     | 独立行政法人 | 認定NPO法人      | 計  |
|                                                                                | 6                                                                                                                                                                                                                                 | 23                                                                                                                                                                                                                                                 | 8          | 1      | 9            | 47 |
|                                                                                | (2) 寄附受付期間<br>令和7年7月1日～12月19日                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                    |            |        |              |    |
| 事業実績                                                                           | (3) 寄附の実績                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                    |            |        |              |    |
|                                                                                | 寄附があった指定団体数                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                    | 18団体       |        |              |    |
|                                                                                | 寄附件数                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                    | 36件        |        |              |    |
|                                                                                | 寄附金額                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                    | 1,885,000円 |        |              |    |
|                                                                                | 指定団体への補助金額                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                    | 1,316,000円 |        |              |    |
| ※補助金交付上限額は、寄附金額の7割（千円未満は切り捨て）<br>※寄附制度の周知に時間を要し、寄附金額が当初の想定を下回ったため、執行率が低くなりました。 |                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                    |            |        |              |    |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度<br>令和9年度予算への対応                                           | 寄附文化の醸成に向けて、区と団体が連携し、団体の活動や制度の意義について、ポータルサイトや広報媒体等を活用し、効果的に発信していくことが必要です。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、団体と連携した情報発信を進め、寄附者の理解と共感を促進することで、寄附の定着と拡大を図ります。また、団体や寄附者にとって利用しやすい仕組みとなるよう、制度の課題を整理し、見直しを検討するなど、持続的な制度運営を図りながら、寄附文化のさらなる醸成に取り組みます。 |                                                                                                                                                                                                                                                    |            |        |              |    |
|                                                                                | 所管課 政策経営部 総務課                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                    | 決算参考書      | 228頁   | R7予算の概要 156頁 |    |

## 81 組織変革の推進【新規】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

基本構想の実現に向けて（（１）変化の激しい時代への柔軟な対応）

将来像に向けた方向性

組織変革（職員の意識改革及び組織風土改革）を行う必要がある。

|                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |            |          |         |          |       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|------------|----------|---------|----------|-------|
| 事業概要                                                                                                                                 | 内容<br>職員の働き方が多様化する中、チームワークや個としての資質の向上を図るとともに、複雑化・高度化する区政課題や様々な区民ニーズに対応可能な組織へと変革していく必要があります。<br>令和7年度は、令和6年度に策定した区の「存在意義（パーパス）」を定着させるためのワークショップ等を実施します。それにより、組織変革のためのコミュニケーションの活性化や職員同士が協力し合う文化、信頼関係を重視する組織風土の構築を進め、区民サービスの向上につなげます。                                                                               |  |            |          |         |          |       |
| 事業費                                                                                                                                  | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |  | 決算額        |          | 執行率     |          |       |
|                                                                                                                                      | 9,501,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  | 8,009,800円 |          | 84.3%   |          |       |
| 事業実績                                                                                                                                 | ○令和7年度実績<br>(1) 職員アンケートの実施<br>全職員を対象として職員や組織の現状把握等を行うアンケートを実施しました。                                                                                                                                                                                                                                                |  |            |          |         |          |       |
|                                                                                                                                      | パーパスの認知状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |            | 第1回アンケート |         | 第2回アンケート |       |
|                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |            | 回答数      | 回答率     | 回答数      | 回答率   |
|                                                                                                                                      | ①パーパスを知らない                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  |            | 264人     | 37.6%   | 97人      | 16.8% |
|                                                                                                                                      | ②パーパスを知っている                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |  |            | 263人     | 37.5%   | 270人     | 46.9% |
|                                                                                                                                      | ③パーパスに込められた意味を理解している                                                                                                                                                                                                                                                                                              |  |            | 135人     | 19.2%   | 142人     | 24.7% |
|                                                                                                                                      | ④パーパスに共感している                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |            | 33人      | 4.7%    | 45人      | 7.8%  |
|                                                                                                                                      | ⑤パーパスを自分ごと化できている                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  |            | 2人       | 0.3%    | 12人      | 2.1%  |
|                                                                                                                                      | ⑥パーパスを自分ごと化した上で、新たなチャレンジに取り組んでいる                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  |            | 5人       | 0.7%    | 10人      | 1.7%  |
|                                                                                                                                      | 合計                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |  |            | 702人     | 100%    | 576人     | 100%  |
| うちパーパスを知っている職員（②～⑥の合計）                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  | 438人       | 62.4%    | 479人    | 83.2%    |       |
| うちパーパスに込められた意味を理解している職員（③～⑥の合計）                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  | 175人       | 24.9%    | 209人    | 36.3%    |       |
| (2) 職員・管理職ワークショップの開催<br>組織風土の醸成に向けた取組み等について考える職員ワークショップ（4回）を実施するとともに、課題や組織を良くしていくための自身の「挑戦」について考える管理職ワークショップ（1回）を実施しました。             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |            |          |         |          |       |
| (3) 職員向け広報誌の発行等<br>挑戦が評価され、互いの顔が見える関係の構築をめざし、職員の前向きな取組みの共有や職員・各課業務の紹介も盛り込んだ職員向け広報誌の発行を開始しました。また、組織変革の意義やパーパスに込めた想いを共有する動画を庁内で配信しました。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |            |          |         |          |       |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度予算への対応                                                                                                          | パーパスの浸透・定着に向けた取組みとしてワークショップ等を実施した結果、パーパスを知っている職員は8割を超えましたが、パーパスに込められた意味を理解している職員はそのうち4割程度にとどまっており、組織風土の醸成に向け、組織変革・パーパスへの理解・共感をより一層図っていく必要があります。<br>令和8年度は、ワークショップや職員向け広報誌の発行等を通じてパーパスの浸透・定着を図るとともに、これまでの職員アンケートやワークショップで確認した課題解決に向けて、具体的な取組みを推進しています。<br>令和9年度は、令和8年度に実施する取組みや職員アンケートの結果等を踏まえながら、継続的に組織変革に取り組めます。 |  |            |          |         |          |       |
| 所管課 政策経営部 企画課                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  | 決算参考書      | 230頁     | R7予算の概要 | 157頁     |       |

## 82 旧箱根千代田荘・軽井沢少年自然の家の解体【新規】

|                                     |                                                                                                             |                                                                                                                           |             |
|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等                     |                                                                                                             |                                                                                                                           |             |
| 基本構想の実現に向けて（（１）変化の激しい時代への柔軟な対応）     |                                                                                                             |                                                                                                                           |             |
| 将来像に向けた方向性                          |                                                                                                             |                                                                                                                           |             |
| 公共施設を取り巻く様々な課題に柔軟かつ機動的に対応していく必要がある。 |                                                                                                             |                                                                                                                           |             |
| 事業概要                                | 内容                                                                                                          | <p>旧箱根千代田荘及び軽井沢少年自然の家については、既存建物の活用見込みがなく、維持管理費が継続的に発生しているため解体します。</p> <p>令和7年度に解体設計を行い、令和8年度に解体工事に着手、同年度内の解体完了をめざします。</p> |             |
| 事業費                                 | 予算現額                                                                                                        |                                                                                                                           | 決算額         |
|                                     | (1) 旧箱根千代田荘の解体                                                                                              |                                                                                                                           | 24,000,000円 |
|                                     | (2) 軽井沢少年自然の家の解体                                                                                            |                                                                                                                           | 16,000,000円 |
| 事業実績                                | <p>○令和7年度実績</p> <p>旧箱根千代田荘及び軽井沢少年自然の家の解体調査・設計を行いました。</p> <p>※旧箱根千代田荘の解体は、解体調査・設計業務の契約差金により、執行率が低くなりました。</p> |                                                                                                                           |             |
|                                     | <p>本事業は、令和7年度に解体調査・設計業務が完了し、令和8年度に解体工事に着手します。</p> <p>令和9年度は、令和8年度に引き続き、解体工事を実施し、年度内に工事を完了します。</p>           |                                                                                                                           |             |
| 令和9年度予算への対応                         | <p>実績を踏まえた評価・課題</p>                                                                                         |                                                                                                                           |             |
| 所管課                                 | 政策経営部                                                                                                       | 施設経営課                                                                                                                     | 決算参考書       |
|                                     |                                                                                                             |                                                                                                                           | 232頁        |
|                                     |                                                                                                             |                                                                                                                           | R7予算の概要     |
|                                     |                                                                                                             |                                                                                                                           | 157頁        |

### 83 全庁LANの保守管理【拡充】

|                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                     |                   |
|--------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                     |                   |
| 基本構想の実現に向けて（（１）変化の激しい時代への柔軟な対応）                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                     |                   |
| 将来像に向けた方向性                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                     |                   |
| 地域と住民のためのこれからの区のDXを進める必要がある。<br>（関連する主な分野別計画：千代田区DX戦略） |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                     |                   |
| 事業概要                                                   | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <p>全庁LANシステムは、業務端末のインターネットへの直接接続、最新かつ多様なクラウドサービスの活用、働き方の見直し等を目的に、高度なセキュリティを確保したうえで令和6年度から業務システムをインターネット系に配置するβ'モデルに移行しました。</p> <p>令和7年度は、電子文書管理ガイドラインを踏まえ、電子データをクラウド上で管理することで、情報資産の適正管理及び情報セキュリティ対策の強化、業務品質の向上と職員の事務作業効率化を図ります。</p> |                   |
| 事業費                                                    | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 決算額                                                                                                                                                                                                                                 | 執行率               |
|                                                        | 1,966,770,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 1,648,009,703円                                                                                                                                                                                                                      | 83.8%             |
| 事業実績                                                   | <p>○令和7年度実績</p> <p>全庁LANシステムの保守業務に加え、情報資産の一元管理や全庁ファイルサーバの容量不足解消等のため、新たにBox※を導入し、令和8年1月に庁内で運用を開始しました。</p> <p>※Box：情報資産の管理やファイル共有等を行うクラウドストレージサービス</p> <p>（１）職員向け説明会の実施</p> <p>令和7年12月から令和8年2月にかけて、Boxの操作説明会を対面及びオンラインの併用により、計10回開催しました。</p> <p>（２）サポートデスクの設置</p> <p>職員がスムーズに運用を開始できるよう、職員からの質問に対応するサポートデスクを設置しました。</p> |                                                                                                                                                                                                                                     |                   |
| 令和9年度予算への対応<br>実績を踏まえた評価・課題                            | <p>情報セキュリティの強化を図りながら、業務のさらなるデジタル化を実現するため、クラウドストレージサービスの利用などにより、全庁的に電子データを一元的かつ安全に保管可能な環境を整備する必要があります。</p> <p>令和8年度は、電子データ保護に係るセキュリティ対策及び電子データのライフサイクル管理について検討を進めます。</p> <p>令和9年度は、令和8年度に引き続き、情報資産の適正管理及び情報セキュリティ対策の強化、業務品質の向上と職員の事務作業効率化を図ります。</p>                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                     |                   |
| 所管課 政策経営部 情報システム課                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                               | 232頁 R7予算の概要 158頁 |

## 84 情報セキュリティ対策の推進【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

基本構想の実現に向けて（（１）変化の激しい時代への柔軟な対応）

### 将来像に向けた方向性

地域と住民のためのこれからの区のDXを進める必要がある。  
（関連する主な分野別計画：千代田区DX戦略）

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |       |                |         |        |      |                   |     |                   |     |
|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----------------|---------|--------|------|-------------------|-----|-------------------|-----|
| 事業概要                                      | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 情報セキュリティ対策を推進するためには、機器・ネットワークへの対策に加え、情報セキュリティインシデントを起こさない組織や職員個人のリテラシー向上が必要です。<br>また、区が管理監督責任を負う業務委託先についても、情報資産の取扱状況が適切かを確認する等の対策が求められます。<br>令和7年度は、インシデントの類型に応じた各所属での対策に加え、より専門的な調査や分析、発生予防策の立案を行います。また、個別具体のインシデント事例に基づいたヒューマンエラー防止研修を実施し、組織全体のインシデント発生を抑制します。<br>さらに、業務委託先のセキュリティレベル担保のために委託基準を策定し、情報資産の適切な管理に取り組みます。 |       |                |         |        |      |                   |     |                   |     |
| 事業費                                       | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 134, 113, 000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 決算額   | 114, 953, 850円 | 執行率     | 85. 7% |      |                   |     |                   |     |
| 事業実績                                      | ○令和7年度実績<br>(1) 情報セキュリティインシデント防止支援<br>情報セキュリティインシデントが発生した部署の担当者及び管理職にヒアリングを行い、根本原因の詳細な分析と再発防止策の立案を支援するとともに、管理職と係長級を対象としたヒューマンエラー防止研修を新たに実施しました。<br>■ヒューマンエラー防止研修受講者数<br><table><tr><td></td><td>受講者数</td></tr><tr><td>管理職向けヒューマンエラー防止研修</td><td>72名</td></tr><tr><td>係長級向けヒューマンエラー防止研修</td><td>51名</td></tr></table><br>(2) 業務委託先のセキュリティレベルの担保<br>業務委託先の情報セキュリティに関するチェックリストを策定し、委託先の情報セキュリティに関する取組状況やクラウドサービス利用の有無及びセキュリティ等を確認することで、サプライチェーン対策を強化しました。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |       |                |         |        | 受講者数 | 管理職向けヒューマンエラー防止研修 | 72名 | 係長級向けヒューマンエラー防止研修 | 51名 |
|                                           | 受講者数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |       |                |         |        |      |                   |     |                   |     |
| 管理職向けヒューマンエラー防止研修                         | 72名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |       |                |         |        |      |                   |     |                   |     |
| 係長級向けヒューマンエラー防止研修                         | 51名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |       |                |         |        |      |                   |     |                   |     |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度の取組状況<br>令和9年度予算への対応 | 情報資産の適正な運用と保護のためには、組織的対策（組織内のルール整備）、技術的対策（ハードウェア・ソフトウェア対策）、人的対策（職員の教育や意識向上）を継続的に実施していく必要があります。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、組織や職員個人の情報セキュリティに関するリテラシー向上、委託先の情報セキュリティ対策を実施するとともに、社会情勢の変化なども踏まえながら必要な対策の見直しを行い、情報資産の適正な運用と保護に取り組めます。                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |       |                |         |        |      |                   |     |                   |     |
| 所管課                                       | 政策経営部                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 情報システム課                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 決算参考書 | 234頁           | R7予算の概要 | 158頁   |      |                   |     |                   |     |

## 85 手続きの利便性向上【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

基本構想の実現に向けて（（１）変化の激しい時代への柔軟な対応）

### 将来像に向けた方向性

地域と住民のためのこれからの区のDXを進める必要がある。  
（関連する主な分野別計画：千代田区DX戦略）

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |              |       |         |      |
|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-------|---------|------|
| 事業概要                        | 内容<br>区民や業者など、地域で活動する誰もが、いつでも、どこでも、自分にあった方法を選択して申請等を行うことができるよう取組みを進めます。<br>令和7年度は、区民等の利便性向上や行政運営の効率化を図るため、行政手続きの100%オンライン化に向けて、区独自のポータルサイトの対象手続きを原則全ての手続きに拡大するとともに、事業者向けのポータルサイトを構築します。<br>また、窓口でのキャッシュレス決済の拡大やオンライン決済の対象拡大、区民に何度も書かせない取組みなど、区民一人ひとりが自分に合った方法を選択でき、誰もがデジタル化による恩恵を享受できる取組みを進めます。                                                                                                                           |              |       |         |      |
| 事業費                         | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 決算額          | 執行率   |         |      |
|                             | 230,795,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 196,322,431円 | 85.1% |         |      |
| 事業実績                        | ○令和7年度実績<br>(1) 行政手続きのオンライン化<br>原則全ての手続きのオンライン化をめざし、区独自ポータルサイトの電子申請フォームの作成を進めた結果、新たに約300手続きをオンライン化し、オンライン申請可能な手続き数は約700手続きになりました。また、事業者向けのポータルサイトを構築しました。<br>(2) キャッシュレス決済の導入<br>既に導入している本庁舎2階及び6出張所に加え、新たに千代田保健所、オアシス@akiba、メレーズ軽井沢にキャッシュレス決済を導入しました。                                                                                                                                                                    |              |       |         |      |
| 令和9年度予算への対応<br>実績を踏まえた評価・課題 | 原則全ての手続きのオンライン化に向けてポータルサイトの機能を拡充するとともに、キャッシュレス決済の導入を進めることで、区民の利便性を向上していく必要があります。<br>令和8年度は、行政手続きの100%オンライン化に向け、手数料等を伴う手続きや事業者向け手続きのオンライン化を進めるとともに、電子署名の導入により、処分通知等の手続きのオンライン化を推進します。また、ワークプレイス変革と併せて窓口でのキャッシュレス決済の導入を進めていきます。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、行政手続きの100%オンライン化に向けた取組みとキャッシュレス決済の導入を進めるとともに、CRM※の観点で区民一人ひとりに合わせた情報提供ができるよう、ポータルサイトでのプッシュ型の情報発信を推進していきます。<br>※CRM (Customer Relationship Management) : 顧客を理解し関係強化を図ること |              |       |         |      |
| 所管課                         | 政策経営部 デジタル政策課<br>(デジタル推進担当課長)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 決算参考書        | 234頁  | R7予算の概要 | 159頁 |

## 86 地域のスマート化の推進【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

基本構想の実現に向けて（（１）変化の激しい時代への柔軟な対応）

### 将来像に向けた方向性

地域と住民のためのこれからの区のDXを進める必要がある。  
（関連する主な分野別計画：千代田区DX戦略）

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |      |         |      |
|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|------|
| 事業概要                                      | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 新たな「千代田区DX戦略」では、「地域が主役となり、デジタル技術を活用して課題を解決していくこと」そして「デジタル技術の活用により、区民の利便性や職員の生産性向上に留まらず、区民の生活の質をより向上すること」を地域のスマート化と定義し、取組みを進めます。<br>令和7年度は、令和6年度にデジタル活用提案制度を実施した際に寄せられた課題をはじめとし、地域の様々な課題について、地域とともに考える区民参加型のワークショップを開催します。<br>また、コミュニティ活動や健康増進などの行政の様々な取組みを推進する手段の一つとして期待されている、デジタル地域通貨・デジタルポイントの活用可能性を検討します。 |      |         |      |
| 事業費                                       | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 決算額                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      | 執行率     |      |
|                                           | 22,594,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 22,574,200円                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      | 99.9%   |      |
| 事業実績                                      | ○令和7年度実績<br>(1) 区民参加型ワークショップの実施<br>令和6年度に実施したデジタル活用提案制度で寄せられた課題をはじめとし、地域の様々な課題について考え、政策提案を行う中学生を対象としたワークショップを実施しました。その結果、「文化財に関する情報発信の強化」と「区の情報発信の強化」について、提案を受け区での事業への反映を検討しました。<br>(2) デジタル地域通貨・デジタルポイント活用可能性の検討<br>既存の決済手段、独自の地域通貨、ポイントの実施方式や導入意義、活用例、メリット・デメリットなどについて検討しました。東京都との協議を重ね、東京ポイントの活用可能性を検討し、導入を決定しました。                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |      |         |      |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度の取組状況<br>令和9年度予算への対応 | 区民等参加型デジタルプロジェクトは、ワークショップ等を通じて、区民等の関心を得られた一方で、地域が主体となった課題解決に向け、官民共創の視点も含めて取組みを検討することが必要です。また、東京ポイントを活用したデジタルポイント事業は、対象となる事業を増やしていく必要があります。<br>令和8年度は、千代田区ポータルサイト等を通じて、試験的に区民等の意見や提案を収集し、大学や事業者等と課題の分析やサービスの検討を行うことで、地域課題の解決をめざします。また、（仮称）データ利活用ガイドブックを作成するとともに、東京都と協定を締結のうえ、東京ポイントを活用したデジタルポイント事業を開始し、対象事業の拡大を図ります。<br>令和9年度は、地域のスマート化の実現に向けて官民共創の仕組みを構築するとともに、引き続きデジタルポイント事業の対象事業を拡大し、区民生活の質の向上を図ります。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |      |         |      |
| 所管課 政策経営部 デジタル政策課                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 234頁 | R7予算の概要 | 159頁 |

## 87 デジタル化の推進に向けた環境整備【拡充】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

基本構想の実現に向けて（（１）変化の激しい時代への柔軟な対応）

### 将来像に向けた方向性

地域と住民のためのこれからの区のDXを進める必要がある。  
（関連する主な分野別計画：千代田区DX戦略）

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |      |         |      |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|------|
| 事業概要                                      | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 質の高いサービスを継続的に提供していくため、DXの推進を契機に、これまでの仕事の進め方や働く環境を見直すことで、職員の生産性を向上していきます。<br>令和7年度は、オフィス整備ガイドラインに基づき、職員の活動に応じたワークスペースを適切に配置し、場所に捉われない働き方や円滑なコミュニケーションを推進するためのパイロットオフィスとして、本庁舎6階エリアを整備するとともに、ペーパーレスに向けた取組みを実施していきます。<br>また、令和6年度に導入した生成AIの活用を促進し、さらなる職員の生産性向上を実現させ、創出した時間で区民サービスのさらなる向上につなげます。 |      |         |      |
| 事業費                                       | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 決算額                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      | 執行率     |      |
|                                           | 314,060,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 257,868,532円                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      | 82.1%   |      |
| 事業実績                                      | ○令和7年度実績<br>(1) 生成AIの活用<br>令和7年4月からMicrosoft 365の各アプリとの連携が可能な生成AI「Copilot」の試行導入を拡大(300ライセンス)し、同年10月からは本格導入(900ライセンス)することで、1か月あたり2,000時間以上の業務時間を削減する効果が得られました。<br>また、生成AIをより効果的に活用するため、特定の業務を対象とした生成AIエージェント※の作成に取り組みました。<br>※生成AIエージェント：特定のプロセスや業務課題に対応する専門化されたAI<br>(2) ワークプレイス変革<br>オフィス整備ガイドラインに基づき、パイロットオフィスとして、本庁舎6階エリアを整備しました。また、本庁舎4・5階エリア及び庁外職場等(麹町出張所、神田公園出張所、万世橋出張所、和泉橋出張所、在宅支援課)について、整備に向けた検討を行いました。<br>(3) ペーパーレスの推進<br>本庁舎6階エリアの整備に併せて、文書の電子化やキャビネットの削減等に取り組み、ペーパーレス化を進めました。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |      |         |      |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度の取組状況<br>令和9年度予算への対応 | 生成AIの効果的な活用やワークプレイス変革等を区役所全体で着実に進めることで、職員の生産性を向上するとともに、業務内容に応じて働き方を自らデザインするABW(Activity Based Working)を推進していく必要があります。<br>令和8年度は、区民が生成AIを活用し、必要な手続きや制度概要等に容易にアクセスできる仕組みの検討を行い、区民の利便性向上を図ります。また、本庁舎4階及び庁外職場等(麹町出張所、神田公園出張所、万世橋出張所、和泉橋出張所、在宅支援課)において、オフィス整備とペーパーレス化を一体的に実施し、ABWを推進します。<br>令和9年度は、生成AIの活用によるさらなる区民の利便性向上に資する取組みを推進するとともに、本庁舎5階及び庁外職場等のオフィス整備とペーパーレス化を一体的に実施し、職員の生産性向上を図ることで、質の高い区民サービスの提供をめざします。                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |      |         |      |
| 所管課                                       | 政策経営部 デジタル政策課<br>(デジタル推進担当課長)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 決算参考書                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 234頁 | R7予算の概要 | 159頁 |

## 88 デジタルチャレンジ支援【拡充・補正予算】

### 第4次基本構想のめざすべき姿等

基本構想の実現に向けて（（１）変化の激しい時代への柔軟な対応）

### 将来像に向けた方向性

地域と住民のためのこれからの区のDXを進める必要がある。  
（関連する主な分野別計画：千代田区DX戦略）

|      |    |                                                                                                                                                                                                         |
|------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業概要 | 内容 | 社会全体でデジタル化が進められる中、誰もがデジタル化の恩恵を受けられるよう、デジタルにチャレンジしたい区民等に対する支援が重要です。<br>令和7年度は、いつでもオペレーターにスマートフォンの操作方法を相談（ビデオ通話）できる常設の窓口を開設します。<br>また、令和7年11月からスマートフォンを初めて購入する高齢者等に対して購入費等の一部を助成（助成率：10/10、上限額：3万円）しています。 |
|------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|     |             |            |       |
|-----|-------------|------------|-------|
| 事業費 | 予算現額        | 決算額        | 執行率   |
|     | 18,097,000円 | 9,793,910円 | 54.1% |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |      |     |      |            |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|------|------------|
| 事業実績 | <p>○令和7年度実績</p> <p>（１）ちよだスマホ教室<br/>スマートフォンに関する悩みを相談できるコールセンターを開設するとともに、区役所や各出張所等で定期的にスマートフォンの基本操作や応用的な使い方を学べる講習会（30回/284名）、相談会（24回/255名）、体験会（5回/35名）を実施しました。</p> <p>（２）デジタルスタンプラリー<br/>専用アプリをインストールしたスマートフォンを持参して、スポットとして登録した区内の施設等を訪問することで、デジタルスタンプを取得できるスタンプラリーを7月から2月にかけて実施しました（延べ参加人数113名）。</p> <p>（３）スマホ遠隔相談窓口<br/>窓口を設置された専用端末を利用し、オペレーターにスマートフォン操作について相談（ビデオ通話）できる常設の窓口を設置しました（利用人数37名）。</p> <p>（４）高齢者スマートフォン購入費等助成<br/>区内に住所を有する65歳以上の高齢者が、指定店舗において初めてスマートフォンを購入し、所定の要件を満たした場合に、購入等に要する経費について助成しました。</p> <table border="1"> <tr> <td>助成件数</td><td>63件</td></tr> <tr> <td>助成金額</td><td>1,709,000円</td></tr> </table> <p>※デジタルデバйд対策支援業務やスマホ遠隔相談窓口業務の契約差金などにより、執行率が低くなりました。</p> | 助成件数 | 63件 | 助成金額 | 1,709,000円 |
| 助成件数 | 63件                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |      |     |      |            |
| 助成金額 | 1,709,000円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |     |      |            |

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度予算への対応 | <p>手続きのオンライン化やキャッシュレス決済の拡大等により、手続きの利便性向上を進めていく中、誰もがデジタル化の恩恵を受けられるように支援をしていく必要があります。</p> <p>令和8年度は、ちよだスマホ教室の実施回数を増やすとともに、デジタルスタンプラリー、スマホ遠隔相談窓口及び高齢者スマートフォン購入費等助成を引き続き実施し、デジタルの活用意向がある誰もがデジタルを活用できるようにしていきます。</p> <p>令和9年度は、引き続き、誰もがデジタル技術の恩恵を享受できる社会の実現のため、様々な支援に取り組みます。</p> |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                   |       |      |         |      |
|-------------------|-------|------|---------|------|
| 所管課 政策経営部 デジタル政策課 | 決算参考書 | 234頁 | R7予算の概要 | 159頁 |
|-------------------|-------|------|---------|------|

## 89 防災意識の普及・啓発【拡充】

|                                                |                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                              |              |     |           |      |         |      |
|------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-----|-----------|------|---------|------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等                                |                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                              |              |     |           |      |         |      |
| 地域特性を踏まえた強靱な都市基盤や災害に備えた体制のもとで、安心して暮らすことができます。  |                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                              |              |     |           |      |         |      |
| 将来像に向けた方向性                                     |                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                              |              |     |           |      |         |      |
| 地域の防災力を向上させる必要がある。<br>(関連する主な分野別計画：千代田区地域防災計画) |                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                              |              |     |           |      |         |      |
| 事業概要                                           | 内容                                                                                                                                                                                                                                        | 区は、防災対策総合ガイドやハザードマップ等の啓発物の発行、防災資器材の購入費用助成等を行い、区民の防災意識と災害対応力の向上を図っています。<br>令和7年度は、特に若年層に向けて防災意識の普及・啓発を図るため、子ども・子育て世代を中心に、楽しみながら防災に触れることができるイベントを実施します。<br>また、令和7年4月に運用開始の防災ポータルサイトと防災アプリのPRや啓発物の配布を行うなど、区の防災施策や取組みを多くの区民に周知啓発し、地域防災力の向上を図ります。 |              |     |           |      |         |      |
| 事業費                                            | 予算現額                                                                                                                                                                                                                                      | 決算額                                                                                                                                                                                                                                          | 執行率          |     |           |      |         |      |
|                                                | 52,014,000円                                                                                                                                                                                                                               | 39,320,631円                                                                                                                                                                                                                                  | 75.6%        |     |           |      |         |      |
| 事業実績                                           | ○令和7年度実績<br>(1) みんなの防災ガイドブックの作成<br>防災対策総合ガイドとして内容を更新し、区内全世帯に配布しました。<br>(2) 防災資器材等の購入助成<br>防災資器材等の購入費用助成：43組織（うち非常用発電機の購入費用助成：14組織）<br>(3) 千代田区防災フェスタの実施<br>子ども・子育て世代を中心に、楽しみながら防災に触れることができるイベントを実施しました。あわせて、千代田区防災アプリ等を周知するなど普及・啓発に努めました。 |                                                                                                                                                                                                                                              |              |     |           |      |         |      |
|                                                | <table><tr><td>実施日</td><td>令和7年9月28日</td></tr><tr><td>実施場所</td><td>都立日比谷公園</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>約6,000人</td></tr></table>                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                              |              | 実施日 | 令和7年9月28日 | 実施場所 | 都立日比谷公園 | 参加者数 |
| 実施日                                            | 令和7年9月28日                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                              |              |     |           |      |         |      |
| 実施場所                                           | 都立日比谷公園                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                              |              |     |           |      |         |      |
| 参加者数                                           | 約6,000人                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                              |              |     |           |      |         |      |
| 令和9年度予算への対応<br>実績を踏まえた評価・課題                    | 災害による被害を軽減するためには、大規模地震等の発生に備え、想定される被害や災害発生時の対策について、区民及び事業所等への普及・啓発を強化していく必要があります。<br>令和9年度は、令和8年度に引き続き、防災資器材等の購入費用助成や防災フェスタの実施など普及・啓発事業を継続し、さらなる防災意識の向上を図ります。                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                              |              |     |           |      |         |      |
| 所管課 政策経営部 災害対策・危機管理課                           |                                                                                                                                                                                                                                           | 決算参考書 234頁                                                                                                                                                                                                                                   | R7予算の概要 156頁 |     |           |      |         |      |

## 90 議員控室改修に向けた調査検討【新規】

|                                           |                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                  |              |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 第4次基本構想のめざすべき姿等                           |                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                  |              |
| —                                         |                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                  |              |
| 将来像に向けた方向性                                |                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                  |              |
| —                                         |                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                  |              |
| 事業概要                                      | 内容                                                                                                                                                                                                          | <p>区議会議員が調査研究や打ち合わせ等を使用するための議員控室は、平成19年の本庁舎竣工から現在まで大きな改修を行わず利用に供していますが、議員活動の変化等に合わせた改修が求められます。</p> <p>令和7年度は、現状の会派構成やデジタル技術の活用等も踏まえ、より効率的な議員活動に資するよう、専門家の意見を交えて議員控室エリアのレイアウト変更に向けた調査検討を行います。</p> |              |
| 事業費                                       | 予算現額                                                                                                                                                                                                        | 決算額                                                                                                                                                                                              | 執行率          |
|                                           | 12,000,000円                                                                                                                                                                                                 | 11,990,000円                                                                                                                                                                                      | 99.9%        |
| 事業実績                                      | <p>○令和7年度実績</p> <p>(1) 調査<br/>議員控室の課題やニーズを把握するため、各会派への聞き取りを行うとともに、官民の先進事例の調査や現地視察を実施し、議員控室エリアのレイアウト変更に向けた知見を収集しました。</p> <p>(2) 検討<br/>調査結果や専門家の意見を踏まえ、議員控室エリアのレイアウト変更に向けた検討を行い、フロア全体のレイアウト再編案を取りまとめました。</p> |                                                                                                                                                                                                  |              |
| 実績を踏まえた評価・課題<br>令和8年度の取組状況<br>令和9年度予算への対応 | <p>本事業は、レイアウト再編案をとりまとめたため、令和7年度で完了しました。</p> <p>今後は、再編案について改選後の次期議員へ引き継ぐとともに、再編案の実現までの取組みとして、フロア内に打合せスペース等を整備し、議会活動のさらなる質の向上を図ります。</p>                                                                       |                                                                                                                                                                                                  |              |
| 所管課 区議会事務局                                | 決算参考書                                                                                                                                                                                                       | 134頁                                                                                                                                                                                             | R7予算の概要 162頁 |





### Ⅲ 財政運営の状況

# 財務諸表で見る区の財政状況 (統一的な基準による地方公会計)

## 1 はじめに

千代田区では、平成 12 年度決算から、民間企業で行われているような会計手法を用いた財務諸表を作成することにより、従来の地方公共団体の会計では分かりにくい資産や負債といったストック情報を明らかにしてきました。

さらに、平成 28 年度決算からは、総務省から全国の地方公共団体共通で示された「統一的な基準」で財務諸表を作成しています。この「統一的な基準」により個別の伝票単位での複式仕訳や、区の資産を一元的に管理するための固定資産台帳整備を行い、精緻なストック情報や、発生主義による正確な行政コストを把握することが可能となりました。

## 2 財務諸表

財務諸表は、以下の4表で構成され、相互に関連しています。

### (1) 貸借対照表

区が保有する資産の状況と、この資産をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを総括的に対照表示しています。

### (2) 行政コスト計算書

区が1年間に行う行政サービスを提供するために、どのようなサービスにコストをかけたかを性質別に示すとともに、そのサービスに対する使用料及び手数料等の区民の負担を示しています。

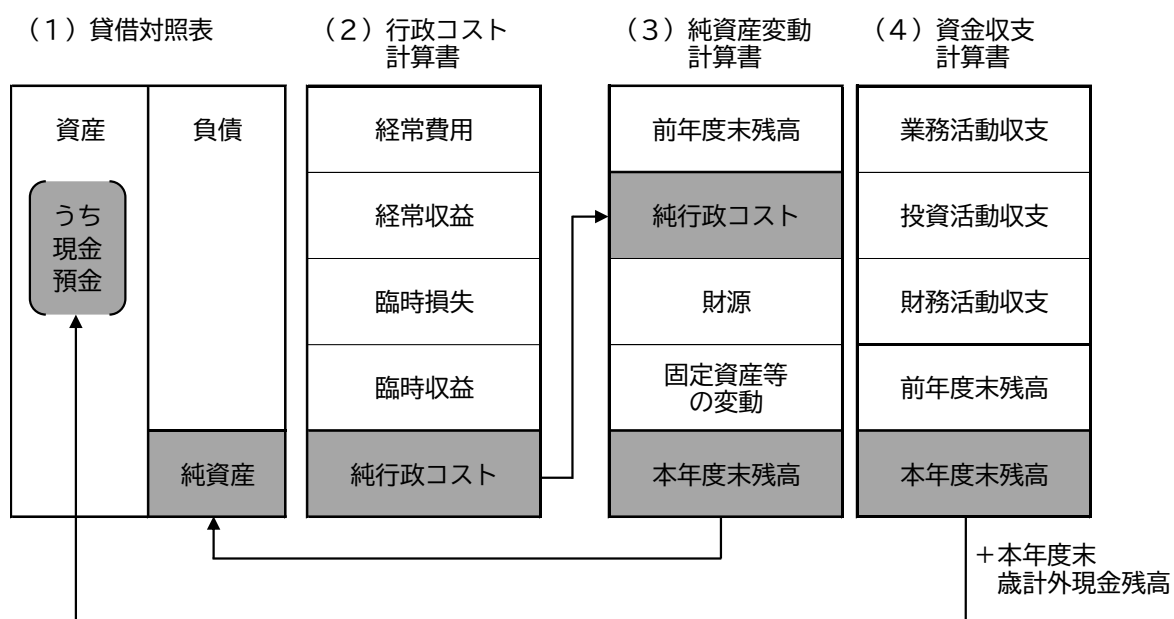
### (3) 純資産変動計算書

貸借対照表の純資産が、1年間でどのように変動しているかをまとめたものです。純資産総額の変動とともに、それがどのような要因や財源で増減していたのかを示しています。

### (4) 資金収支計算書

1年間で発生した現金の出入りを「業務活動収支」「投資活動収支」「財務活動収支」の3つの性質に区分し、示したものです。

### 3 財務諸表4表の相互関係



※貸借対照表の資産のうち「現金預金」の金額は、資金収支計算書の本年度末残高に本年度末歳計外現金残高を加えたものと対応します。

※貸借対照表の「純資産」の金額は、純資産変動計算書の本年度末残高と対応します。

※行政コスト計算書の「純行政コスト」の金額は、純資産変動計算書に記載されます。

#### 4 千代田区の財務諸表 4 表（概要）

##### （１）貸借対照表（各年度３月３１日現在）

（単位：百万円）

| 科目         | 7年度     | 6年度     | 増減     | 科目         | 7年度     | 6年度     | 増減    |
|------------|---------|---------|--------|------------|---------|---------|-------|
| 【資産の部】     |         |         |        | 【負債の部】     |         |         |       |
| 固定資産（a）    | 582,916 | 577,481 | 5,435  | 固定負債（c）    | 5,296   | 4,796   | 501   |
| 有形固定資産     | 485,433 | 485,075 | 358    | 地方債        | -       | -       | -     |
| 事業用資産      | 372,224 | 371,990 | 235    | 長期未払金      | -       | -       | -     |
| 土地         | 289,919 | 288,712 | 1,207  | 退職手当引当金    | 5,296   | 4,794   | 502   |
| 建物         | 144,795 | 145,713 | △919   | その他        | -       | 2       | △2    |
| 建物減価償却累計額  | △69,948 | △67,521 | △2,427 | 流動負債（d）    | 4,194   | 4,115   | 79    |
| 工作物        | 699     | 701     | △2     | 1年内償還予定地方債 | -       | -       | -     |
| 工作物減価償却累計額 | △313    | △294    | △19    | 未払金        | -       | -       | -     |
| 船舶         | 1       | 1       | -      | 賞与等引当金     | 953     | 864     | 89    |
| 船舶減価償却累計額  | △1      | △1      | -      | 預り金        | 3,241   | 3,251   | △10   |
| 建設仮勘定      | 7,072   | 4,678   | 2,394  | 負債合計（B）    | 9,490   | 8,911   | 580   |
| インフラ資産     | 112,432 | 112,269 | 163    | 【純資産の部】    |         |         |       |
| 土地         | 92,600  | 93,440  | △840   | 固定資産等形成分   | 629,028 | 621,813 | 7,215 |
| 建物         | 2,810   | 2,771   | 39     | 余剰分（不足分）   | △462    | △791    | 329   |
| 建物減価償却累計額  | △1,255  | △1,180  | △75    |            |         |         |       |
| 工作物        | 22,578  | 19,908  | 2,671  |            |         |         |       |
| 工作物減価償却累計額 | △8,368  | △6,982  | △1,386 |            |         |         |       |
| 建設仮勘定      | 4,067   | 4,313   | △247   |            |         |         |       |
| 物品         | 3,091   | 2,977   | 114    |            |         |         |       |
| 物品減価償却累計額  | △2,315  | △2,161  | △154   |            |         |         |       |
| 無形固定資産     | 6,549   | 6,681   | △132   |            |         |         |       |
| ソフトウェア     | 905     | 1,037   | △132   |            |         |         |       |
| その他        | 5,644   | 5,644   | -      |            |         |         |       |
| 投資その他の資産   | 90,935  | 85,725  | 5,209  |            |         |         |       |
| 投資及び出資金    | 6,304   | 6,306   | △2     |            |         |         |       |
| 有価証券       | 4,929   | 4,929   | -      |            |         |         |       |
| 出資金        | 1,375   | 1,377   | △2     |            |         |         |       |
| 長期延滞債権     | 407     | 399     | 8      |            |         |         |       |
| 長期貸付金      | 2       | 2       | △0     |            |         |         |       |
| 基金         | 84,247  | 79,048  | 5,200  |            |         |         |       |
| 減債基金       | -       | -       | -      |            |         |         |       |
| その他        | 84,247  | 79,048  | 5,200  |            |         |         |       |
| その他        | 3       | 3       | -      |            |         |         |       |
| 徴収不能引当金    | △28     | △32     | 3      |            |         |         |       |
| 流動資産（b）    | 55,140  | 52,451  | 2,688  | 純資産合計（C）   | 628,566 | 621,022 | 7,544 |
| 現金預金       | 8,801   | 7,924   | 877    | 負債及び純資産合計  | 638,056 | 629,933 | 8,123 |
| 未収金        | 244     | 204     | 40     |            |         |         |       |
| 短期貸付金      | 2       | 2       | △0     |            |         |         |       |
| 基金         | 46,110  | 44,330  | 1,780  |            |         |         |       |
| 財政調整基金     | 46,110  | 44,330  | 1,780  |            |         |         |       |
| 減債基金       | -       | -       | -      |            |         |         |       |
| 徴収不能引当金    | △17     | △9      | △8     |            |         |         |       |
| 資産合計（A）    | 638,056 | 629,933 | 8,123  |            |         |         |       |

##### 【主な科目説明】

固定資産（a）…主として、区立学校、道路、公園等の行政活動のために使用することを目的として保有する資産です。

流動資産（b）…主として、現金預金や基金等の１年以内に現金化して活用する見込みのある資産です。

固定負債（c）…主として、１年を超えて支払いや返済が行われる予定の地方債（区債）や退職手当引当金等の負債です。

流動負債（d）…主として、１年以内に支払いや返済を行わなければならない地方債（区債）や賞与等引当金等の負債です。なお、令和４年度に全ての地方債（区債）の償還が完了しました。

## POINT

### 1 将来世代への負担は発生していない状況です

⇒ 貸借対照表では、「資産の部(A)」の財源内訳として、「純資産の部(C)」が過去及び現世代の負担した財源、「負債の部(B)」が将来世代の負担する財源であるという特徴があります。この特徴を活かして、公共資産に占める負債の割合を算出することで、社会資本等形成に係る将来世代の負担の程度を知ることができます。千代田区では、平成12年度以降新たな借金をしておらず、また、令和4年度において借金の返済が完了したため、社会資本等形成の世代間負担比率が0.0%となり、将来世代への負担は発生していない状況です。

社会資本等形成の世代間負担比率(0.0%) = 地方債残高(0円)

÷ 有形・無形固定資産合計(491,982百万円)

地方債残高…固定負債(c)・流動負債(d)のうち地方債の合計額

有形・無形固定資産合計…固定資産(a)のうち有形固定資産及び無形固定資産の合計額

### 2 計画的に改修等を行い、資産が老朽化しないよう努めています

⇒ 貸借対照表では、施設等の取得原価のうちどのくらい減価償却しているかを算出することで、施設の老朽化度を示す割合(有形固定資産減価償却率)を知ることができます。千代田区では、おおむね45%程度で推移しており、令和7年度の数値は47.2%となりました。今後も、計画的な施設改修に努めます。

有形固定資産減価償却率(47.2%) = 償却資産の減価償却累計額(82,199百万円)

÷ 償却資産の取得原価等(173,974百万円)

償却資産の減価償却累計額…固定資産(a)のうち建物(事業用資産・インフラ資産)、工作物(事業用資産・インフラ資産)、船舶、物品の減価償却累計額

償却資産の取得原価等…固定資産(a)のうち建物(事業用資産・インフラ資産)、工作物(事業用資産・インフラ資産)、船舶、物品の合計額

## 主な増減理由

○資産は、前年度比で81億23百万円の増となりました。内訳は、固定資産が54億35百万円の増、流動資産が26億88百万円の増です。

・固定資産の主な増要因は、社会資本等整備基金の新規積立等による基金残高の増や、電線類地中化の推進による工作物(インフラ資産)の増です。

・流動資産の主な増要因は、財政調整基金の新規積立によるものです。

○負債は、前年度比で5億80百万円の増となりました。内訳は、固定負債が5億1百万円の増、流動負債が79百万円の増です。

・固定負債の主な増要因は、定年引上げに伴う経過措置に係る算定方法の見直しによる退職手当引当金の増です。

・流動負債の主な増要因は、給与改定による賞与等引当金の増です。

○純資産は、上記資産、負債の増減の結果、前年度比で75億44百万円の増となりました。

## (2) 行政コスト計算書（各年度4月1日～翌3月31日）

（単位：百万円）

| 科目            | 7年度    | 6年度    | 増減    |
|---------------|--------|--------|-------|
| 経常費用（A）       | 65,849 | 58,393 | 7,456 |
| 業務費用          | 44,773 | 40,020 | 4,753 |
| 人件費（a）        | 14,209 | 12,231 | 1,978 |
| 職員給与費         | 10,557 | 9,669  | 888   |
| 賞与等引当金繰入額     | 953    | 876    | 77    |
| 退職手当引当金繰入額    | 936    | 102    | 834   |
| その他           | 1,763  | 1,583  | 180   |
| 物件費等（b）       | 29,906 | 27,139 | 2,768 |
| 物件費           | 23,114 | 21,626 | 1,488 |
| 維持補修費         | 2,198  | 1,185  | 1,013 |
| 減価償却費         | 4,595  | 4,327  | 267   |
| その他           | -      | -      | -     |
| その他の業務費用      | 658    | 650    | 8     |
| 支払利息          | -      | -      | -     |
| 徴収不能引当金繰入額    | 33     | 34     | △0    |
| その他           | 624    | 616    | 8     |
| 移転費用（c）       | 21,076 | 18,373 | 2,703 |
| 補助金等          | 9,849  | 8,877  | 972   |
| 社会保障給付        | 9,037  | 7,458  | 1,579 |
| 他会計への繰出金      | 2,181  | 2,020  | 161   |
| その他           | 9      | 18     | △8    |
| 経常収益（B）       | 11,259 | 9,504  | 1,755 |
| 使用料及び手数料      | 8,975  | 7,758  | 1,217 |
| その他           | 2,284  | 1,746  | 539   |
| 純経常行政コスト（A-B） | 54,590 | 48,889 | 5,701 |
| 臨時損失          | 199    | 682    | △483  |
| 資産除売却損        | 199    | 682    | △483  |
| 臨時利益          | 1      | -      | 1     |
| 資産売却益         | 1      | -      | 1     |
| 純行政コスト（C）     | 54,788 | 49,571 | 5,217 |

### 【主な科目説明】

#### 経常費用（A）

毎会計年度、経常的に発生する経費

#### <人件費>（a）

職員等に対して支払う給料や各種委員報酬等

#### <物件費等>（b）

業務委託や事業に必要な消耗品の購入といった消費的性質の経費

#### <移転費用>（c）

子どもの医療費助成等の社会保障給付や各団体への補助金

#### 経常収益（B）

住宅使用料、廃棄物処理手数料等の区のサービスの対価として徴収する使用料・手数料等

#### 純行政コスト（C）

区が1年間に行う行政サービスの最終的なコスト

## POINT

547億88百万円の純行政コストが発生しています

⇒ 行政コスト計算書は、企業会計における損益計算書に相当する財務諸表です。この行政コスト計算書からは「歳入歳出決算書」では見えにくかった、現金の収支を伴わないコスト情報（賞与等引当金繰入額、退職手当引当金繰入額、減価償却費等）を知ることができます。

行政サービスに係る経常費用に対し、経常収益は主に対価性のある使用料及び手数料のみのため、差引である純経常行政コストは545億90百万円となっています。これに臨時損失・臨時利益を加味した純行政コスト（C）（547億88百万円）は、純資産変動計算書のPOINTに記載のとおり、財源（税収等や国県等補助金）で賄うことができます。

### 主な増減理由

○純行政コストは、前年度比で 52 億 17 百万円の増となりました。内訳は、純経常行政コストが 57 億 1 百万円の増、臨時損失が△4 億 83 百万円の減です。

- ・純経常行政コストの主な増要因は、児童手当など社会保障給付の増やふるさと納税制度の活用など物件費の増です。
- ・臨時損失の主な減要因は、旧千代田保健所などの除却分があったものの、前年度に区営四番町アパートなどの除却が完了したことによる減です。

### (3) 純資産変動計算書（各年度4月1日～翌3月31日）

(単位：百万円)

| 科目             | 7 年度    | 6 年度    | 増減     |
|----------------|---------|---------|--------|
| 前年度末純資産残高      | 621,022 | 612,102 |        |
| 純行政コスト (△) (A) | △54,788 | △49,571 | △5,217 |
| 財源 (B)         | 62,002  | 56,819  | 5,183  |
| 収税等            | 51,185  | 48,232  | 2,953  |
| 国県等補助金         | 10,817  | 8,586   | 2,230  |
| 本年度差額          | 7,214   | 7,248   | △34    |
| 無償所管換等 (C)     | 328     | 1,752   | △1,424 |
| その他(D)         | 2       | △79     | 81     |
| 本年度純資産変動額      | 7,544   | 8,920   | △1,377 |
| 本年度末純資産残高      | 628,566 | 621,022 | 7,544  |

#### 【主な科目説明】

##### 純行政コスト (A)

行政コスト計算書によって算出した純行政コストと一致します。

##### 財源 (B)

特別区民税、各種交付金や国県等補助金

##### 無償所管換等 (C)

無償で譲渡又は取得した固定資産の評価額等

##### その他 (D)

上記以外の純資産及びその内部構成の変動

### POINT

#### 純資産を減らすことなく、財政運営を行いました

⇒ 純行政コスト (A) 547 億 88 百万円を、収税等や国県等補助金の財源 (B) 620 億 2 百万円によって賄うことができ、純資産残高は 6,285 億 66 百万円となりました。

### 主な増減理由

○純資産残高は、前年度比で 75 億 44 百万円の増となりました。

- ・純行政コストの主な増要因は、児童手当など社会保障給付の増やふるさと納税制度の活用など物件費の増です。
- ・財源の主な増要因は、特別区税など収税等の増です。

(4) 資金収支計算書 (各年度4月1日～翌3月31日)

(単位: 百万円)

| 科目         | 7年度     | 6年度    | 増減     | 科目          | 7年度   | 6年度   | 増減     |
|------------|---------|--------|--------|-------------|-------|-------|--------|
| 【業務活動収支】   |         |        |        | 【財務活動収支】    |       |       |        |
| 業務支出 (a)   | 60,496  | 54,317 | 6,179  | 財務活動支出 (e)  | -     | 3     | △3     |
| 業務費用支出     | 39,421  | 35,944 | 3,477  | 地方債償還支出     | -     | -     | -      |
| 人件費支出      | 13,617  | 12,678 | 940    | その他の支出      | -     | 3     | △3     |
| 物件費等支出     | 25,312  | 22,811 | 2,501  | 財務活動収入 (f)  | -     | -     | -      |
| 支払利息支出     | -       | -      | -      | 地方債発行収入     | -     | -     | -      |
| その他の支出     | 491     | 455    | 36     | その他の収入      | -     | -     | -      |
| 移転費用支出     | 21,076  | 18,373 | 2,703  | 財務活動収支 (C)  | -     | △3    | 3      |
| 補助金等支出     | 9,849   | 8,877  | 972    | 本年度資金収支額    | 887   | 1,944 | △1,057 |
| 社会保障給付支出   | 9,037   | 7,458  | 1,579  | 前年度末資金残高    | 4,673 | 2,729 | 1,944  |
| 他会計への繰出支出  | 2,181   | 2,020  | 161    | 本年度末資金残高    | 5,560 | 4,673 | 887    |
| その他の支出     | 9       | 18     | △8     |             |       |       |        |
| 業務収入 (b)   | 73,036  | 65,439 | 7,597  | 前年度末歳計外現金残高 | 3,251 | 3,152 | 99     |
| 税収等収入      | 51,132  | 47,492 | 3,640  | 本年度歳計外現金増減額 | △10   | 99    |        |
| 国県等補助金収入   | 10,696  | 8,447  | 2,249  | 本年度末歳計外現金残高 | 3,241 | 3,251 | △10    |
| 使用料及び手数料収入 | 8,974   | 7,760  | 1,214  | 本年度末現金預金残高  | 8,801 | 7,924 | 877    |
| その他の収入     | 2,234   | 1,739  | 495    |             |       |       |        |
| 業務活動収支 (A) | 12,540  | 11,122 | 1,418  |             |       |       |        |
| 【投資活動収支】   |         |        |        |             |       |       |        |
| 投資活動支出 (c) | 13,242  | 11,654 | 1,588  |             |       |       |        |
| 公共施設等整備費支出 | 4,691   | 5,636  | △944   |             |       |       |        |
| 基金積立金支出    | 7,445   | 4,904  | 2,540  |             |       |       |        |
| 投資及び出資金支出  | 105     | 113    | △8     |             |       |       |        |
| 貸付金支出      | 1,001   | 1,001  | 0      |             |       |       |        |
| 投資活動収入 (d) | 1,589   | 2,479  | △890   |             |       |       |        |
| 国県等補助金収入   | 121     | 152    | △32    |             |       |       |        |
| 基金取崩収入     | 465     | 652    | △187   |             |       |       |        |
| 貸付金元金回収収入  | 1,003   | 1,002  | 0      |             |       |       |        |
| 資産売却収入     | 1       | -      | 1      |             |       |       |        |
| その他の収入     | -       | 673    | △673   |             |       |       |        |
| 投資活動収支 (B) | △11,653 | △9,174 | △2,479 |             |       |       |        |

【主な科目説明】

業務活動収支 (A)

一般的な行政サービスに係る現金収支を示しています。令和7年度は、125億40百万円のプラスとなっています。これは、税収や補助金収入等の経常的な収入で、人件費や物件費等の経常的な支出を賄っていることを示しています。

投資活動収支 (B)

学校や福祉施設等の施設建設・改修や基金の積立て・取崩し等に係る現金収支を示しています。令和7年度は、116億53百万円のマイナスとなっています。これは、公共施設や基金等の資産形成等が行われたことを示しています。

財務活動収支 (C)

地方債（区債）の新規発行や償還、その他の資金調達活動に係る現金収支を示しています。令和7年度は、地方債（区債）の新規発行や償還などを行っていないため財務活動収支がゼロとなっています。

## POINT

### 持続可能な財政運営をしています

⇒ 資金収支計算書上の数値から基礎的財政収支（プライマリーバランス）を算出することができ、収支の状況进行分析することができます。

基礎的財政収支とは、業務活動収支から支払利息支出を除いたものと、投資活動収支から基金積立金支出及び基金取崩収入を除いたものの合計であり、単年度の税金等で当年度支出を賄えているかを示します。

基礎的財政収支（7,866 百万円）

= {業務活動収支（12,540 百万円）－支払利息支出（0 円）}

+ {投資活動収支（△11,653 百万円）－基金積立金支出（△7,445 百万円）－基金取崩収入（465 百万円）}

千代田区では、78 億 66 百万円の黒字となっており、単年度の税金等で当年度の支出を賄えており、持続可能な財政運営を行っています。

## 主な増減理由

○本年度資金収支額は、前年度比で△10 億 57 百万円の減となりました。内訳は、業務活動収支 14 億 18 百万円の増、投資活動収支△24 億 79 百万円の減、財務活動収支 3 百万円の増です。

- ・業務活動収支の主な増要因は、物件費等支出や社会保障給付支出の増などにより業務支出が 61 億 79 百万円の増となったものの、税金等収入の増などにより業務収入が 75 億 97 百万円の増となったことによるものです。
- ・投資活動収支の主な減要因は、基金積立金支出の増などにより投資活動支出が 15 億 88 百万円の増となったこと、その他の収入の皆減などにより投資活動収入が△8 億 90 百万円の減となったことによるものです。
- ・財務活動収支の増要因は、その他の支出が△3 百万円の減となったことによるものです。

## 5 各種財政指標分析と他区比較（一般会計等）

23 区のうち人口規模・財政規模が近い区と、総務省の「財務書類分析の視点」に沿って、「統一的な基準」による財務諸表等で算出される指標を比較しました。

なお、各区の指標数値は、各区のホームページで公表している財務諸表等を基に千代田区で作成しており、4 区平均は加重平均で算出しています。

※令和 7 年度の各区の財務諸表等が作成日時時点で公表されていないため、令和 6 年度の数値で比較しています。

※港区の道路敷地の評価額については、港区の「一般会計等注記」に掲載の「資産評価及び固定資産台帳整備の手引き」の原則的な評価基準及び評価方法によった場合の評価額に置き換えて計算しています。

| 分析の視点      | 内容                                       | 指標                                   |
|------------|------------------------------------------|--------------------------------------|
| 資産形成度      | 将来世代に残る資産はどのくらいあるか                       | ①区民一人あたり資産額<br>②有形固定資産減価償却率（資産老朽化比率） |
| 世代間公平性     | 将来世代と現世代との負担の分担は適切か                      | ③純資産比率<br>④世代間負担比率（将来世代負担比率）         |
| 持続可能性（健全性） | 財政に持続可能性があるか（どのくらい借金があるか）                | ⑤区民一人あたり負債額                          |
| 効率性        | 行政サービスは効率的に提供されているか                      | ⑥区民一人あたり行政コスト                        |
| 弾力性        | 資産形成を行う余裕はどのくらいあるか                       | ⑦行政コスト対税収等比率                         |
| 自律性        | 歳入はどのくらい税収等でまかなわれているか（受益者負担の水準はどうなっているか） | ⑧受益者負担の割合                            |

### 指標① 区民一人あたり資産額

資産合計を住民基本台帳人口（各年度 3 月 31 日時点）で除して区民一人あたり資産額とすることにより、団体間で比較しやすくしています。

【計算式】 資産合計 ÷ 住民基本台帳人口

（単位：千円）

| 7 年度  | 6 年度  |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 千代田区  | 千代田区  | 4 区平均 | 港区    | 新宿区   | 文京区   | 台東区   |
| 9,178 | 9,130 | 3,170 | 6,139 | 2,579 | 2,354 | 1,335 |

千代田区の「区民一人あたり資産額」は、主に一人あたりの土地、建物、基金などが大きいため、4 区平均を上回っています。

令和 7 年度は、社会資本等整備基金の新規積立等に伴う投資その他の資産の増などにより資産合計が増となったため、前年度対比で多くなっています。

## 指標② 有形固定資産減価償却率（資産老朽化比率）

有形固定資産のうち、償却資産の取得価額等に対する減価償却累計額の割合を算出することにより、耐用年数に対して取得からどの程度経過しているのかを把握することができます。この値が高いほど、近い将来に公共資産の更新や維持補修のためのコストが必要になると見込まれます。

$$\text{【計算式】 減価償却累計額} \div (\text{有形固定資産合計} - \text{土地等の非償却資産} + \text{減価償却累計額}) \times 100$$

(単位：％)

| 7年度  | 6年度  |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 千代田区 | 千代田区 | 4区平均 | 港区   | 新宿区  | 文京区  | 台東区  |
| 47.2 | 45.4 | 54.8 | 39.4 | 71.6 | 54.7 | 62.1 |

千代田区の「有形固定資産減価償却率」は、4区平均よりも低くなっています。これは計画的に施設改修等を行っていることによります。

令和7年度は、施設改修や整備を行っているものの、経年により減価償却が進んだため、前年度対比で高くなっています。

## 指標③ 純資産比率

純資産は資産と負債の差額であり、過去及び現世代の負担した財源のことをいいます。純資産比率は純資産合計を資産合計で除して算出されるもので、この純資産比率が高いほど、負債が少なく借金などに頼らず将来世代の負担が少なくなることを示します。

$$\text{【計算式】 純資産合計} \div \text{資産合計} \times 100$$

(単位：％)

| 7年度  | 6年度  |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 千代田区 | 千代田区 | 4区平均 | 港区   | 新宿区  | 文京区  | 台東区  |
| 98.5 | 98.6 | 95.9 | 98.5 | 94.4 | 94.7 | 87.6 |

千代田区の「純資産比率」は、令和4年度に全ての区債（借金）の償還が完了しているため4区平均よりも高く、将来世代への負担が極めて少ないということが分かります。

令和7年度は、基金の新規積立等により資産・純資産ともに増となったものの、退職手当引当金の増などにより負債も増となったため、前年度対比で低くなっています。

#### 指標④ 世代間負担比率（将来世代負担比率）

地方債や未払金の額を固定資産合計額で除して算出することにより、社会資本形成に係る将来世代の負担の重さを把握することができます。この値が高いほど、将来世代の負担が重いことを示します。

$$\text{【計算式】} \quad (\text{地方債} + \text{長期未払金} + 1 \text{ 年内償還予定地方債} + \text{未払金}) \div (\text{有形固定資産合計} + \text{無形固定資産合計}) \times 100$$

(単位：％)

| 7 年度 | 6 年度 |       |      |      |      |      |
|------|------|-------|------|------|------|------|
| 千代田区 | 千代田区 | 4 区平均 | 港区   | 新宿区  | 文京区  | 台東区  |
| 0.00 | 0.00 | 1.92  | 0.13 | 2.60 | 2.86 | 9.05 |

千代田区の「世代間負担比率（将来世代負担比率）」は、令和4年度に全ての区債の償還が完了しているため4区平均よりも低く、将来世代への負担はありません。

#### 指標⑤ 区民一人あたり負債額

負債は区債（借金）や退職手当引当金など、将来世代の負担のことをいいます。この負債額を住民基本台帳人口（各年度3月31日時点）で除して区民一人あたり負債額とすることにより、団体間で比較しやすくしています。

$$\text{【計算式】} \quad \text{負債合計} \div \text{住民基本台帳人口}$$

(単位：千円)

| 7 年度 | 6 年度 |       |    |     |     |     |
|------|------|-------|----|-----|-----|-----|
| 千代田区 | 千代田区 | 4 区平均 | 港区 | 新宿区 | 文京区 | 台東区 |
| 137  | 129  | 131   | 91 | 144 | 124 | 165 |

千代田区の「区民一人あたり負債額」は、4区平均を上回っています。これは令和4年度に全ての区債の償還が完了しているものの、区民一人あたりの退職手当引当金や賞与等引当金が多いことによります。

令和7年度は、退職手当引当金などが増となったことにより負債合計が増となったため、前年度対比で多くなっています。

## 指標⑥ 区民一人あたり行政コスト

行政コスト計算書で算出される純行政コストを、住民基本台帳人口（各年度3月31日時点）で除して区民一人あたり行政コストとすることにより、団体間で比較しやすくしています。

【計算式】 純行政コスト ÷ 住民基本台帳人口

（単位：千円）

| 7年度  | 6年度  |      |     |     |     |     |
|------|------|------|-----|-----|-----|-----|
| 千代田区 | 千代田区 | 4区平均 | 港区  | 新宿区 | 文京区 | 台東区 |
| 788  | 718  | 497  | 554 | 462 | 497 | 483 |

千代田区の「区民一人あたり行政コスト」は、4区平均を上回っています。これは区民一人あたりの人件費や補助金等が大きいことによります。

令和7年度は、児童手当など社会保障給付の増やふるさと納税制度の活用など物件費の増などにより純行政コストが増となったため、前年度対比で高くなっています。

## 指標⑦ 行政コスト対税収等比率

税収等の一般財源等に対する純行政コストの比率を算出することによって、当該年度の税収等が、資産形成を伴わない純行政コストにどれだけ消費されたのかを把握することができます。この比率が100%に近づくほど資産形成の余裕度が低いと言え、さらに100%を上回ると、純行政コストを税収や国等の補助金で賄えていないということを表します。

【計算式】 純行政コスト ÷ 財源 × 100

（単位：%）

| 7年度  | 6年度  |      |      |       |       |      |
|------|------|------|------|-------|-------|------|
| 千代田区 | 千代田区 | 4区平均 | 港区   | 新宿区   | 文京区   | 台東区  |
| 88.4 | 87.2 | 95.1 | 82.9 | 101.1 | 104.4 | 96.8 |

千代田区の「行政コスト対税収等比率」は、4区平均より低く、翌年度以降へ引き継ぐ資産が蓄積または翌年度以降の負担が軽減されたことが分かります。

令和7年度は、特別区税など税収等の増により財源が増となったものの、児童手当など社会保障給付の増やふるさと納税制度の活用など物件費の増などにより純行政コストが増となったため、前年度対比で高くなっています。

## 指標⑧ 受益者負担の割合

行政コスト計算書の経常収益は、使用料・手数料など行政サービスに係る受益者負担の金額であるため、これを経常費用と比較することにより、行政サービスの提供に対する受益者負担の割合を算出することができます。この値が高いほど、受益者の負担が重いことを表します。

【計算式】 経常収益 ÷ 経常費用 × 100

(単位：％)

| 7年度  | 6年度  |      |     |     |     |     |
|------|------|------|-----|-----|-----|-----|
| 千代田区 | 千代田区 | 4区平均 | 港区  | 新宿区 | 文京区 | 台東区 |
| 17.1 | 16.3 | 6.7  | 9.7 | 5.9 | 4.6 | 5.7 |

千代田区の「受益者負担の割合」は、4区平均より高いことが分かります。これは、道路占用料の収入が大きいことによります。

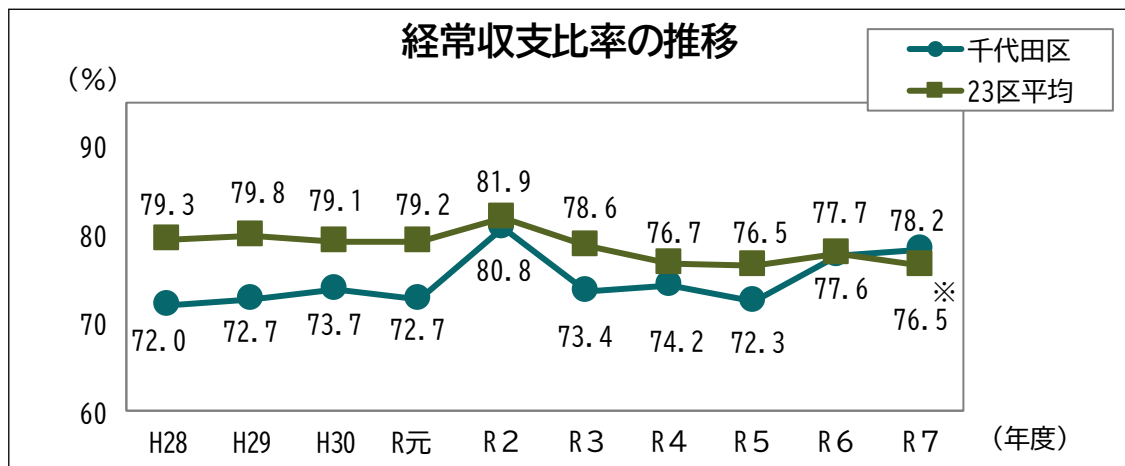
令和7年度は、児童手当など社会保障給付の増やふるさと納税制度の活用など物件費の増などがあったものの、道路占用料など使用料及び手数料の増により経常収益が増となったため、前年度対比で高くなっています。

# 財政指標で見る区の財政状況

## 1 経常収支比率

経常収支比率とは、区税など毎年経常的に収入され、用途の特定されない一般財源が、毎年支出される経常的な経費にどの程度使われているかを示すもので、財政構造の弾力性を判断するための指標の1つです。経常収支比率が100%に近いほど財政的に余裕がなくなり、新規・拡充事業などの財源の確保が難しい状況となります。

なお、経常収支比率は、普通会計決算によります。

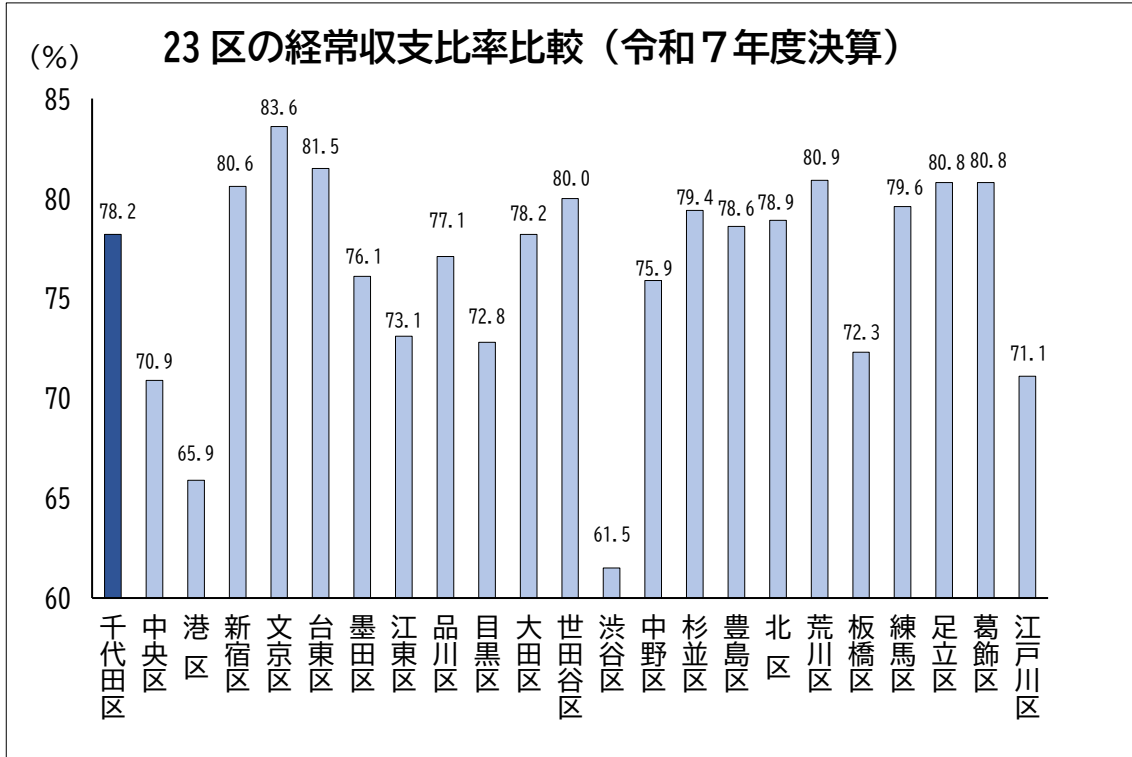


※令和7年度決算の23区平均の数値は速報値によるため、今後変動することがあります。

(単位: 百万円・%)

|        |                  | H28年度  | H29年度  | H30年度  | R元年度   | R2年度   | R3年度   | R4年度   | R5年度   | R6年度   | R7年度   |
|--------|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 決<br>算 | 経常的経費充<br>当の一般財源 | 26,616 | 26,848 | 27,760 | 29,453 | 30,233 | 31,289 | 33,290 | 34,650 | 38,685 | 40,956 |
|        | 歳入経常<br>一般財源     | 36,966 | 36,908 | 37,643 | 40,529 | 37,395 | 42,638 | 44,878 | 47,914 | 49,847 | 52,346 |
|        | 経常収支比率<br>(千代田区) | 72.0   | 72.7   | 73.7   | 72.7   | 80.8   | 73.4   | 74.2   | 72.3   | 77.6   | 78.2   |
|        | 経常収支比率<br>(23区)  | 79.3   | 79.8   | 79.1   | 79.2   | 81.9   | 78.6   | 76.7   | 76.5   | 77.7   | 76.5※  |

※令和7年度決算の23区平均の数値は速報値によるため、今後変動することがあります。



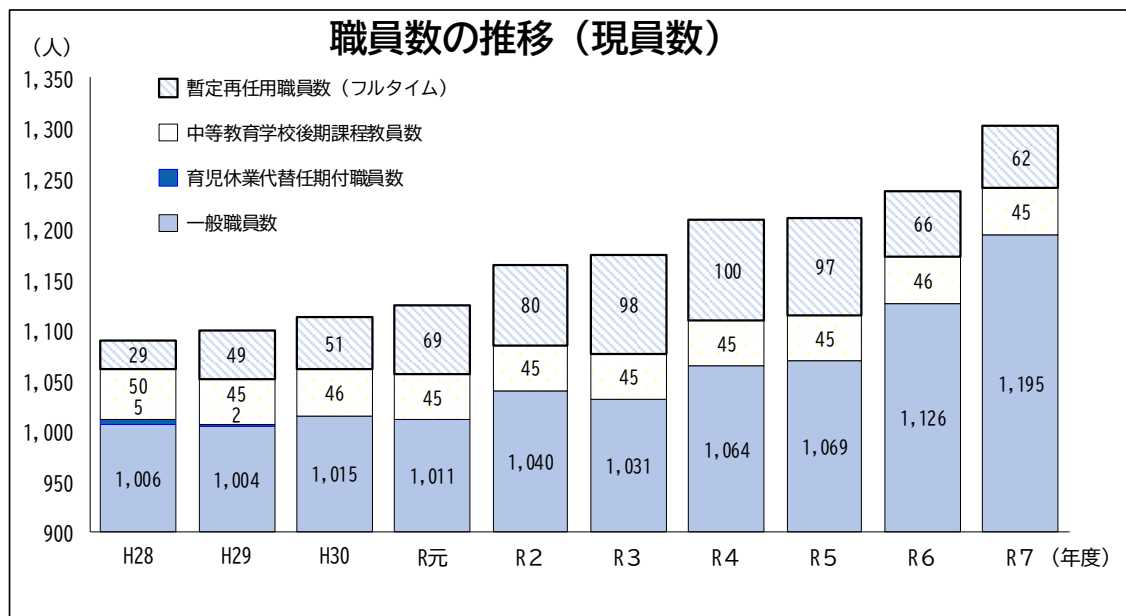
※令和 7 年度決算の速報値によるため、今後変動することがあります。

## 2 人件費

### (1) 職員数・職員給与費の状況

平成 28 年度の職員数は 1,090 人でしたが、令和 7 年度は 1,302 人となりました。

このうち、暫定再任用職員（フルタイム）は 62 人、中等教育学校後期課程の教員は 45 人となりました。

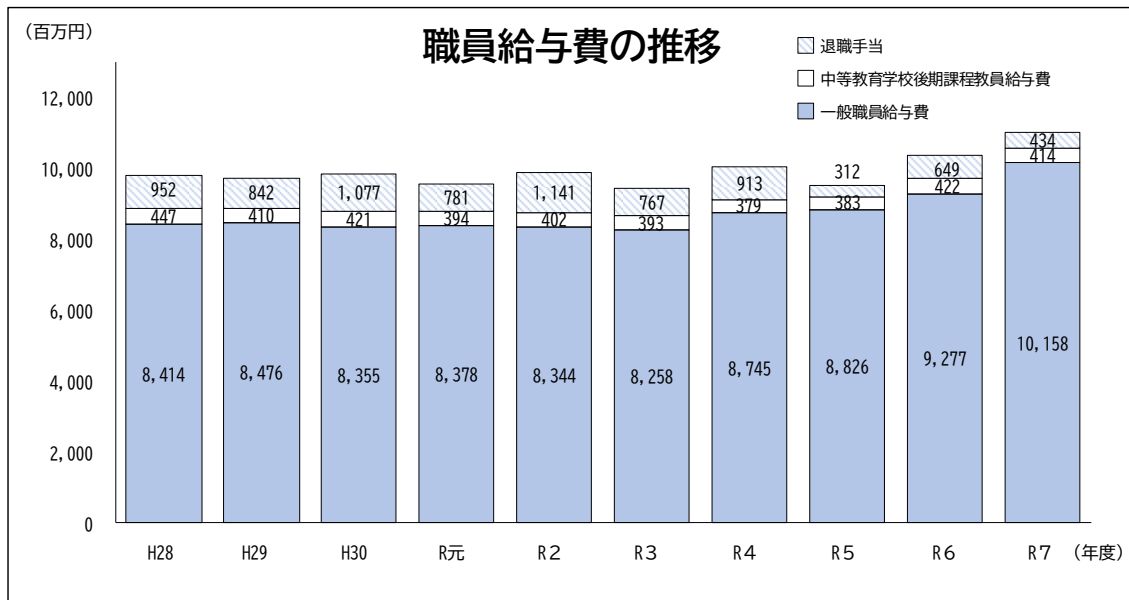


※一般職員は、各年度 4 月 1 日現在における区長・副区長・教育長を除く実人数です。

※平成 28 年度から育児休業取得者の代替措置として任期付職員を採用しています。

※制度変更に伴い、令和 4 年度まで再任用職員（フルタイム）と区分されていた職員は令和 5 年度から暫定再任用職員（フルタイム）に切り替わりました（令和 13 年度末までの経過措置）。

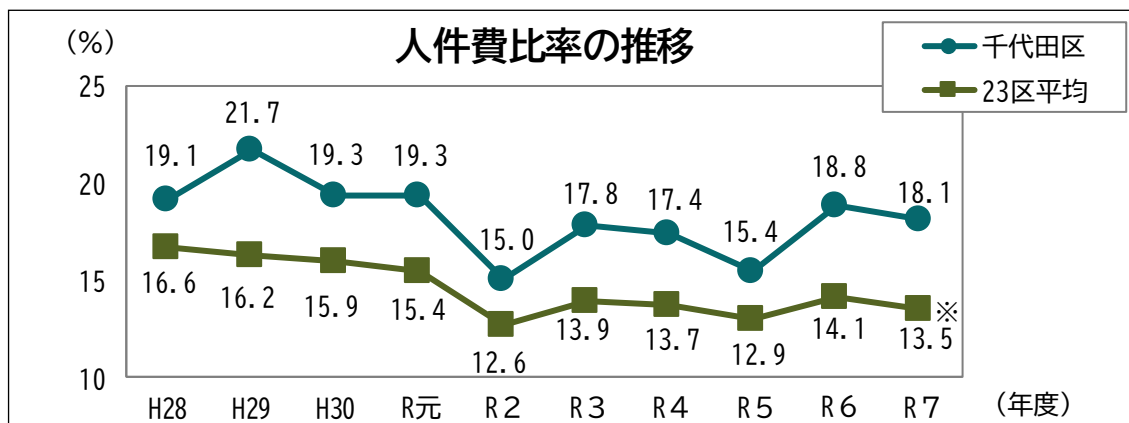
平成 28 年度の一般会計職員給与費は、98 億 13 百万円でしたが、令和 7 年度は一般職員（暫定再任用職員を含む）の給与費 101 億 58 百万円、中等教育学校後期課程の教員給与費 4 億 14 百万円、退職手当 4 億 34 百万円、合計 110 億 6 百万円となりました。



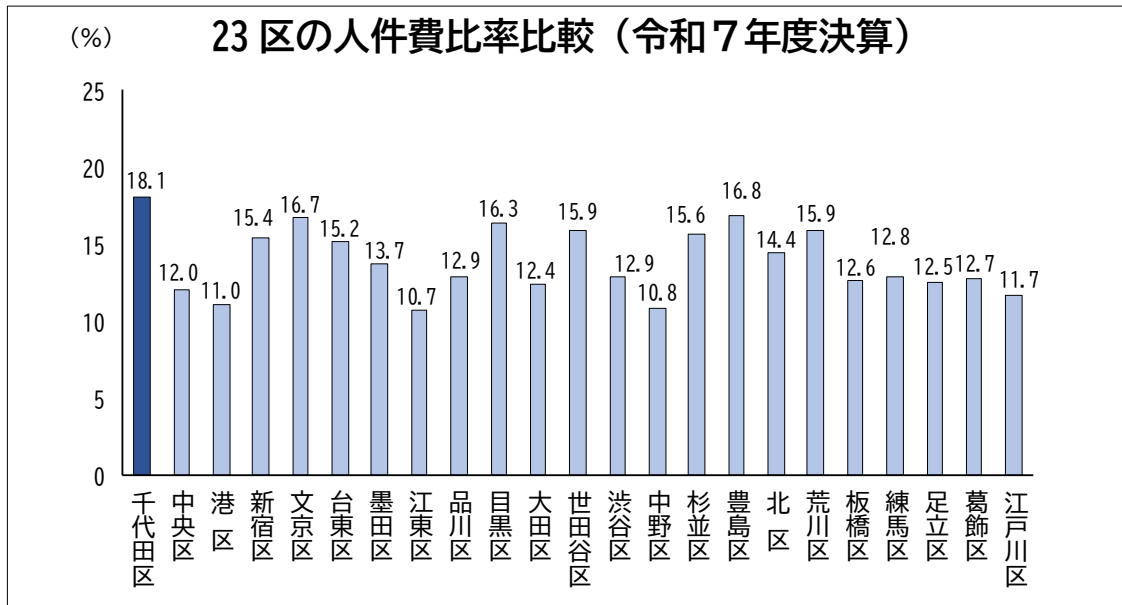
## (2) 人件費比率

人件費比率とは、歳出総額に占める人件費（職員給与、退職手当、議員報酬など）の割合を示す指標です。

なお、人件費比率は、普通会計決算によります。



※令和 7 年度決算の 23 区平均の数値は速報値によるため、今後変動することがあります。



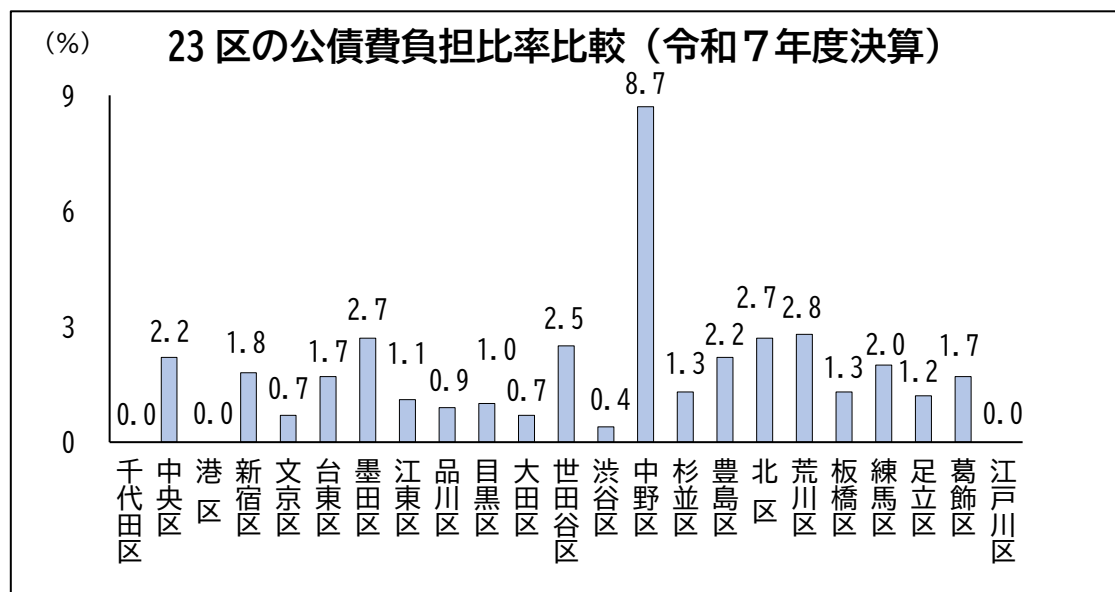
※令和 7 年度決算の速報値によるため、今後変動することがあります。

### 3 公債費負担比率

公債費負担比率とは、公債費（借金の返済費用）に使われた一般財源（使途が特定されない財源）が一般財源総額に対し、どの程度の割合となっているかを示すもので、財政構造の弾力性を判断するための指標の 1 つです。

公債費が多くなれば、区の収入が増加しない限り、自由に使えるお金は少なくなり、区民サービスの拡充はもちろんのこと、サービス水準を維持していくことも難しくなってしまいます。

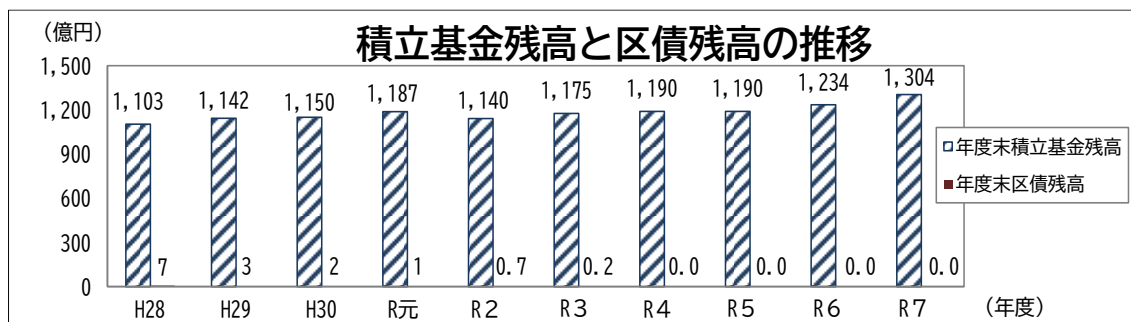
千代田区では、平成 12 年度以降、新たに区債（借金）を発行しておらず、令和 4 年度で償還完了（完済）したため、令和 7 年度の公債費負担比率はゼロとなっています。



※令和 7 年度決算の速報値によるため、今後変動することがあります。

#### 4 基金残高と区債残高

次代を担う世代に負担を課さないよう、平成12年度以降新規の区債の発行を行わず、毎年の償還により、区債残高は令和4年度でゼロとなりました。一方で、基金は一般家庭での「貯金」にあたるもので、令和7年度末時点の積立基金残高は約1,304億円です。



※出納整理期間後の残高です。

#### 各年度末の基金残高

(単位：百万円)

| 積立基金          |              | 令和7年度   | 令和6年度   |
|---------------|--------------|---------|---------|
| 財政調整基金        |              | 46,110  | 44,330  |
| コミュニティ活性化基金   |              | 1,511   | 1,509   |
| 社会資本等整備基金     |              | 59,760  | 54,615  |
| 【内訳】          | 一般積立分        | 50,823  | 45,808  |
|               | 開発協力金分       | 8,221   | 8,094   |
|               | 交通環境改善事業寄附金分 | 716     | 714     |
| 災害対策基金        |              | 5,023   | 5,017   |
| 高齢者福祉基金       |              | 5,633   | 5,618   |
| 環境対策基金        |              | 5,956   | 5,935   |
| 子ども・子育て支援事業基金 |              | 5,636   | 5,621   |
| 地域福祉支援基金      |              | 229     | 234     |
| 介護給付費準備基金     |              | 532     | 531     |
| 合 計           |              | 130,389 | 123,409 |

| 定額運用基金   | 令和7年度 | 令和6年度 |
|----------|-------|-------|
| 公共料金支払基金 | 500   | 500   |

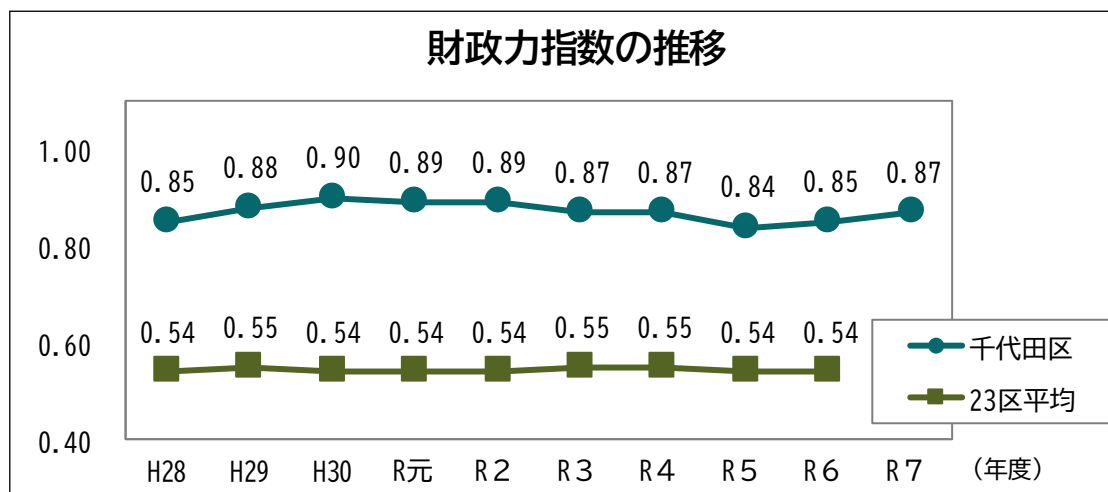
※出納整理期間後の残高です。

## 5 財政力指数

財政力指数とは、地方公共団体が標準的な行政サービスを行うのに必要な費用のうち、どの程度をその団体の税収入等で賄えているかを示す指標です。

財政力指数が高いほど、財源に余裕があり、財政力が強いといえます。

千代田区の財政力指数は、令和7年度決算で、0.87 となり、おおむね良好な値となっています。



※令和7年度決算の23区平均の数値は作成日時点で発表されていません。

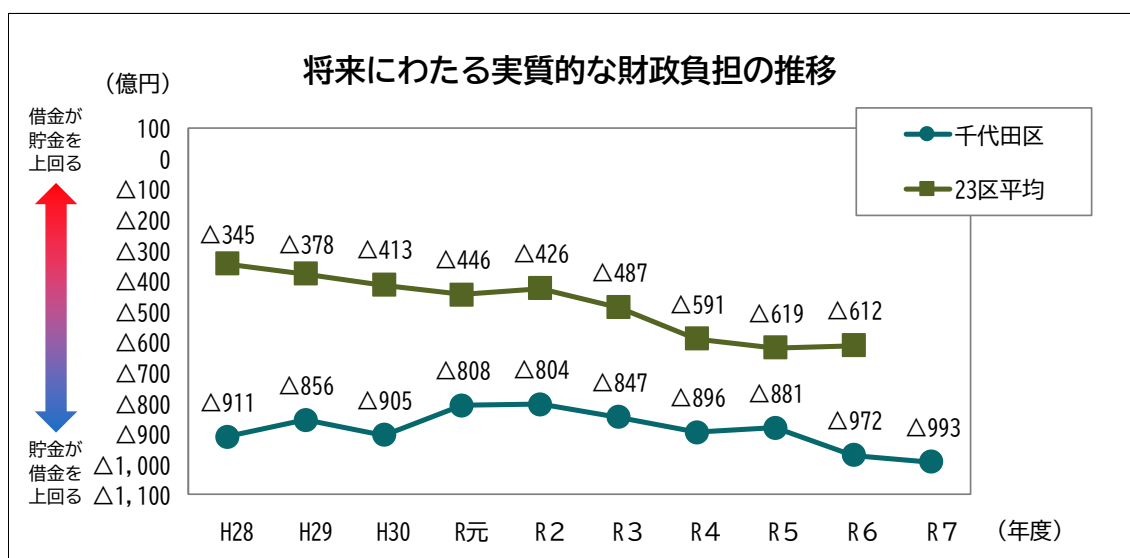
## 6 将来にわたる実質的な財政負担

千代田区の将来にわたる財政負担の額は、令和7年度決算で、約△993億円となり、貯金が借金を上回っています。

これは、将来に支払うことが決まっている債務負担行為の残高が約305億円<sup>※1</sup>あるものの、区の借金である区債の残高がなくなり、区の将来への備えである積立基金の残高が約1,299億円<sup>※2</sup>あるためです。

※1（仮称）四番町公共施設整備など債務負担行為限度額残高の合計額です。

※2 積立基金残高は、普通会計決算によります。



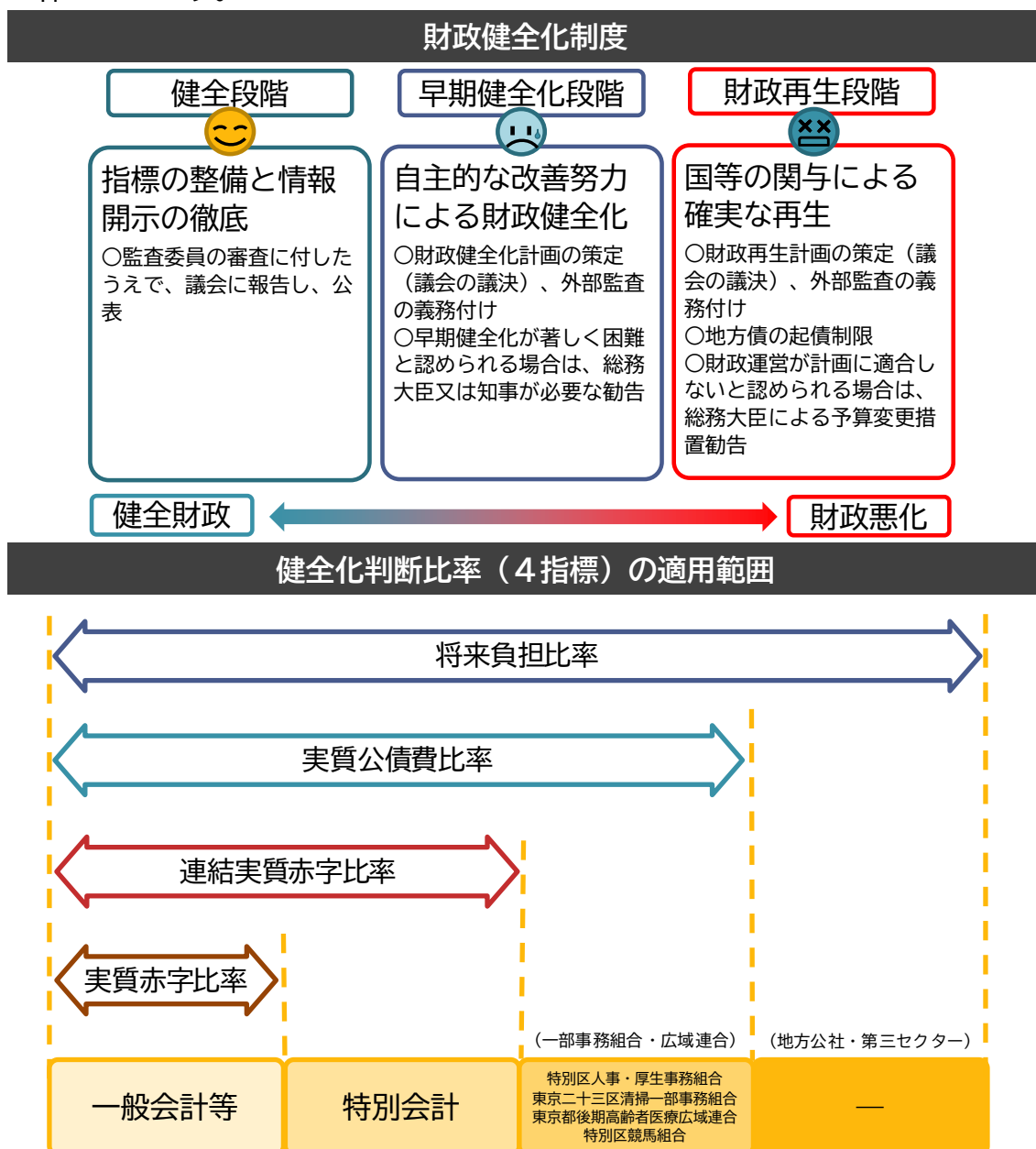
※令和7年度決算の23区平均の数値は作成日時点で発表されていません。

## 7 健全化判断比率

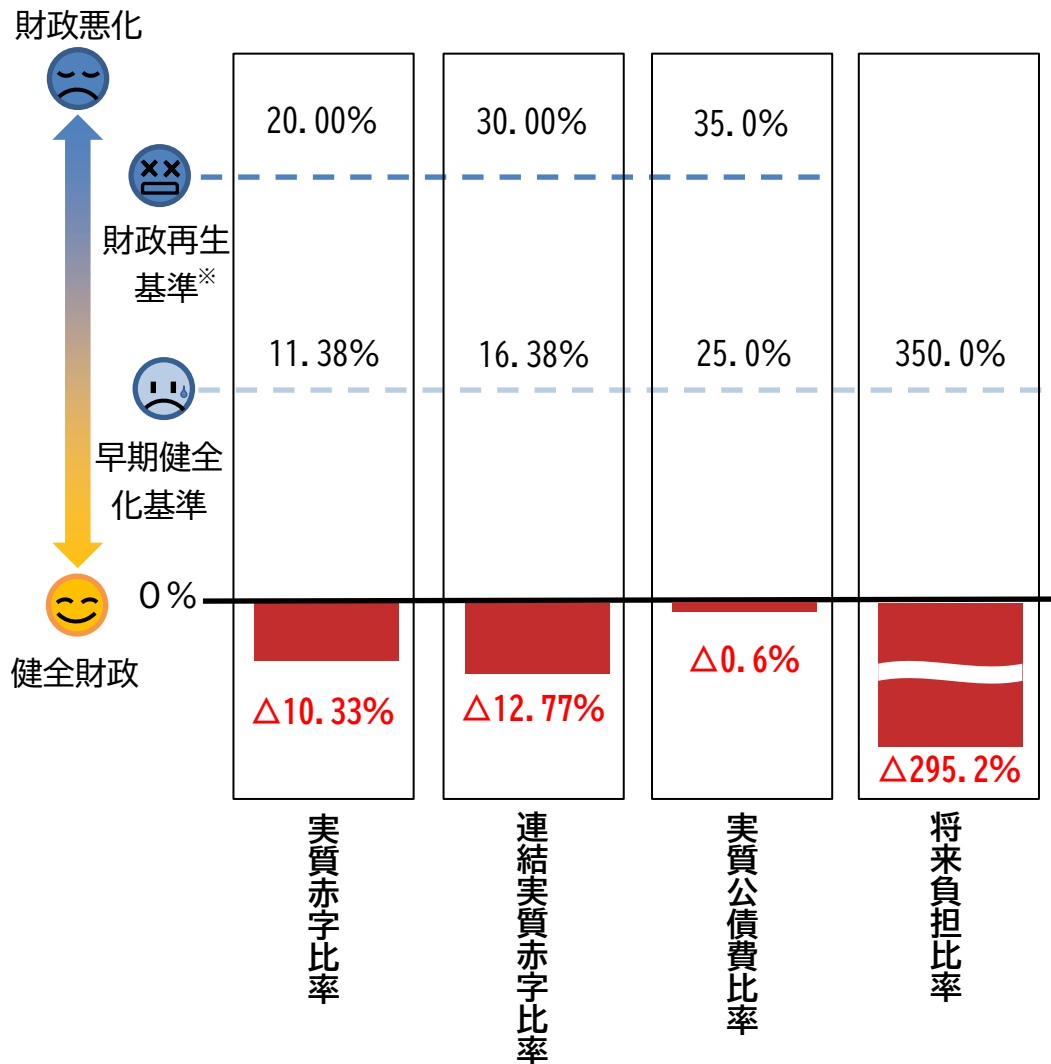
地方公共団体は、「健全化判断比率」と呼ばれる4つの指標（「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」）の値について、毎年、監査委員の審査に付したうえで、議会へ報告し、公表することが法律で定められています。

4つの指標の算定結果により、「健全段階」「早期健全化段階」「財政再生段階」の3段階に区分されます。4つの指標のいずれか1つでも基準値以上となれば、「財政の早期健全化」又は「財政の再生」の状態となり、行財政運営上、様々な制約が課せられることになります。

千代田区の健全化判断比率は、いずれも基準を下回っており、健全な状態を保っています。



## 千代田区の健全化判断比率（令和7年度決算）



※将来負担比率には、財政再生基準が設けられていません。  
※数値は速報値のため、今後変動することがあります。

### POINT

#### 健全化判断比率の各指標について①

##### Q 実質赤字比率とは？

A 実質赤字比率とは、一般会計等の実質的な赤字額の標準財政規模に対する割合です。福祉や教育、まちづくりなど、区の事務の大部分を占める一般会計の赤字の程度を示すものです。

千代田区では、一般会計において赤字となっていないため、実質赤字比率の数値はマイナスの値となっています。

## POINT

### 健全化判断比率の各指標について②

#### Q 連結実質赤字比率とは？

A 連結実質赤字比率とは、一般会計等と国民健康保険事業会計などの特別会計を合わせた全会計の実質的な赤字額の標準財政規模に対する割合です。一般会計等だけではなく、特別会計の赤字が区の財政を圧迫するほどの規模かどうかを示すものです。

千代田区では、一般会計及び特別会計（国民健康保険事業会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計）のいずれにおいても赤字となっていないため、連結実質赤字比率の数値はマイナスの値となっています。

#### Q 実質公債費比率とは？

A 実質公債費比率とは、公債費（借金の返済費用）等に使われた一般財源等の、標準財政規模に対する割合を示すもので、財政構造の弾力性を判断するための指標の1つです。

区が直接発行した区債の償還経費のほか、PFI事業※における施設整備費なども分割して毎年度支払う必要があるため、「公債費に準ずるもの」として、公債費に含めて算出します。

また、23区における清掃事業の一部を共同で実施している東京二十三区清掃一部事務組合が発行した地方債の償還経費についても、各区が毎年度負担しあうこととなっているため、同様に公債費に含めて算出します。

なお、実質公債費比率は、過去3か年の平均により算出することとなっています。

千代田区では、このような将来支出することを約束している「実質的な借金」の標準財政規模に対する割合は、基準に対して相当低く、健全な値となっています。

#### Q 将来負担比率とは？

A 将来負担比率とは、区債の残高をはじめ、PFI事業に係る経費や退職手当支給予定額まで含めた将来負担すべき実質的な負担額の標準財政規模に対する割合です。

将来負担比率は、将来負担すべき額（借金等）から、これに充当することができる基金（貯金）を差し引いて算出します。

千代田区では、「貯金」の金額が「借金等」の金額を上回っているため、将来負担比率の数値はマイナスの値となっています。

※PFI事業とは、公共施設の建設や運営等に民間の資金やノウハウを活用することで、事業コストを削減し、質の高い公共サービスの提供をめざす事業手法をいいます。

PFI事業は、資金調達についても民間事業者が行うため、区の支出は後年度に平準化されることとなります。

千代田区では、令和6年度まで富士見みらい館の建設及び維持・管理において、この手法を活用していました。



千代田区  
令和7年度主要施策の成果  
令和8年9月

編集・発行 千代田区政策経営部財政課

〒102-8688 千代田区九段南1-2-1

TEL 03-3264-2111（代表）

有償刊行物登録番号

08-04

¥500